




女の子の カラダの 描き方

色っぽく見せるテクニック

林 晃 (Go office)



女の子の カラダの 描き方

色っぽく見せるテクニック

林晃 (Go office)

「色っぽく見せる方法を考える」

この本を手にとったあなたはきっと、色っぽくて魅力たっぷりの女の子を描きたいと思っているはず。けれど普通に女の子を描いただけでは、色っぽさを表現できないものです。露出度の高い服を描けばいい？ それともおっぱいやお尻を大きく描けばいい？……どちらも決め手にはなりません。

色っぽさを表現するには、「見せ方のテクニック」が必要なのです。

普通



単純に立っているだけでは、女の子は色っぽく見えません。

色っぽい



こう描くと色っぽく見えますね！ 左の女の子との違いはどこにあるのでしょうか。

かわいい
+ 肉感 (セクシー)
= 色っぽさです！



肉感的で色っぽい

活動的で色っぽい



服を着てても
色っぽい



色っぽい
くびれ表現

「色気」とは、キャラの存在感や魅力そのもの。「かわいい色気」と「セクシーな色気」があります。本書では、これらの色気を表現するテクニックを紹介していきます。

もくじ

はじめに	6
プロローグ 女の子の色っぽさって何だろう	7
お色気表現 5 大ポイント	8
1. 隠してみよう	10
2. 「ポーズ」で生む色っぽさ	12
3. 色っぽい「表情」にチャレンジ	13
4. 「カメラワーク」で色っぽく見せる	14
5. シーンやシチュエーションを「演出」しよう	15

第1章 ポーズとしぐさで色っぽく見せる	17
ポーズとしぐさを変えればこんなに色っぽい！	18
バストショットを色っぽく描いてみよう	20
全身のポーズを描いてみよう	24
コラム 頭身について	28
ニーショットポーズを描いてみよう	30
いろんな色っぽいポーズを描いてみよう	32
バストショットの色っぽいしぐさ	38
多彩なポーズとしぐさを組み合わせる	44
コラム ハダカの色気	47

第2章 カメラワークで差をつける！	
グッとくるカメラアングル	49
色っぽく見せるにはカメラワークが大切	50
カメラマンになった気分で描いてみよう	52
カメラワークの基本は「標準」「フカン」「アオリ」	54
カメラワークを意識した作画①	
アオリの色っぽい描写	60
カメラワークを意識した作画②	
フカンで色っぽく描こう	66
カメラワークを意識した作画③	
見せたいものをクローズアップしよう	72
コラム 線について	77
その他のカメラワークを意識した作画	78



第3章 色っぽく感じる表情とパーツ描写	81
表情やパーツ描写を変えるだけで色っぽい！	82
ドキッとするような表情を描こう	84
普通の表情を色っぽくしてみよう	86
表情の作画を通してパーツを学ぼう	90
グッとくるバスト表現をマスターしよう	96
グッとくるお尻表現をマスターしよう	104
色っぽい脚の表現	114
コラム 立体感を表現する曲線	122
色っぽい背中・おなか	124
コラム アオリアングルでの股間の見え方と作画ポイント	126

第4章 みんなが「色っぽい」と感じる場面は？	
シチュエーションと演出について考えよう	127
ドキッとさせるにはシチュエーションが大事	128
バスタオル巻き姿でつかむ布の表現	130
シチュエーション① 前かがみ	134
シチュエーション② 四つんばい	138
シチュエーション③ ころんじゃった！	140
シチュエーション④ チラリでドキッ！	144
シチュエーション⑤ 着替え中です	148
演出① シャツやスカートのめくれ表現	152
コラム プリーツスカートの描き方	155
演出② 濡れ表現	160
シチュエーション+演出 水際の彼女	163
コラム 喫水線で見えるカラダの曲面	172
カバーイラストメイキング	
イラストレーター おりょう	173



はじめに

色っぽい女の子キャラを描いて、作画力をパワーアップしよう

● 女の子キャラにドキドキする

女のコキャラへのドキドキは、「かわいい」だったり「チラリ」だったり、あこがれや好奇心を揺さぶってくれる瞬間に訪れます。

自分がドキッとする。自分が見てみたい。

それは、不思議と「自分以外のみんな」も、同じことが多いようです。

マンガやイラストは、やっぱり描いていて楽しいことが基本です。

自分が描いて楽しくて、見てくれる人が同じように楽しんでもくれるというのは、不思議なほどうれしいことです。自分がいいと思うもののすべてが、誰にでも共通しているとは限りませんが、マンガやイラスト作品などとして描けたら、それはやはり楽しいことではないでしょうか。

本書は見てドキッとする女の子や、はっとしちゃうワンシーンなど、魅力的な女の子キャラの作画をいろいろな角度から紹介していきます。

● 色っぽい…それは存在感

お芝居などで「色気のある芝居」「色気のある役者」という場合は「不思議と惹きつけられる魅力」や「何かが違う存在感」などのことをいいます。作画では「色気のある線」など、「色気」というのは「みんなが眼を釘付けにされる」パワーのことです。

でも、目を引くからといって、たとえばただ肌を見せているだけのキャラを描いたりすると、逆に「色物」として敬遠されたり、運が悪いとバカにされたりすることさえあったりします。色っぽさで人の心をつかむには、「テクニック」が必要なのです。

「色っぽい女の子キャラの作画」には、ポーズや衣装、見せ方（演出としてのアングル効果）など、キャラの作画技法のエッセンスがたくさん詰まっています。

見て楽しみながらテクニックをつかみ、たくさん描いて画力を上げることができれば…。

そんな願いで、本書は制作されています。

みなさんの作画や創作に、少しでも役立てて頂ければ幸いです。

ゴーオフィス 林 晃

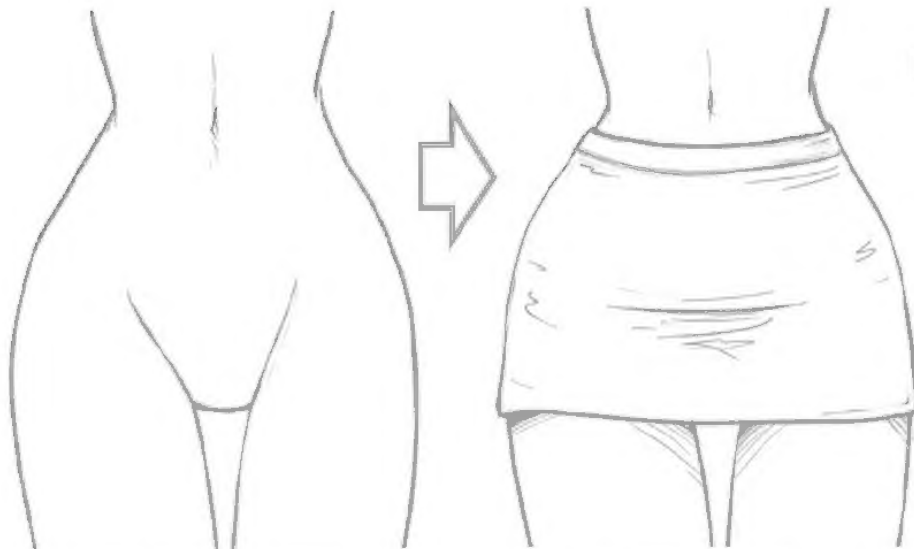
プロローグ

女の子の色っぽさって何だろう



お色気表現 5 大ポイント

隠す・ポーズ・表情・カメラワーク・演出



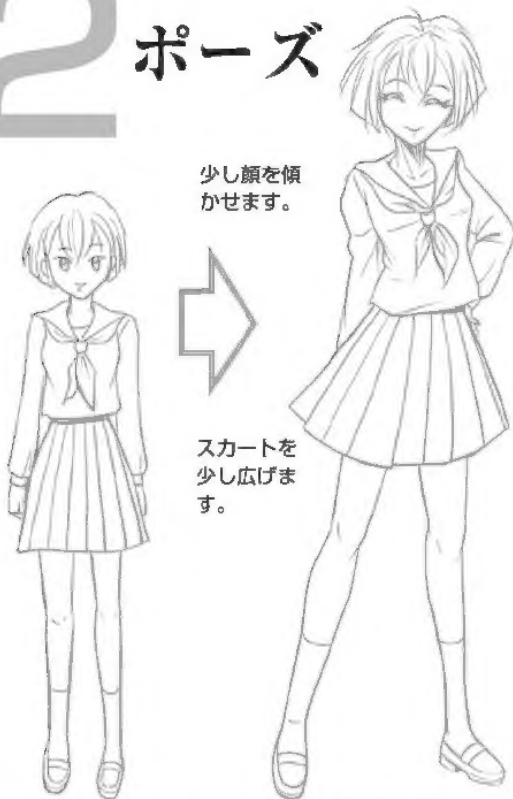
1 隠す



ありのまま。教科書的で色気を感じません。

隠す。見えない状態がでること、見える部分（ここでは腰や太もも）と、隠されている部分が強調されます。

2 ポーズ



少し顔を傾かせます。

スカートを少し広げます。

棒立ち。動きナシの立ちポーズは、置物と同じで存在感が薄いです。

ポーズはカラダだけでなく表情や髪の毛、スカートの動きも与えます。イキイキした存在感が生まれます。

3 表情



普通の優しい表情

少し眼を細くすることで、普通とは違う大人っぽいムードになります。頬の斜線で顔の赤らみ表現を加えると、恥じらい感や気持ちの高揚感が生まれます。

4

カメラワーク

アオリやフカン、アップなど、視点を切り替えて描く手法です。カラダの曲線や胸、お尻など、テーマ（アピールしたい部分）を「撮る（見せる）」つもりで描きましょう。



普通に撮影。キャラ全体を見せたい場合（ロング・遠景ふう表現）。



後ろからお尻を狙って撮影すると、ちょっとエッチな印象に。

5

演出

パンチラやお風呂、プールシーンなど、シチュエーションを設定する手法です。キャラのイメージ幅を広げる効果（ギャップ演出）を狙うこともあります。



まじめ、きびしい、堅苦しいなどのキャライメージ。

風でスカートがあおられる。「太ももがあらわになる」ところまで見せる演出。



もっとスカートがめくれたところを、少し下から撮った作画。カメラワークの「アオリ」効果とシチュエーションの相乗効果例です。

1

隠してみよう

「隠す」ことで表現できる色っぽさです。単なるハダカはときめかないけれど、布（服）や手で隠すことでドキッとさせるものになります。完全に隠す、一部だけ隠す、隠しきれない演出などがあります。衣装や着こなし、しぐさや動作、ときには湯気や葉っぱなども利用されます。



ただのハダカ立ちポーズ。解説図など、説明的であり面白みのない印象になります。



下着を着けてしなを作っただけのポーズですが、胸のふくらみや腰つき、下腹部や太ももの存在感が生まれます。右腕でさりげなく乳房の側面を支え押しているしぐさもバストアピールサービスです。



全身を覆う服。カラダにフィットしたセーターとパンツは、ボディラインをくっきりさせます。



タオルで隠す。乳房を抱きかかえるようなポーズで、ハダカより色っぽく見えます。

胸元チラ見せ



服でハダカを全部隠すのではなく、チラ見せすることで色っぽくなります。

短い上着。乳房の上部を2/3も隠していますが、下乳の肉感をあらわにすることで乳房そのものの存在感を大幅にアップします。

パンツや股の部分が見えそうで見えないギリギリの長さになるようにはきこなししたスカート。



パンツのきわの部分が少しだけ見えるように作画されていますが、カゲを完全な黒にすることもあります。好みやニーズによって使い分けます。

2

「ポーズ」で生む色っぽさ

ひねりや傾ける動きで「色っぽさ」が生まれます。動きのあるポージングは、「キャラ登場！」など、キャラをアピールするワンショット（シーンなど）を考えるとイメージしやすいです。



ボディラインは胸、腰、お尻で作られます。ボディラインが表れやすいファッションや着こなしを心がけます。



顔とカラダの向きを変えましょう。



フカンはおっぱいアピールのチャンス！



ラフデッサン。強調したいおっぱいの形をダイナミックにはっきり描いて作画を進めます。



真正面を避けて斜め向きにするだけでも、おっぱいのボリューム感が出てきます。

3

色っぽい「表情」にチャレンジ

普通の喜怒哀楽などの感情表現を、少し抑え気味に描くことで色っぽい「表情」が生まれます。



うつむき気味。普通の静かで優しいような微笑み顔。



半眼ふうに目をちょっと小さく細めて、まつ毛を強調。瞳も黒い部分を控えめに。閉じた口は少し大きめに引き締めた感じにすると、微笑みに「思わせぶり」な意志が宿り、ミステリアスな感じが出てきます。

普通に描くと、「かわいい」「美人」になります。どんな表情を描けば色っぽく見えるものになるでしょうか。色っぽい表情は、かわいらしさよりも少しミステリアスなイメージを心がけます。笑う、怒る、などのはっきりした感情の表情よりも、微妙な感じ、含みをもたせるのがコツ。目の大きさを、「普段の半分」くらいのサイズにしてみましょう。



ややアオリ。明るい笑顔。爽やかなムード。



目はやや細めて口も半開きぐらいに。含みのある、色っぽい表情が生まれます。

4

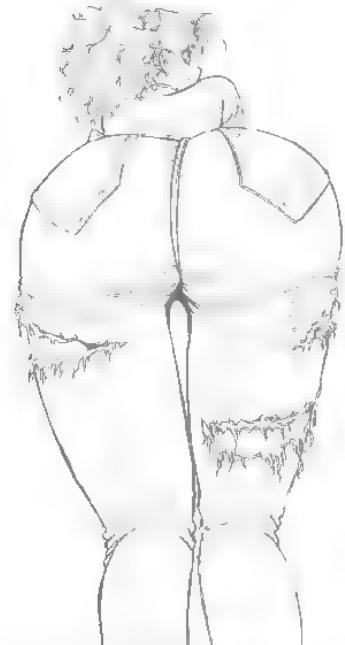
「カメラワーク」で色っぽく見せる

基本的な撮影手法（アップ、アオリ、フカン）で、カラダの曲面やふくらみを狙います。



スカートのすそのラインで太ももの立体感が強調されます。

フカン。胸のふくらみや太ももをアピールします。



前かがみポーズを後ろから撮る。キュートなお尻シルエットをアピール。

アオリ。座りポーズの太ももやヒザなど、肉感的な脚線をアピール。アオリは股間部や腹部の起伏曲線を見せたいときにもよく用います。



スカートと肉の境界にできるくびれ表現。肉感が強調されます。



寄る（見せたいものをアップにします）。お尻をさらに強調。

アングル的に、実際には見えないことも多い股の丸みを描き込んで、お尻部分をグレードアップする演出。

5

シーンやシチュエーションを「演出」しよう

お風呂、着替え、風によるパンチラや乳揺れなどで、カラダの曲線や柔らかさの魅力を見せる「サービス」ショット。隠す、動き、カメラワーク、必要に応じて表情まで、「色っぽさ表現」の集大成です。「動き」を大切にしましょう。



着替えシーンの演出。
脱ぎかけ・半分あらわになる素肌を見せる演出です。



ブラがない場合。「ノーブラだった」という設定を暗示します。

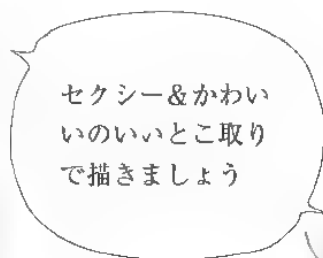
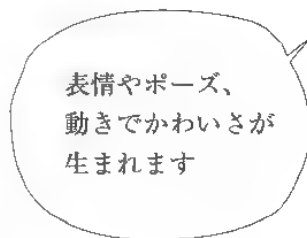


乳揺れ&パンチラ。おっぱいの揺れ表現は、動きと同時に乳房の柔らかさを伝えます。左右の曲線に違いをつけましょう。

パンチラはオマケです。スカートの広がりとおひるがえる表現で、走っている動きを演出します。

入浴シーン。娯楽色の強い映画やドラマでしばしば取り入れられる演出で、タオルや湯気、水（お湯）などが「隠すアイテム」として活躍します。





第1章

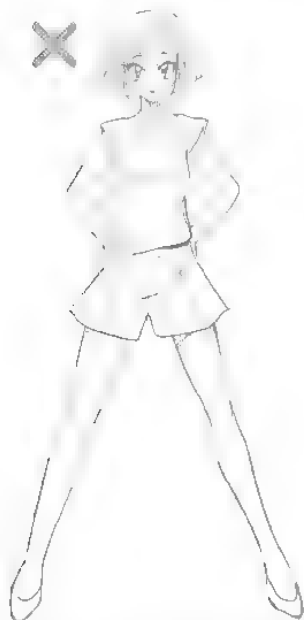
ポーズとしぐさで 色っぽく見せる



ポーズとしぐさを変えればこんなに色っぽい！

立ちポーズとしぐさ

曲線的なシルエットのポーズをつけると、動きの中にかわいらしさや魅力が生まれます。「アクション」ではなく、ちょっとしたカラダの「しなり」や「しぐさ」を表現しましょう。



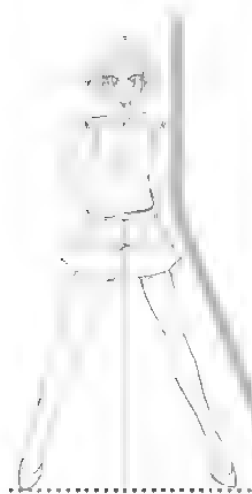
仁王立ち。りりしさやカッコ良さをアピールする堂々とした立ちポーズ。色っぽさとはほど遠い印象になります。



しなり立ち。頭部、胴体を逆方向に傾け、脚もクロス。



胸とお尻の丸みがシルエットに現れるポーズ。



直線的なシルエット



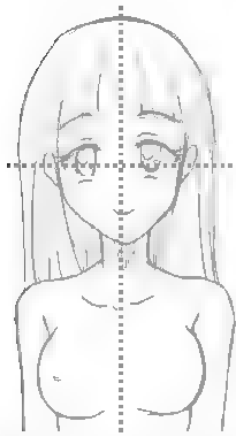
曲線的なシルエット

直線的なイメージ（シルエット）を避け、カラダの曲線を生かすことが色っぽさのコツです。

全身も大きな曲線（逆S字）を描いています。

バストショットのしぐさ

顔（頭部）や肩を傾かせます。それだけの工夫で、バストショットに「もっとカワイイ」や「魅力」が生まれます。



基本形。正面向き。真っ直ぐ
（頭もカラダも傾けていません）



ラフ・作画中の状態

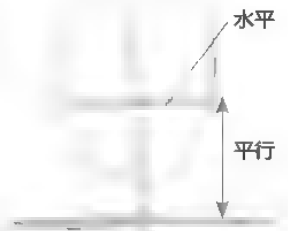
真正面向きのアタリ



両目の位置（高さ）をとらえる目安として描くアタリ線。

中心線

両肩をつないだ線。肩の傾きを表します。



アタリは、構造を単純に図形化したものです。仕上がりのムードも含めた「設計図」とか、「簡略したイメージ画」として描かれます。



首をかしげ、胴体もしなを作った場合。頭部と胴体を傾けます。



頭部を横にかしげる動きは、キャラのかわいいムードを生み出す動きです。



顔は真っ直ぐのまま、カラダを傾けた場合でも、髪の毛の動きで色っぽいムードが出ます。



アタリ



ラフ



バストショットを色っぽく描いてみよう

色っぽいイメージを描く手順

少しくつむいた顔

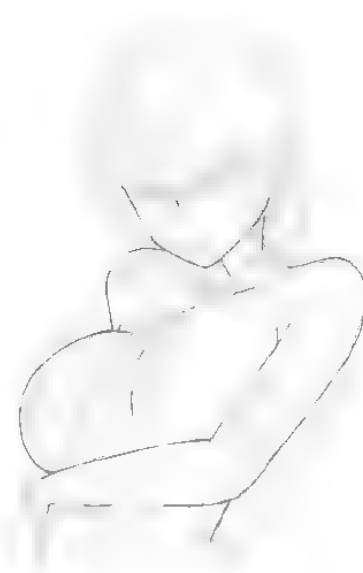
顔の作画手順は、アタリの丸→髪型シルエット→目鼻の場所をきめる→描き込み、の流れが基本です。「色っぽく」など、テーマが明確な場合はポージングのイメージを描くことから始めます。



① イメージを大づかみに描きます。寄りかかった感じの姿勢（シルエット）のビジョンをはっきりさせるため、腰あたりまで描きます。

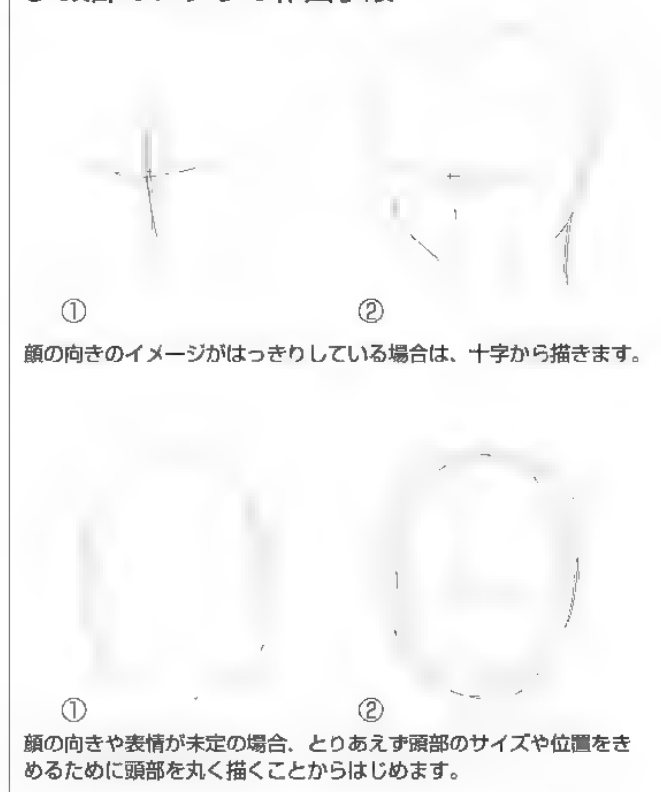


② 表情や髪型をざっと描きます。



③ 顔のりんかくやカラダのアウトラインを描きます。

● 頭部のアタリの作画手順



① ②
顔の向きのイメージがはっきりしている場合は、十字から描きます。

① ②
顔の向きや表情が未定の場合、とりあえず頭部のサイズや位置をきめるために頭部を丸く描くことから始めます。



④ 服のイメージが見えたので、簡単に服のアタリを描いてから顔、髪を描き込みます。顔のイメージがあるときは、顔から描いてもOKです。



⑤ 服のアウトラインを入れ、細部やシワを描き込みます。



⑥ 完成

バストショットを色っぽく、というテーマなので、おっぱいを強調したポーズになりました。
下向き気味で肩を上げたイメージは、寄りかかってこちらを見る、というシチュエーションを想定。
もともとは眼のぱっちりした女の子が、眼を少し細めている…というイメージなので、まぶたを広めにしています。
頬の赤みのタッチは、「ちょっぴりお色気」を意識した作画。

少しアオリの顔

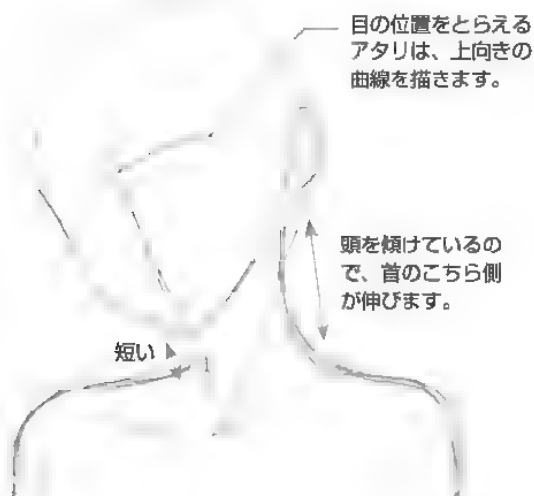


① ラフイメージを描きます。



② ラフイメージをアタリ(下描き)として利用します。顔のりんかくやカラダのりんかくを描きます。

※ハダカを描く必要がないときは、服のアウトラインを描きます。
「服は体のひとまわり外に描く」という原則がありますが、カラダが大きくなりすぎたり太くなってイメージが変わってしまうことがあります。
通常の服を着たキャラを描くときは、服のアウトラインイメージ(服を着たシルエット)を大事にしましょう。体のライン上かカラダより内側に服を描くくらいのつもりで描いてもOKです。

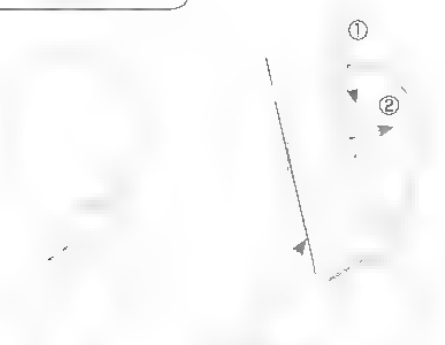


③ あごの下(首)にカゲを落として頭部に立体感を与えます。キャラ全体が引き締まって見えるようになります。



④ 完成。着ているか着ていないかわからないところで絵を切る(トリミングする)手法も、お色気アピールの1テクニックです。

横顔



顔面の傾き

頭部中央



① ポーズをイメージしたシルエットを描きます。

② 顔面の傾きに合わせて、頭部に十字を描きます。

③ 耳を描きます。頭部中央より後ろです。



④ 顔と髪の毛を描き込みます。



⑤ 線を整え、必要に応じて描き込んで完成させます。

おとな顔にする場合

子ども顔とおとな顔の違い



何気なく描ける、「いつもの自分のキャラ」を基準にしましょう。



顔の中心線（左右の横幅の中央を通る線）。鼻やあごの先端は、この中心線上に描きます。



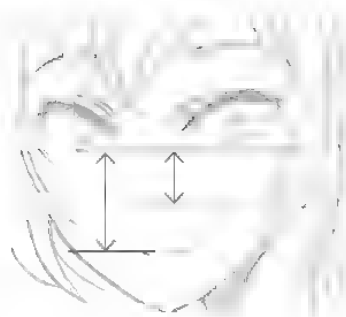
鼻と口を消したもの。鼻を目に近づけるほど子どもっぽくなり、眼と鼻先の距離を長くするほど大人っぽくなります。



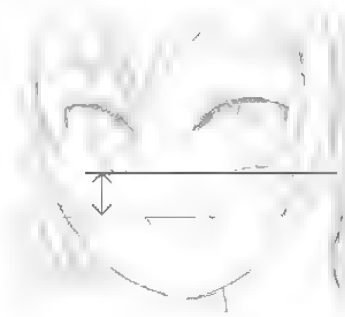
おとな顔



子ども顔



- ・目を小さめにする
- ・鼻を長めにする（下まぶたと鼻の頭の距離をあけます）
- ・目と口の距離を広くする



- ・目を大きめにする
- ・鼻を短めや小さくする（下まぶたと同じ高さに鼻の頭を描くこともあります）
- ・目と口の距離を狭くする

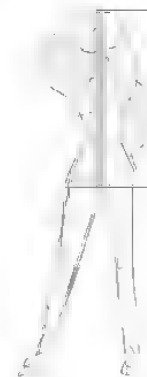
全身のポーズを描いてみよう

前を向いたポーズ

美しい起伏のボディラインを意識して描きます。おっぱいのふくらみやお尻の丸み、腰のくびれをアピールするファッションを利用しましょう。



ラフイメージ。描きたいイメージがある程度ははっきりしているときは、アタリを描きながらラフまで描いてしまいましょう。

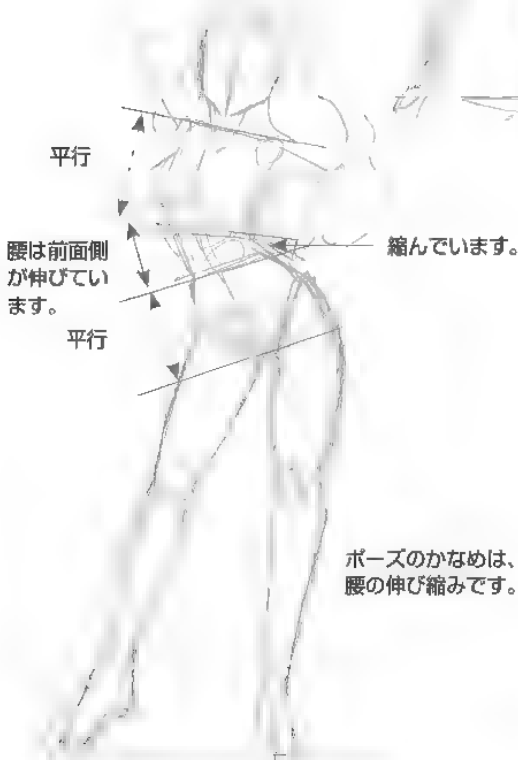


動きがない場合。上半身を真っ直ぐ描いてしまうと動きもお色気もなくなります。



胸を前に、お尻を後ろにつきだしたポーズ。大きな曲線状のシルエットです。

構造バランス・関節



アウトライン（りんかく線）を
ていねいに描き、シワなど細部
を描き込みます。顔は先に描い
てもあとからでもOKです。

バストラインの丸みは
ハダカのおっぱいの曲
線を生かします。

透視図

パンツだけの場合

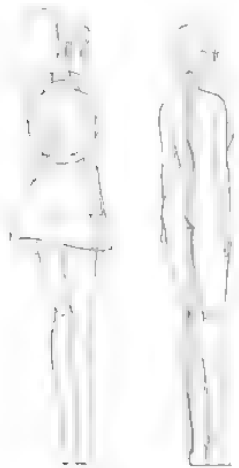
タイト気味のスカート。
少しだけカラダから浮か
せて描きます。

お尻側はカラダの線
に完全に沿わせてお
尻の美しい丸みを生
かします。

底の厚みを描くと、履き
物らしさが出ます。

何も着ていない場合

見返りポーズ



動きがない場合。直線的です。

頭部（目）

肩ライン

骨盤部

頭部と胴体に傾きが与えられています。動きが出ます。

頭部（目）

肩ライン

上胸部

腰

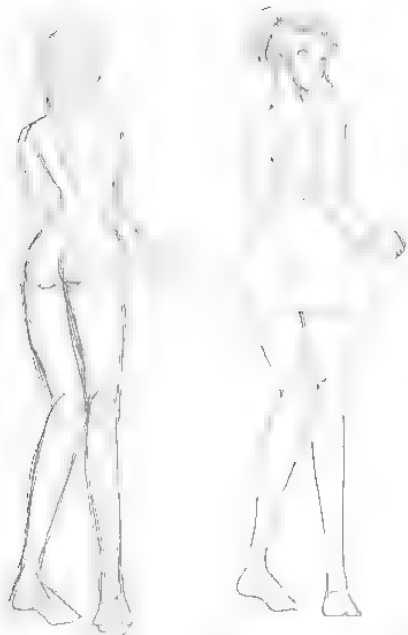
骨盤部

平行になっています。動きがありません。

イメージラフ



● 作画の手順とポイント



① イメージラフをもとにして、カラダのラフを描きます。

② 顔、髪、カラダ、服を描きます（通常は、服に隠れる部分をしっかり描く必要はありません）。

えりは首よりも外側にゆとりを持たせます。

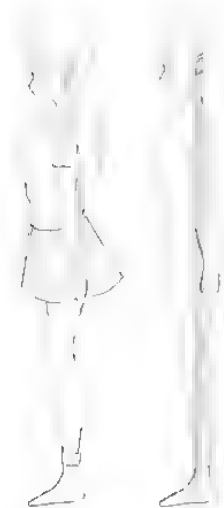
背中ラインに沿わせるイメージ

外に広がるイメージ

③ それでは、ほんの少し腕より細いイメージ。太めにするとかわいく、細めにする、カッコ良くなります。スカートはお尻の張り出しを活かしてゆるやかに広がるイメージで描きます。スカートのすそは波線状の曲線にして軽いひるがえり感を与え、動きを出します。

参考 ハダカをしつかり描いた場合

横を向いたポーズ



動きがない場合。直線的
です。

カラダを真横から少しこ
らに向けた斜め向きにす
ると、より立体的におっぱ
いのふくらみをアピールす
ることができます。

乳房の下半分全体に
カゲを入れて、おっ
ぱいのボリューム感
をアピールします。

おっぱいのふくら
みを生かします。



透視図



ノーブラ演出の場合。乳首からの短いシワ線を
主体にして、乳房下面のカゲを省略します（ノ
ーブラでもハリのあるおっぱい、という設定で、
形の良さを演出しています）。



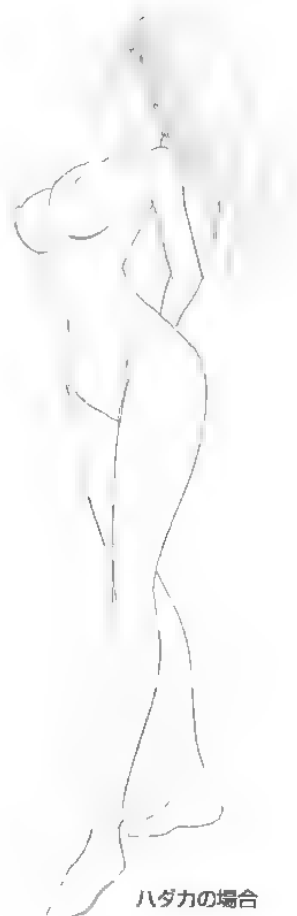
弓なり（曲線
的シルエット）

腕は後ろに回したり
して、腰のくびれを
見せるポージング上
の工夫もお色気感ア
ップに必要です。

イメージラフ

ハイソックスは、は
き口ラインでふくら
みはぎの立体感を演出
してくれます。

はき口ライン

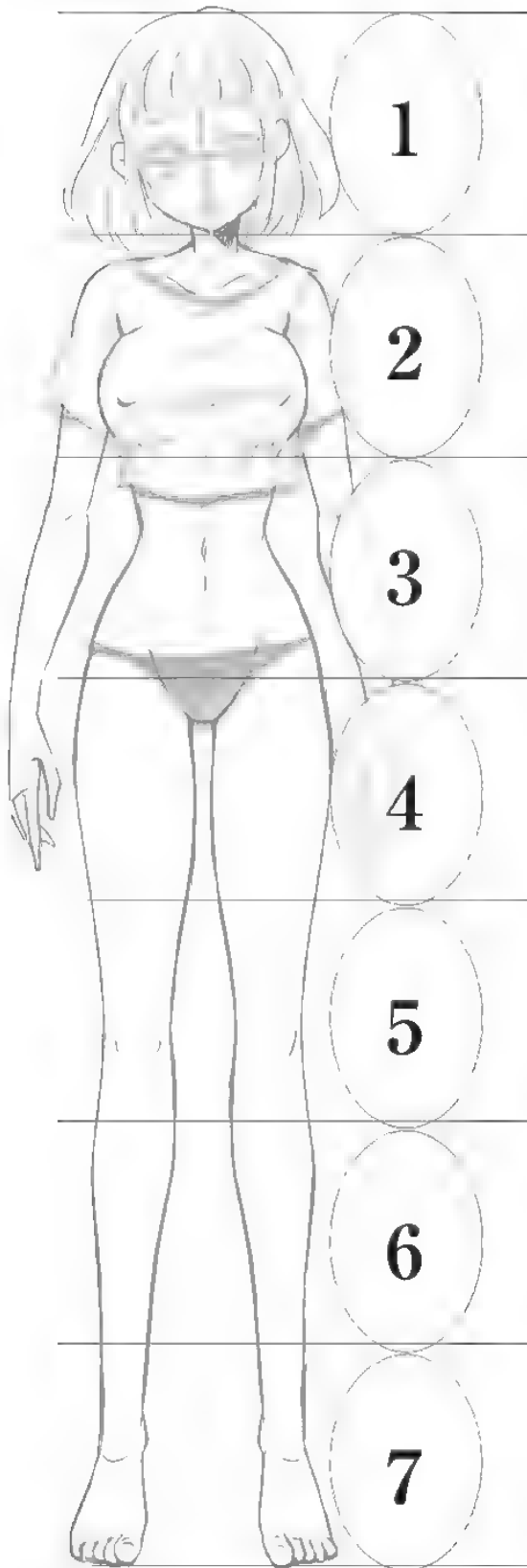


ハダカの場合

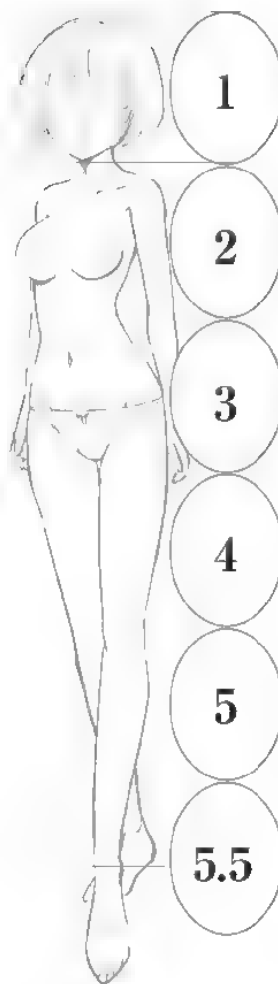
コラム 頭身について

● 全身の場合

7 頭身キャラ

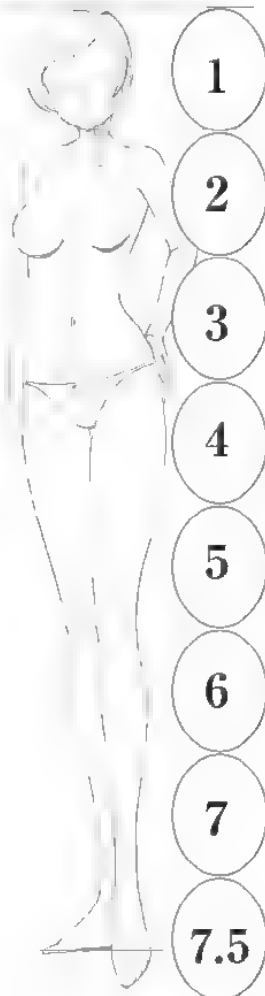


頭部の大きさを基準にして全身をとらえる考え方を頭身といいます。ちびキャラは2.5 頭身とか3 頭身、モデル体型は8 頭身や9 頭身などといわれています。キャラの描き分けの目安に利用します。



かわいい系

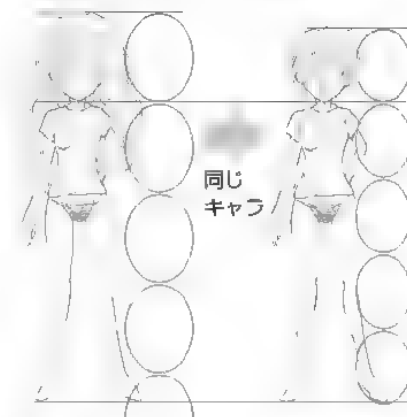
頭を大きめにします。
※かわいい系は頭部、特に髪の毛のボリュームで頭部を大きく見せて、髪を含めた頭を1 頭身とします。5～6 等身くらいです。



セクシー系

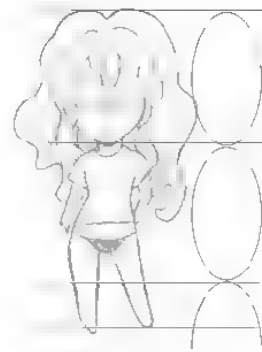
頭が小さめのキャラで、6.5 頭身以上くらいが目安です。

・ 髪の毛の量で変わる頭身



髪の毛のボリュームで頭が大きいキャラ。
4.2 頭身くらい。

髪の毛を減らすと、
5 頭身です。

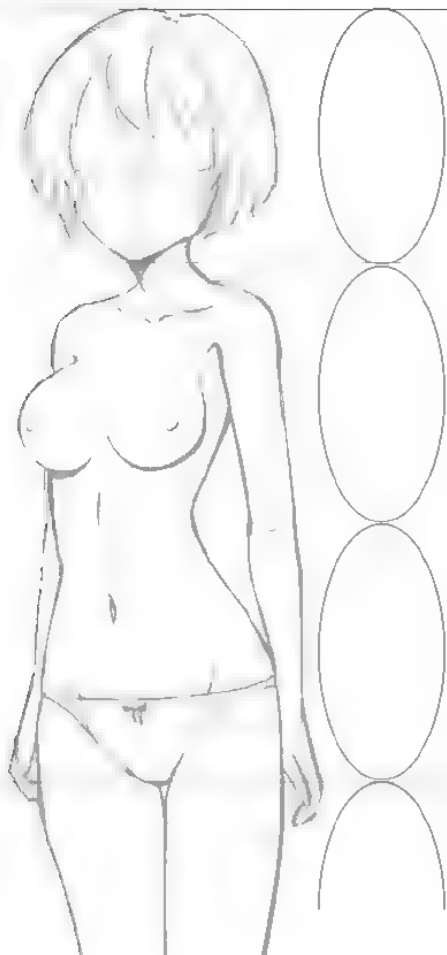


デフォルメキャラの例。
2.3 頭身くらい。

● ニーショットの場合

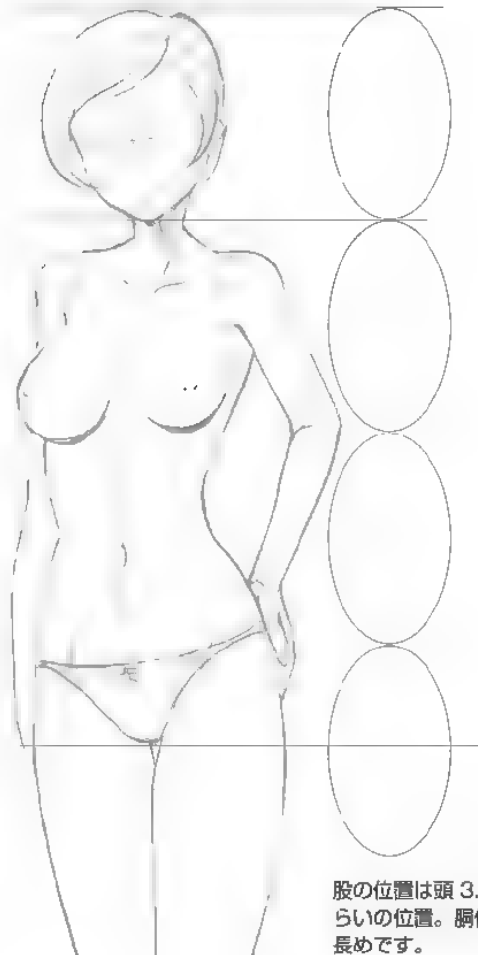
頭の大きさに対して、胴体の長さ（股の位置）がキャラごとに決まっています。ニーショットを描くときは、頭の大きさを目安にして股の位置を決めて作画します。

かわいいキャラ・子どもふうキャラ



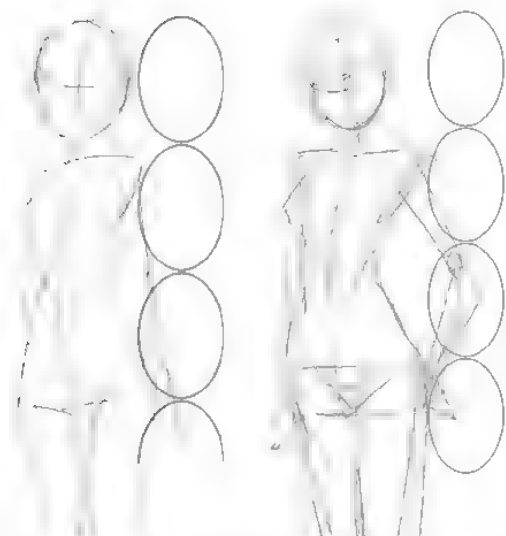
股の位置は頭3個目くらいの位置。胴体は短めです。

セクシーキャラ・おとなふうキャラ

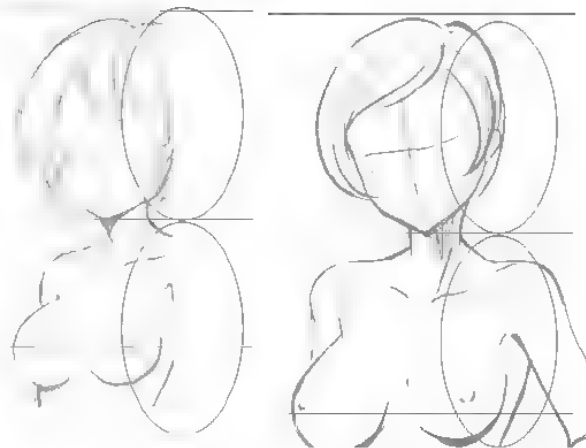


股の位置は頭3.5個目くらいの位置。胴体は少し長めです。

● バストショットの場合



ニーショットのアタリ。通常、頭を描いてカラダを描きます。このとき、カラダは股の位置を決めて描きます。



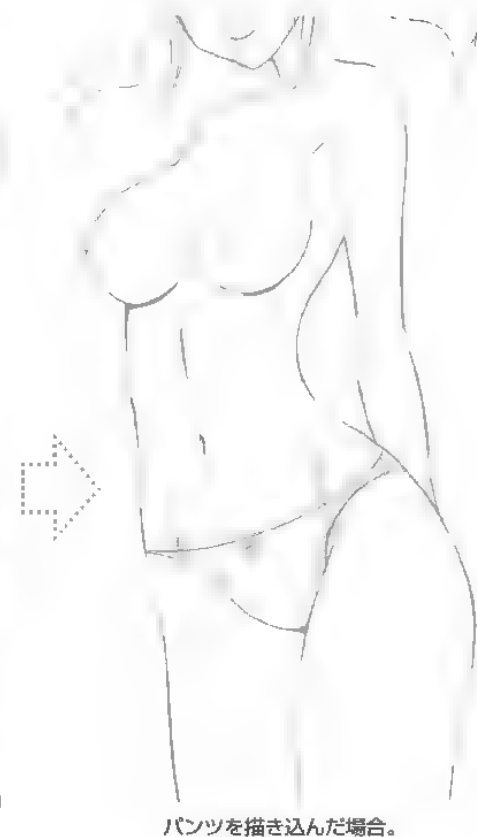
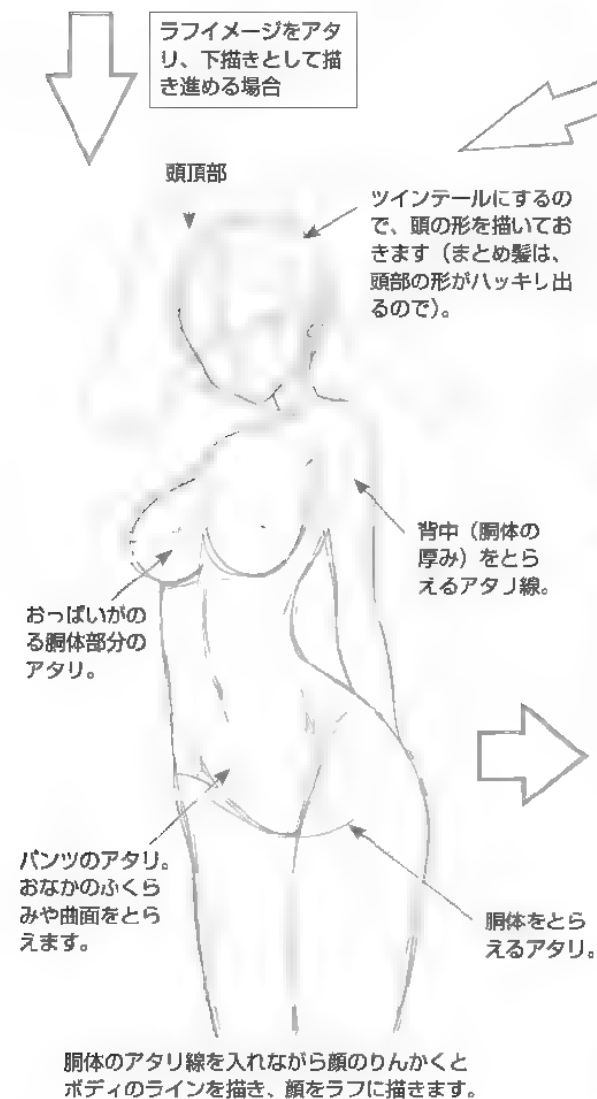
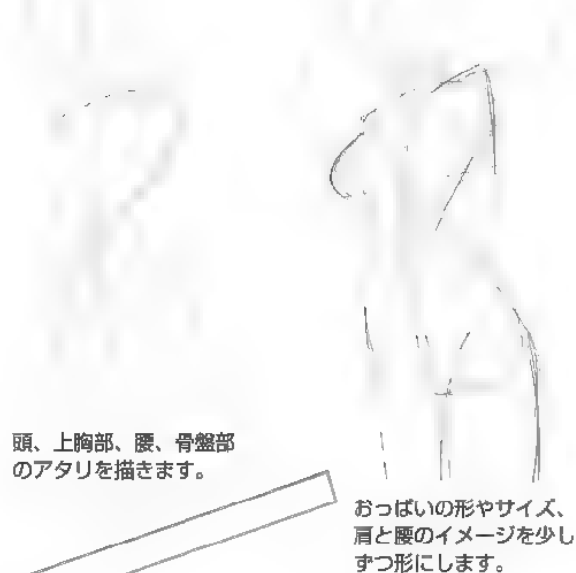
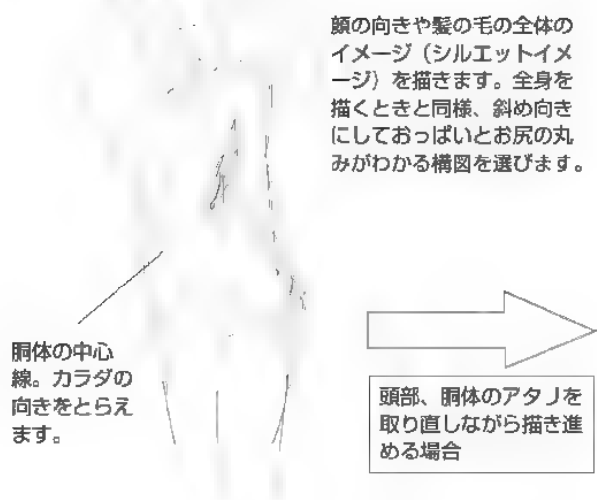
バストショットも同様に、頭の大きさを基準にして胸の位置をとらえます。慣れてくると、いちいち計らなくても描けるようになります。頭身は、描き慣れないバランスのキャラを描くときや、ほかの人の絵の特徴やバランスを学ぶときに利用すると、自分の絵との違いやうまい人の絵や描きたい絵のバランスの秘密がわかります。

ニーショットポーズを描いてみよう

ハダカから描く

色っぽいキャラは、最初はハダカを描いて服を着せることから始めましょう。

ラフイメージ



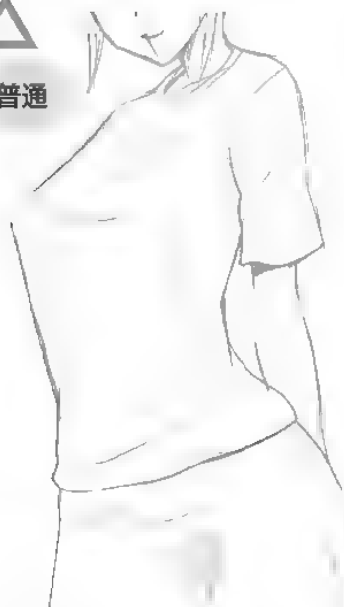
服を描く

服によって、ハダカのラインを活かした方が良いものと、服のシルエットに合わせてカラダを変えた方が良いものがあります。

● Tシャツ

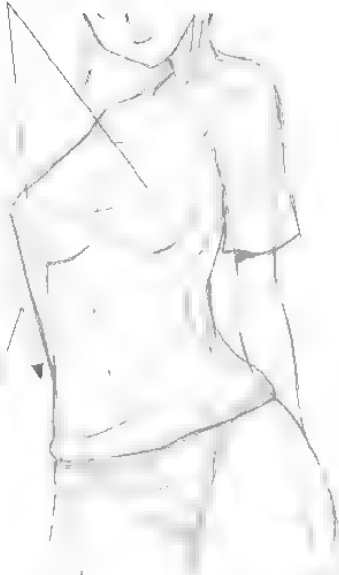


普通



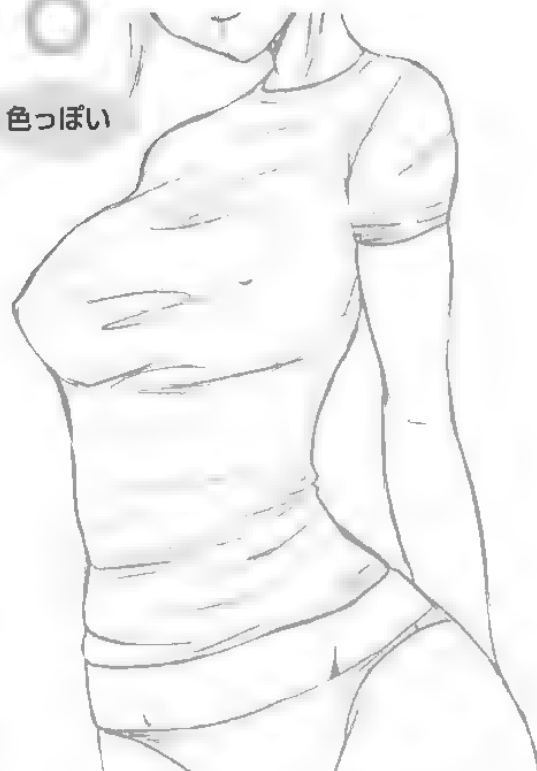
ゆったりしたTシャツ。バストラインが少しバランス悪く見えます。

胸もとのシワは、カラダから一番外に飛び出している乳首から広がるように描きます。



自然に描くと、乳首から腰まで、なだらかな曲線になって胴体のメリハリが減り、今ひとつ色っぽくなりません。右の絵のように、下乳の部分に巻き込むように描くと色っぽくなります。

色っぽい



ビチビチの小さめのTシャツ。細く細かいシワでびっちり感を出します。シワの線は、胴体の曲面を意識して曲線を主体に用いましょう。

● ブラウス

普通



ブラウスは、「胸のふくらみ」そのものが色っぽさのポイントともいわれます。バストラインがきれいに見えるようにアウトラインを補正します。

実際の乳房のアウトラインとは異なるラインです。ブラによって補正されることもあります。服を着たときは服のシルエットを大切に、形を変えて描きましょう。



色っぽい



「色っぽさを強調」した作画。いまひとつブラウスっぽくなくなりますが、バストラインを、柔らかそうなおっぱいのシルエットを意識して曲線で描きます。バストサイズは大きめに強調します。

いろんな色っぽいポーズを描いてみよう

体操着を着たポーズを描く

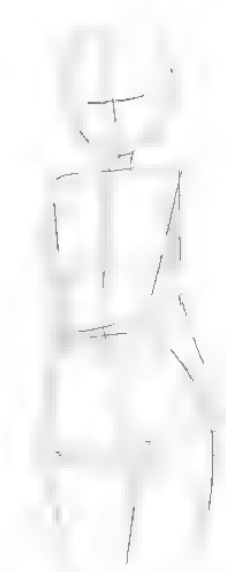
「隠すお色気」の代表例です。あまり動きがなくても、水着や下着よりもお色気感を持つアイテムです。着衣によるお色気表現の基本のほとんどすべてがあります。

●ブルマスタイルの特徴

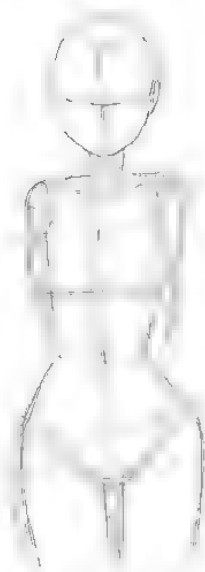


- ・胸のふくらみやボディラインが現れる
- ・股間部のチラ見え効果

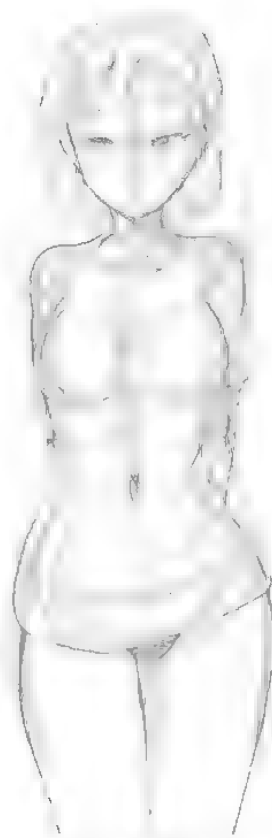
ふわっとした上着がかわいいイメージを与えると同時に、白い上着と濃い色のパンツのコントラストが「包まれた肉」「隠されたカラダ」の存在感をアピールします。



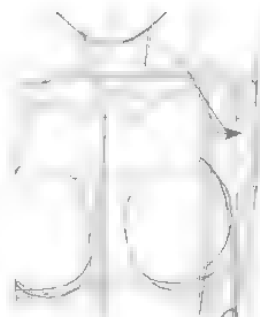
アタリ。姿勢とポーズのイメージを描きます。



ラフ。ボディライン、カラダを描きます。



ラフ画に完成絵を重ねたもの(胴体透視図)



大きめのおっぱいは胴体の外に少し張り出して描きます。



通常の着こなし。すそで、見えるブルマの面積が変わります。



上着のすそをブルマに入れた場合。

実際には中に入ったすそ部分でブルマがふくらみますが、作画上はカッコ良さを優先して描きます。

● ポーズ例と色っぽさのアピールポイント

すそを持って引っ張る



ちょっとお尻を突き出す (少しローアングル)



● 後ろ側の表現 プルマ表現のいろいろを見てみましょう。



普通に上着のすそを下ろした場合



着替え中など、背中が少し見える場合。



お尻を完全に包む場合



お尻の肉のはみ出しがある場合



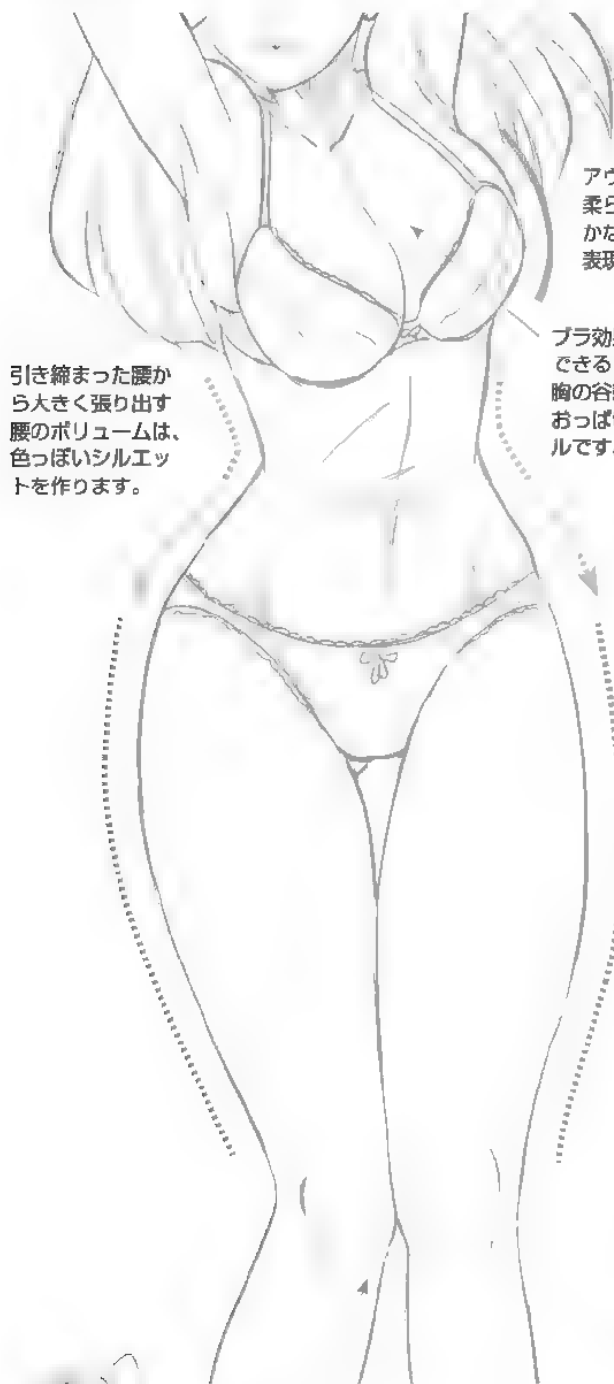
お尻を強調した着こなし



お尻の割れ目の線を描かない場合。最もおとなしい表現。

水着や下着姿のポージング

● 下着での脇見せアピールポーズ



引き締まった腰から大きく張り出す腰のボリュームは、色っぽいシルエットを作ります。

アウトラインで柔らかそうな豊かなおっぱいを表現します。

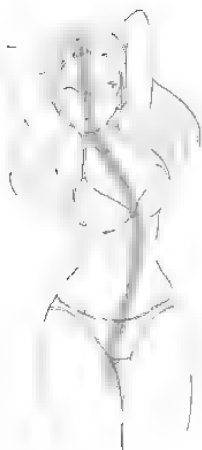
ブラ効果によってできるしなやかな胸の谷間。豊満なおっぱいのアピールです。

ワンピース水着で走るシーンのワンショット



腰・おなかに行き渡るシワ表現で、胴体の立体感をアピールします。

脚のつけ根部分のわずかなすき間と、後ろに見えるお尻の肉はお色気ポイントです。



両ヒザをつけることで、太ももからの脚線ラインが美しいシルエットを描き、肉感的な太ももを強調します。

しなりを描く胴体です。



斜めの揺れ

上下の揺れ

おっぱいのアウトラインは、揺れている方向を決めて描きます。

● スパッツ+ゆったりタンクトップ
くつろぎタイム

手をついてカラダを支えています。

おっぱいの自重で垂れた感じにアウトラインを描きます。普通のおっぱいよりも、Uの字型を心がけます。

スパッツは背面から前面にかけて中央に縫い目の線が入っています。肉体の曲面に沿った曲線を描きましょう。

スパッツが食い込んでわずかにへこんでいます。

● 短めのスリッパ+パンツで
軽いストレッチ

おっぱいの線は強調せず、あっさり描くことで上品な色気が生まれます。

スカート状のすそからのぞく太ももがポイントです。開いた脚は、何気ないセクシーな色っぽさを生みます。

開いた脚

イメージラフ。反る曲線をイメージして描きます。動きをテーマにしています。

● 半そで+タイトスカート
片ヒザ立て



タイトスカートのまわり込み

アンダーバストに
上着を巻き込んで、
おっぱいを強調する
着こなしです。

ヒザ、スネ、太ももに
タッチを入れて脚部の
肉感を強調します。

わずかにパンツを見せ
ます。黒く塗りつぶし
たカゲ表現にして、見
えなくする演出もあり
ます。

ラフイメージ+アタ
リ。パンツを描いて、
脚のつけ根をとらえ
て描きます。

ビキニ水着 腰かける



両腕でおっぱいを
寄せています。

直線に近い真っ直
ぐめの曲線にしま
しょう。

腹部の筋肉の線
を入れて引き締
まった腰まわり
を演出します。

座面についている太も
も。少し外側にふくら
ませて、柔らかさを出
しましょう。

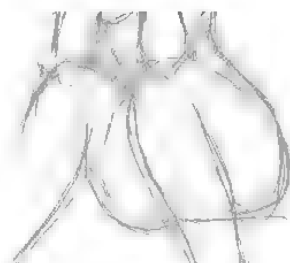
● 腕と脚で体を隠す

何も着ていないよう
に見えるポーズです。
実際は小さいパンツ
と撮影用のシールを
胸に貼っています。

少しだけ寄せられた
小ぶりのおっぱい



V (Y) の字状のシワで
「寄せられている」こと
を表現します。



ラフ。脚のつけ根まわりをと
らえて描きます。



ブラ

腕に隠れるブラの形や脚のつけ根、
座面のアタリを描いて作画します。

● 布が少なめのビキニ水着で
ジャンプ



背中もヒモの食い込みで肉感を出します。食い込ませすぎると、はみ出す肉がぶよぶよなイメージになるので慎重に描きます。

くびれで水着の食い込みとお尻の肉の柔らかな感じを演出します。

弾むおっぱいは少しいびつな形にすると、柔らかな肉感が出ます。

おっぱいの形は後で調整します。

腕に隠れる背中や奥の脚（右脚）の形をとって描き進めます。

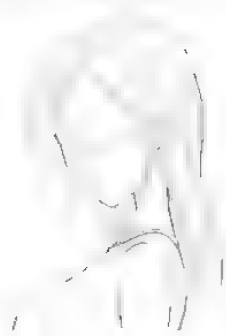
ラフイメージ

デッサン

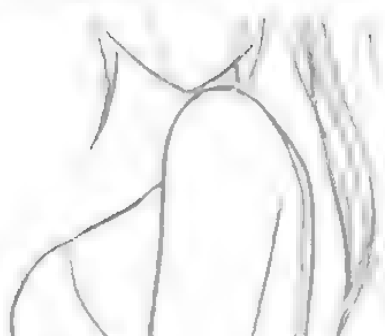
バストショットの色っぽいしぐさ

お色気感は全身のポーズだけでなく、首をかしげる、肩を上げるなど、しぐさ（上半身パーツの動き）でもさまざまなムード（お色気）が生まれます。

手や顔まわりのしぐさ演出



ちょっとこっちを
向いたキャラ



何げに肩を上げる



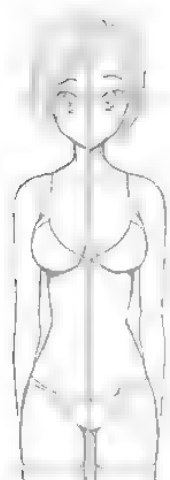
指をくわえてみる

しぐさ表現のポイント

1. 肩の動き
2. 顔の角度を変える（首の動き）
3. 腕や手、指の演技

顔やおっぱいだけでなく、手や腕とのコラボでキャラは色っぽくなったり、かわいくなります。ちょっとした動作で、魅力的なキャラを演出しましょう。

● 何気ない胸寄せポーズ （正面側のしぐさ演出）



何の動きもない状態。
前を向いて真っ直ぐに
立っているだけです。



両腕に圧迫されてポリウム感あふれる肉感を生み出すおっぱい。口もとから胸もとだけを描く場合も、頭部、肩、カラダ全体の動きの作画が必要です。

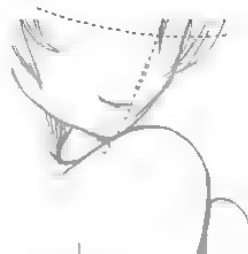
● 余裕の笑みで胸を隠すポーズ
(背中側のしぐさ演出)



隠していない状態



作画のポイント。肩を上げ、胸もとを見せるために腕を後ろに引きました。



あごと口でうつむいた動きを表現します。



つけ根部分もゆるやかな曲線で描きます。

あふれ出すようなふくらみを意識して曲線を描きます。抑えつけられたおっぱいの柔らかさとボリューム感が生まれます。

● ワンポイント ギャップ演出



いわゆるメガネっ娘ですが



メガネ忘れました。

「ギャップ萌え」演出です。「ただ眼鏡をはすただけ」でなぜか「どっきり」。「ギャラの魅力をアピールする」という意味で「色っぽさ」の演出のひとつです（逆に、「メガネをかける姿にどっきり」もあります）。

腕組み（しぐさ）、顔とカラダをナナメに傾けている姿勢、髪の毛の動きにも注目です。

色っぽい手のしぐさを描く

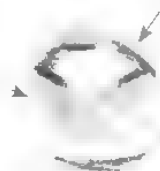
顔のパーツや髪の毛に触れる手や、胸もとを押さえる手など、手が演出する色っぽい作画を見てみましょう。

「ないしょ」くちびるムニ♡



開けた口の半分くらいを黒い力ゲで埋めることで奥行きが現れ、口の立体感と色っぽさが際立ちます。

「ん…」髪の毛をかき上げて…



下唇の先端

口のりんかく線のとり方に注目しましょう。両端（口角／こうかく）部分を濃く描いて、下唇の先端は線を引きません。



つむった目。まつ毛の密度と方向（外側に向けて伸びています）をとらえましょう。

「はらり」

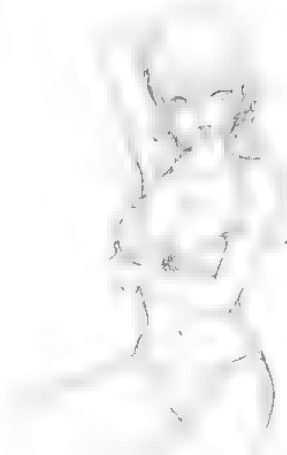


後ろに回した手でさりげなく髪の毛をまとめるしぐさ。エレガントな所作です。



中心線

デッサン。ポーズのシルエットと、顔とカラダの向きをはっきりさせてから、顔や下着の作画にかかります。



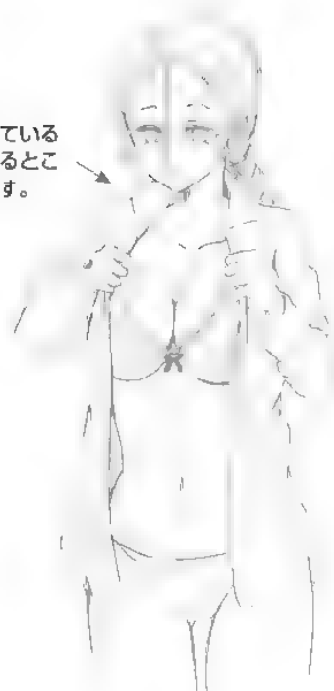
着替え中のしぐさを描く

着替え中を演出するポーズを描いてみましょう。

● ブラウスを着る



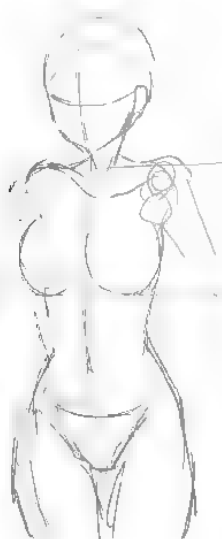
エリが立っていると、着ているところに見えます。



ここだけアップにすると、「脱いだところ」のどっきりカットに見えます。



ラフイメージ。当初はノーブラをイメージしていました。



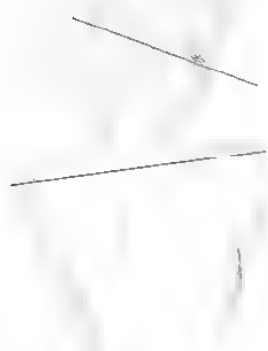
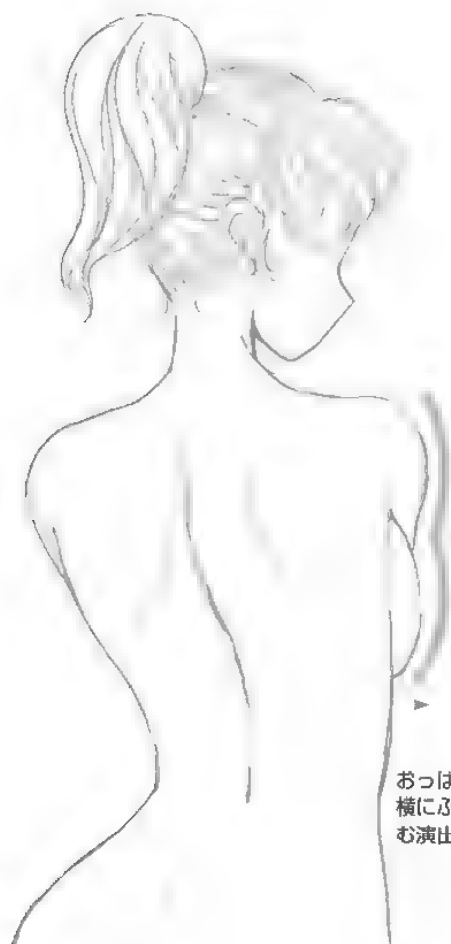
デッサン。ポーズのポイント（顔の向き、肩位置と手、おっぱいと股位置～胴体）をとらえて作画を進めます。

ヒジの位置は「胸の下よりちょっと下」という意識でとらえるので、おっぱいをきっちり描いたらそれがヒジ位置の目安になります。

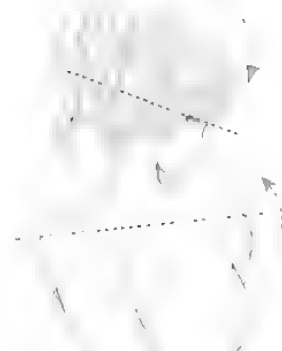


ブラウスのラフを描き込みます。

● 背中側…しなをつくる



ラフ。ちょっと首をかしげ、肩ラインを斜めにします。

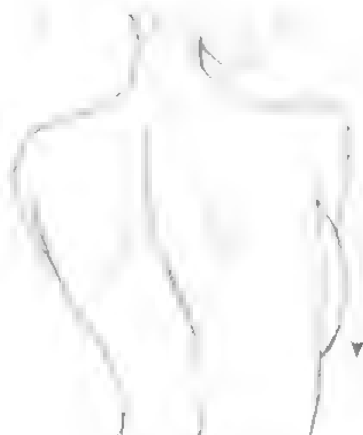


しなりをつくる動き

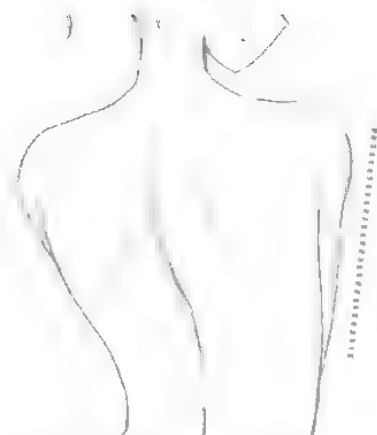


しなりのシルエットは首の動きと腰のラインでつくられます。

おっぱいが横にふくらむ演出



おっぱいがタテににふくらむ演出



おっぱいが見えない場合。これが自然な状態で、おっぱいが外側にふくらむのは、腕で外側に押し出しているからです。

● 前かがみ気味になって隠すしぐさ 前を隠す…「とっさのしぐさ」です。

肩が上がる動きをとらえましょう。



腕を前に回している
ので、おっぱいが押し
出されます。



サービスショットとしての
見せ所（テーマ）は突き出
したお尻です。

多彩なポーズとしぐさを組み合わせる

さまざまなシチュエーションがある中でも、「しぐさ」に関わるお色気ポーズは難易度が高いものも多いです。ここでは通常アングルを主体に ・腕の動きのあるもの ・腕や手が胴体の前面にかかるもの ・前かがみ気味+ひねりなどにチャレンジしてみましょう。



● ふり向きポーズ
弓なりに反らせた姿勢

お尻の下やキュロットの下のカゲをいれると、肉感や存在感が大きくなります。

ラフイメージ

デッサン。お尻や脚など、隠れる部分も描きます。



● うろたえ・固まったポーズ

無意識に手を顔の近くに持っていきしぐさ。

色っぽさをアピールする3つの表現ポイント

1. 胸もとのY字シワ

2. ぴったりめにきたパンツ

3. 細めの太もも

棒立ち気味に脚を開いた立ち方は「不意打ち感」や無防備感を演出します。



デッサン。キャラや衣装のラフを進める段階で、胸もとやパンツの褶こなし、細めの脚など、見せたいポイント（テーマ）をはっきりさせます。

ラフイメージ。ポーズだけです。太ももは太いです。

● レギンス + ハイ
ネックのピタ気味
Tシャツ



ノーブラを意識する場合はとがった感じにします。

カラダのラインにピッタリ沿わせて、背面ラインを描きましょう。

バストラインは丸みを帯びさせても OK です。やさしい感じになります。

起点

引っ張る方向と起点を意識してシワを描きます。

パンツのラインが浮き出します。

上着のすそを親指に引っかけています。

レギンスはお尻から脚線にそって、ピッタリ描きましょう。

すそ部分で少したわみや厚みを描きます。

見られた！

● ショートパンツを脱ぐ

この部分にカゲを落としましょう。

デニム生地のショートパンツ。脚を描いてからアタリをとって作画します。

● 下着姿で大胆に股を開いて座る

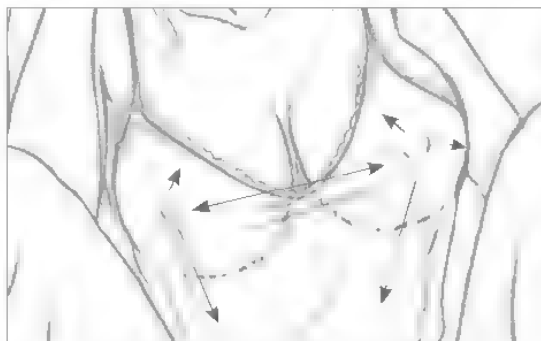
寄せていない
のですき間が
あります。

おっぱいはハダカと同じ
ラインにして、トップス
は上からはおっているだ
けの感じを出します。

脚のつけ根とパンツの間
の黒いカゲで立体感を与
えましょう。



眼鏡に手を添えるしぐさ



薄く、透けている生地です。乳首をシワの起点にします。



手の習作（ポーズ案）

ラフイメージ +
ラフデッサン



胴体のアタリを
取って描きます。



コラム ハダカの色気

服では隠さない。でも「全部は見えない」ことによって生まれる色っぽさを描いてみましょう。

● パンツを脱ぐ 無防備の色っぽさ



パンツにはゴムが入っているの、くしゃくしゃになります。

太くシワができます。

おっぱいが垂れた感じになるように、ゆったりした曲線で描きます。

少し斜めに前かがみになっている姿勢なので、おなか側にも軽くシワを入れます。

● ベタンと床座り 無邪気感。かわいい色っぽさのあるポーズ



乳房は寄せられています。

少し前かがみの姿勢です。

プリンとふくらんだ感じの曲線はふくらんだボールのイメージで描きます。

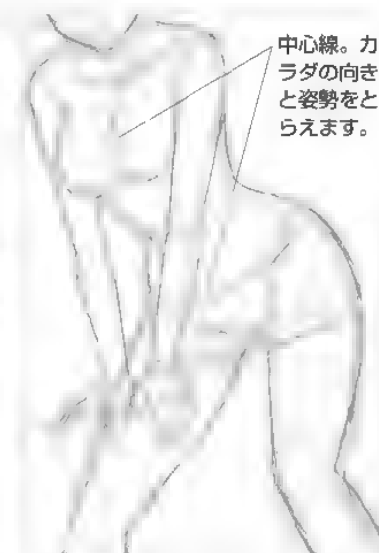
垂れている感じは2つの曲線を組み合わせるイメージで描きます。

股の間に手をつくポーズは、キュートなかわいい雰囲気生まれます。

● 柵をまたいで超える

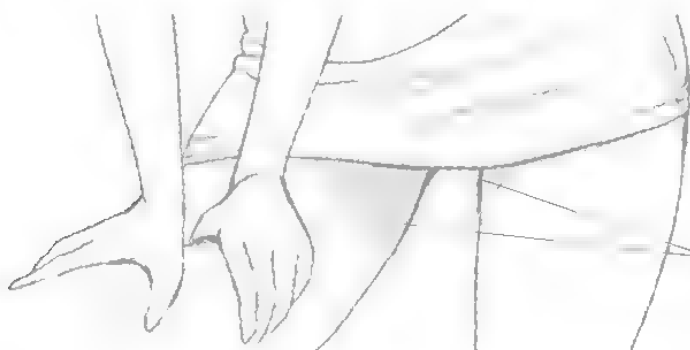


柵のアタリを描いてキャラの作画を進めます。



中心線。カラダの向きと姿勢をとらえます。

腕やスカートに隠れますが、太ももが決め手になるポーズです。そのため、脚のつけ根からしっかり描きます。



主人公は太ももです。スカートのカゲを落として立体感を与えましょう。色っぽくなります。

第2章

カメラワークで 差をつける！

グッとくるカメラアングル



色っぽく見せるにはカメラワークが大切

アオリやフカンなどのように、モノの遠近感を強調して描く手法や、見せたい部分を大きくドアップ（クローズアップ）にするなど、見せ方の演出を学びましょう。

●「普通のカメラアングル」→「お尻強調のカメラワーク」の例



後ろにまわり、見上げるようにして撮った場合（ややアオリ）。お尻を狙って撮る、お尻をテーマにして描く場合などの手法です。

● ローアングル / 下から撮る：
アオリ表現

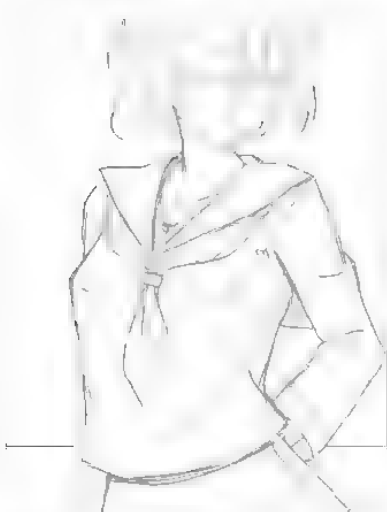


普通にアップ



少し近づいてしゃがんで撮った場合（アオリ）。パンチラや股間をテーマにするときなどに用います。迫力が出る構図です。顔が小さくなるので、キャラの顔アピールには不向きです。

● ハイアングル / 上から撮る：
フカン表現



普通のスナップ（普通のアングル）



木に登って上から撮った（フカン、鳥瞰 / ちょうかん）。胸もと（おっぱい）の魅力をテーマにするときなどに用います。キャラをアピールするときや説明的なカットでも利用します。

カメラマンになった気分で描いてみよう



カメラマンになったつもりで、描きたい女の子をいろんな角度から見てみましょう。同じ女の子でも、カメラを構える場所やカメラの角度によって大きく印象が変わって見えるはずです。

見せたいのは色っぽいお尻か、太ももか。それともバストやうなじなのか……。見せたいもの、表現したいものにあったカメラアングルを考え、描いていきましょう。





ちょっと離れて
真横から！



二階に上がって。
こっちを向いて欲
しいな！

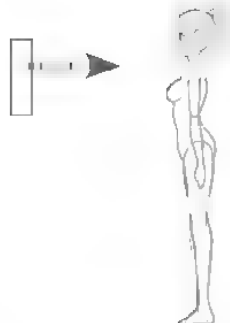


腹ばいになって
見上げる感じで
撮ってみました

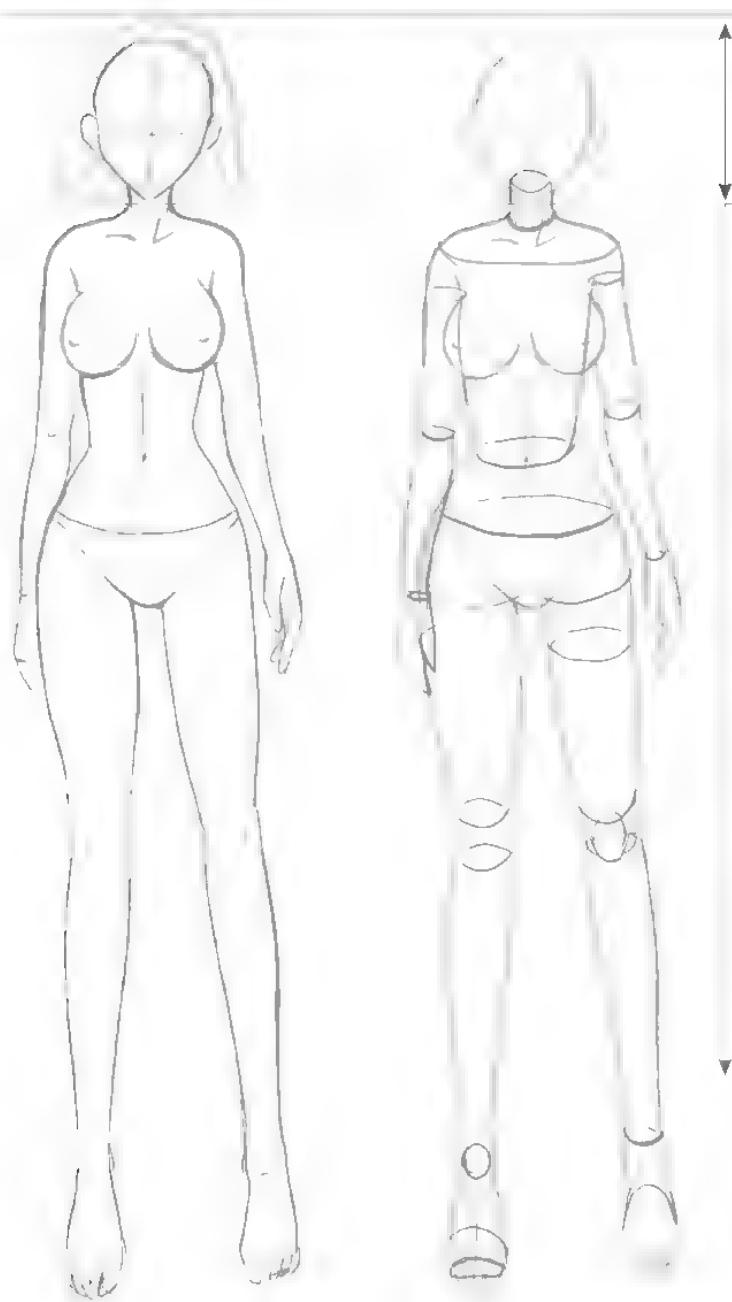
カメラワークの基本は「標準」「フカン」「アオリ」

普通に立って見る「標準」、上から見下ろす「フカン」、しゃがんで見上げる「アオリ」をイメージして描きます。

標準



モデルと同じように普通に立った状態でカメラを向けて撮るカメラワークです。



このへんは普通に見えます。

胴体を円柱におきかえると、この図で見えている肩は円柱の上面にあたるのがわかります。

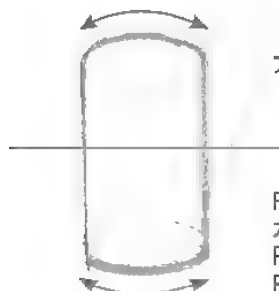


太ももやすねも「上面が見える円柱」のイメージです。



腕や脚は完全な円柱ではありませんが、円柱状にとらえます。

● アイレベルについて 撮る人の目の高さをアイレベルといいます。



アイレベル

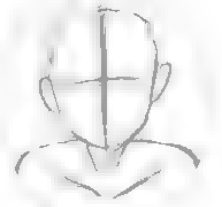
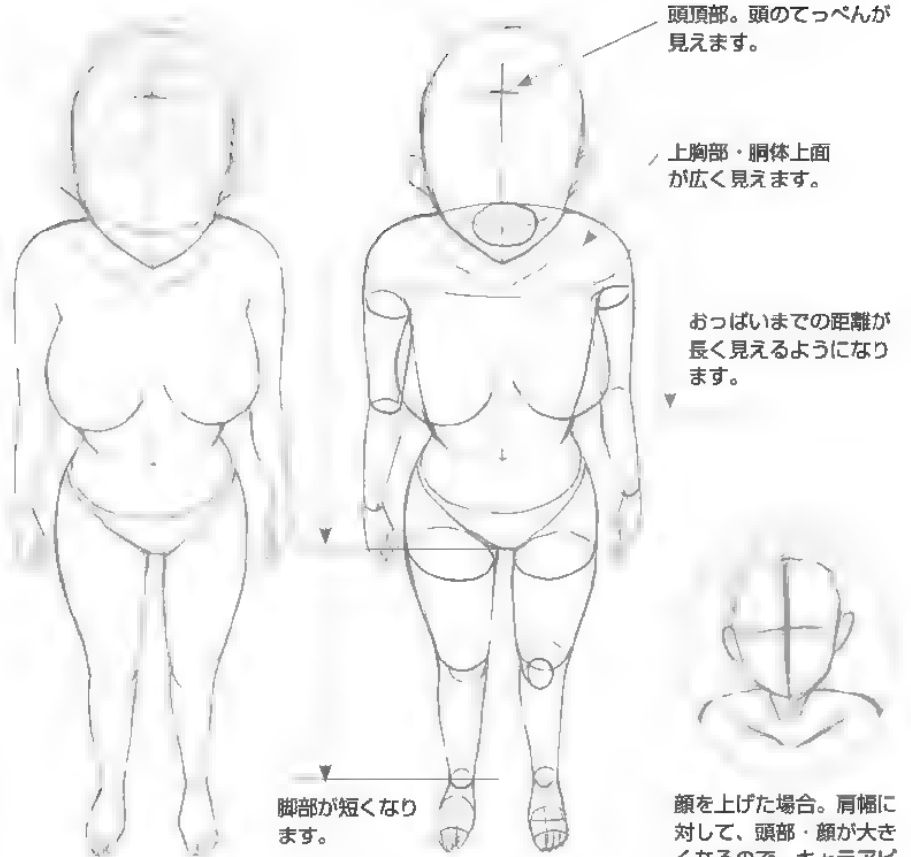
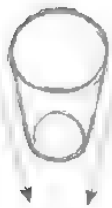
円柱を撮影する場合。
カメラを上や下に向けず真っ直ぐに向けて撮ると、円柱の下端(アイレベルより上にある)・・・上弦のカーブを描きます。円柱の下端(アイレベルより下にある)・・・下弦のカーブを描きます。

フカン

上から見る・見下ろす

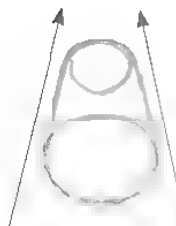
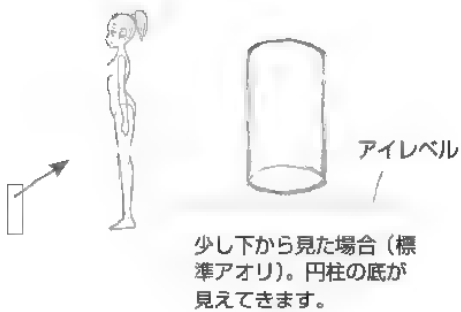


アイレベル



アオリ

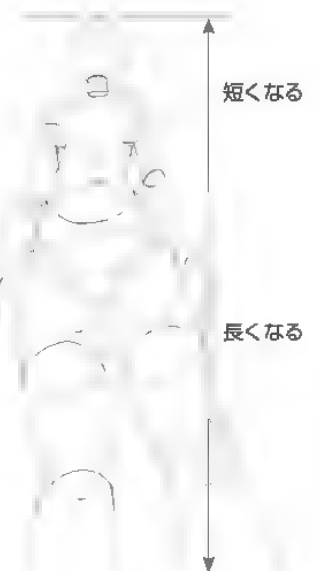
下から見る・見あげる



カラダの上面は見え、ヘリ(りんかく)だけです。

顔は小さくなります。

カラダの下面が見えます。



見上げる度合いを大きくするほど、上は短く、小さくなります。

脚は下に行くほど太くなります。

アオリのアングルで描く

「キャラの下から見上げる」イメージです。普通に見上げる「標準タイプ」と、ダイナミックな印象の「広角タイプ」を描いてみましょう。



標準タイプ

目の前の棚を見上げる程度の見上げ感でイメージしましょう。

標準タイプのアオリは、頭と胴体は普通のアングルっぽく描き、脚のつけ根や体下面が少し見えるように描きます。

● 健康的な セクシーポーズ

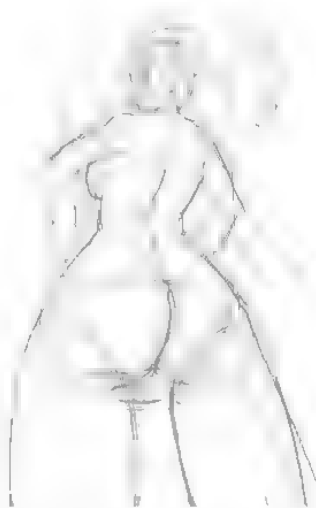
アタリイメージ。顔は大きめにし、上に向かってあまり細くならないように描きます。

肩とおっぱいの距離を狭くします。

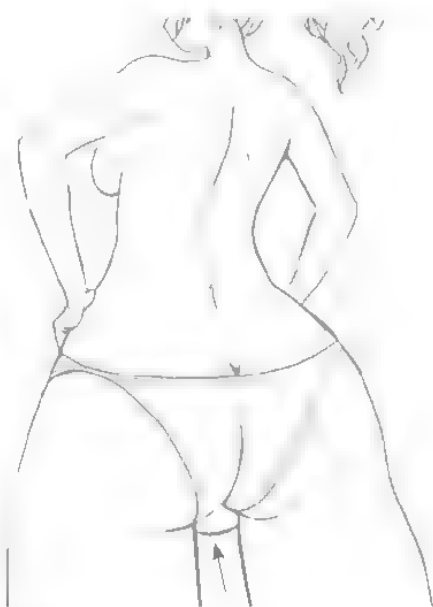
腰から下を大きくしすぎないように気をつけます。



顔が大きめで、キャラアピールできるアオリです。



後ろ側は張り出したお尻を大きめに描くと色っぽさアップ。



脚の奥に股の丸みを描くとアオリっぽさが出ます。



広角タイプ

高層ビルを見上げるような気分でイメージしましょう。



上に向かって小さくなるように描きます。

胴体の丸み（立体感）をとらえる曲線。

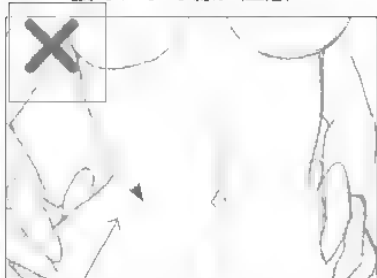
ラフイメージ



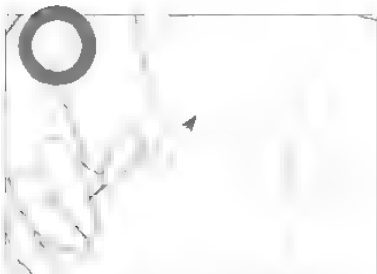
肩はおっぱいに隠れて見えません（小ぶりの設定の場合は見えます）。

お尻の割れ目を描きます。

腰のシワの線に注意



腰ぎわの線をこうするとアオリっぽくなります。



アオリでは下から上に食い込ませましょう。

●パンチラショット

服のシワもハダカの腰の線の方向を反映させます。



服のアタリ。スカートもだ円を描きましょう。

フカンのアングルを描く

「キャラの上の方から見下ろす」イメージです。
座っているポーズなどは標準タイプで描き、遠近感を強調したいときは広角タイプを用います。



標準タイプ
(簡単タイプ)

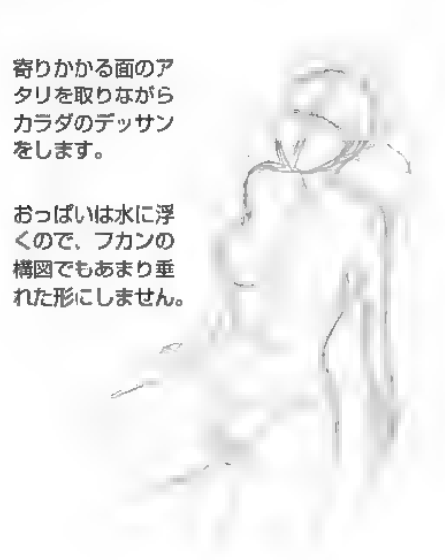
● ゆったり湯船につかる



標準タイプは遠近感（手前が大きい、遠くが小さい）をほとんど考えません（水面・水中のゆがみなども、必要がなければ考慮しません）。

寄りかかる面のアタリを取りながらカラダのデッサンをします。

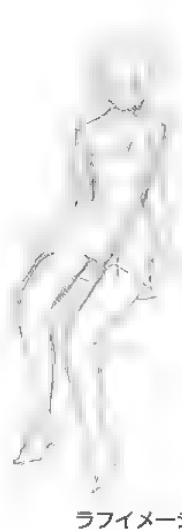
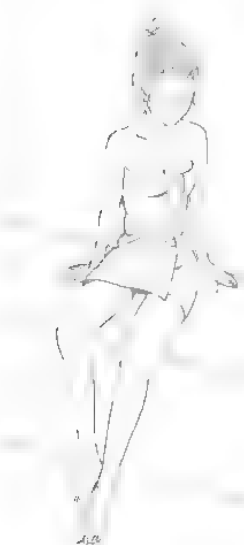
おっぱいは水に浮くので、フカンの構図でもあまり垂れた形にしません。



おなかのシワを入れましょう。



● タオル巻きで腰かける



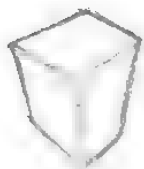
ラフイメージ



顔とカラダの向きをとらえる中心線

座面など、腰かけ部分のラフを描いて作画を進めます。





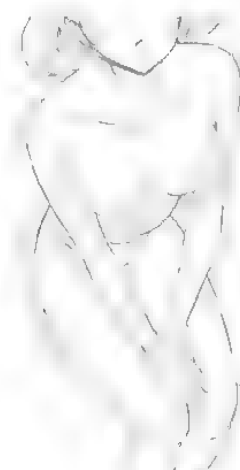
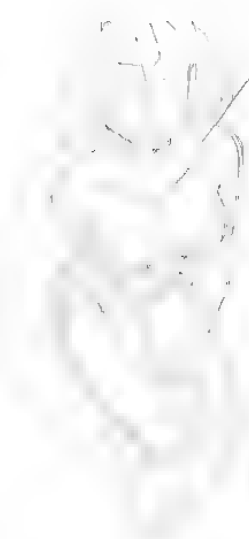
広角タイプ



● ブラウスとタイトスカートで腰かける

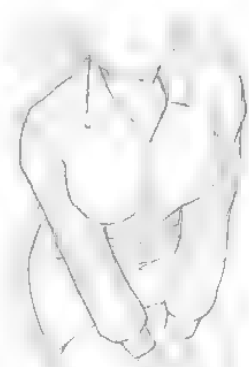
ドラマティックなイメージにしたい場合。顔を大きくできるので、キャラをアピールしたいイラストなどでも用いる手法です。

広角タイプは上面の厚み（幅）を意識して作画します。

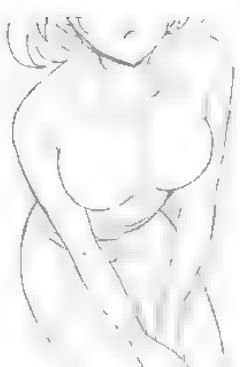


座面と背面のタテ横をラフに描き込んで姿勢や立体のイメージをつかみましょう。

カラダの主線を描きます。

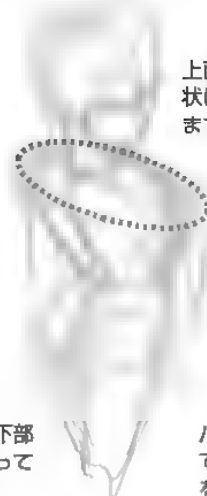


服を描きます。肩まわりや腰まわりは体のラインに沿わせます。



服を透けさせたもの。そでのゆったり感だけで、ほかは貼りついているように描いても違和感がありません。

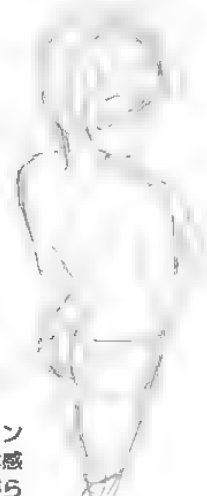
● ハダカ。ちょっと振り向く



上面をだ円状にとらえます。

腰や胴体の最下部などの形もとって作画します。

パンツのラインで曲面と立体感を確認しながら描きます。



大きな乳房を演出しない場合、おっぱいは見えません。

アオリの色っぽい描写

カラダ・肉体の存在感を強くアピールしたい、お尻を大きく描きたいなどのとき、広角ふうに描きます。

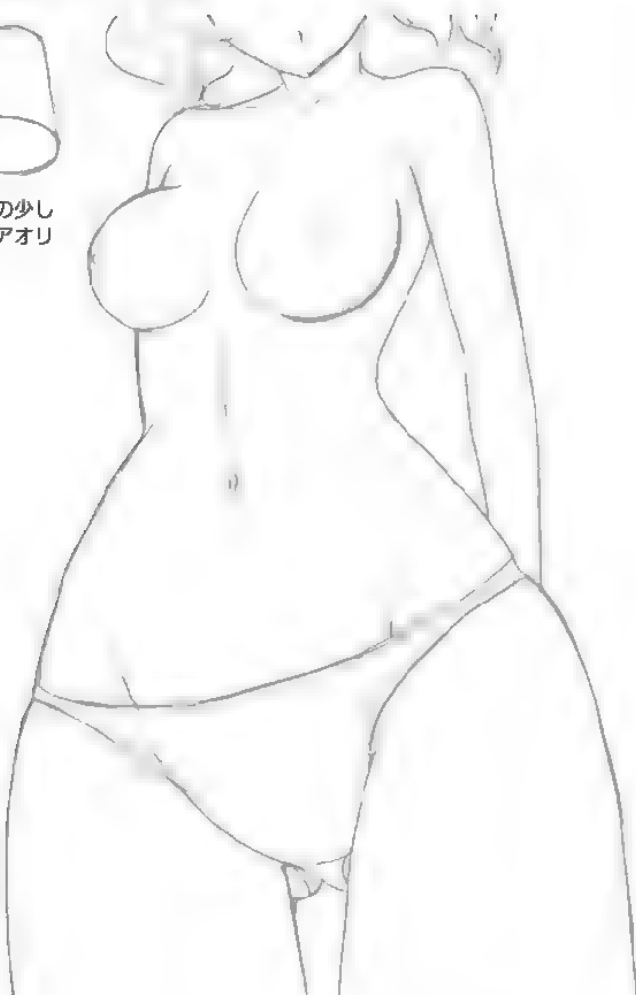
自然体のアオリ

標準タイプのアレンジです。下半身を大きく、ほんの少し広角ふうに描きます。

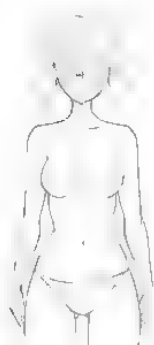
● 腰まわりの強調



ほんの少し
広角アオリ



真正面は立
体感に乏し
いです。



ほんの少し斜め向き
にして下から見た感
じにすると、立体感
が強まったどつきり
パワーが生まれます。

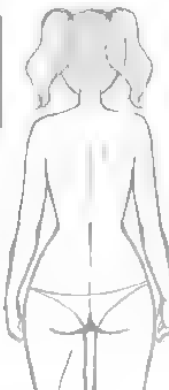


この側面が
決め手

この曲線が魅力を生みます。



真後ろ



ちょっと広角は、
箱を少し倒した
イメージで描き
ましょう。



見える股部分
はごくわずか
です。

股部分のはっきり
します。

● 下乳を魅力的に見せる

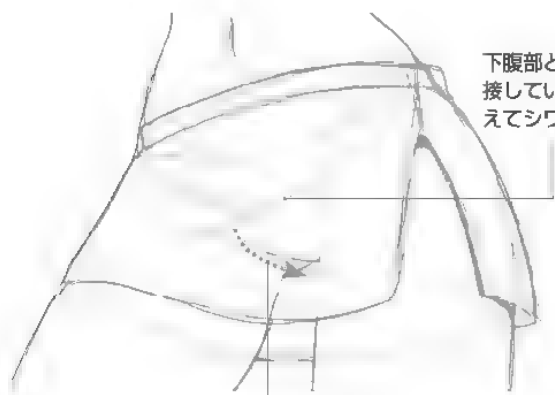


ほんの少し
広角アオリ



デッサン。胸、腰、スカートはだ
円をイメージして描きます。円柱
の「底面」のイメージです。

上着もスカートも体のラインに
ピッタリした感じで描きます。



下腹部とスカートが
接している面をとら
えてシワを入れます。

股のまわり込み。スカートから離れる部分



おっぱい上部
の線を活かし
ます。

● アオリでとらえるおっぱい表現



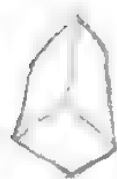
ほんの少し広角
アオリ



ハダカの状態



透視図

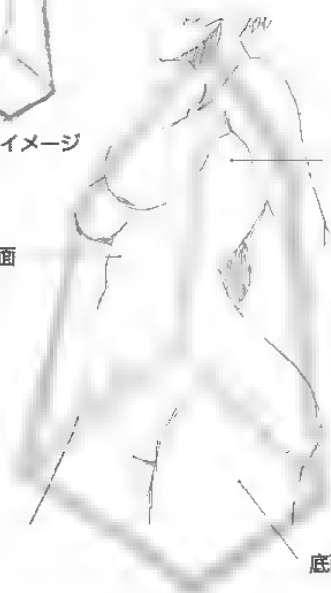


胴体のイメージ

前面

側面

底面



オーバーオールふう衣装の場合。
バストラインは完全に消えます。



透視図

● パンチラ表現



ちょっと広角
アオリ



おっぱいのボリューム感アピールやパンチラサービスは、アオリならではの効果です。



下着サービス



透視図

下乳アピールとショートパンツ
(見えそうで見えない効果)



透視図

おっぱいのボリュームと衣装で口が隠れ、表情がわからなくなりました。



表情を大事にした
い場合、顔を大き
めにします。



アオリでとらえるお尻表現

● 立っている場合



ちょっと広角
アオリ

後ろ姿をローアングルで描く
マイクロプラスパッツ



ハダカの場合



パンツだけ
はいた場合



● 横になっているポーズの場合

広角ふうになる構図です。後ろや下からの構図は、自然に遠近がつきます。



横になっているポーズを
お尻側から描く

もっと広角アオリ



お尻と頭のアタリを描きます。
お尻を大きくとりましょう。

脚を広げた場合

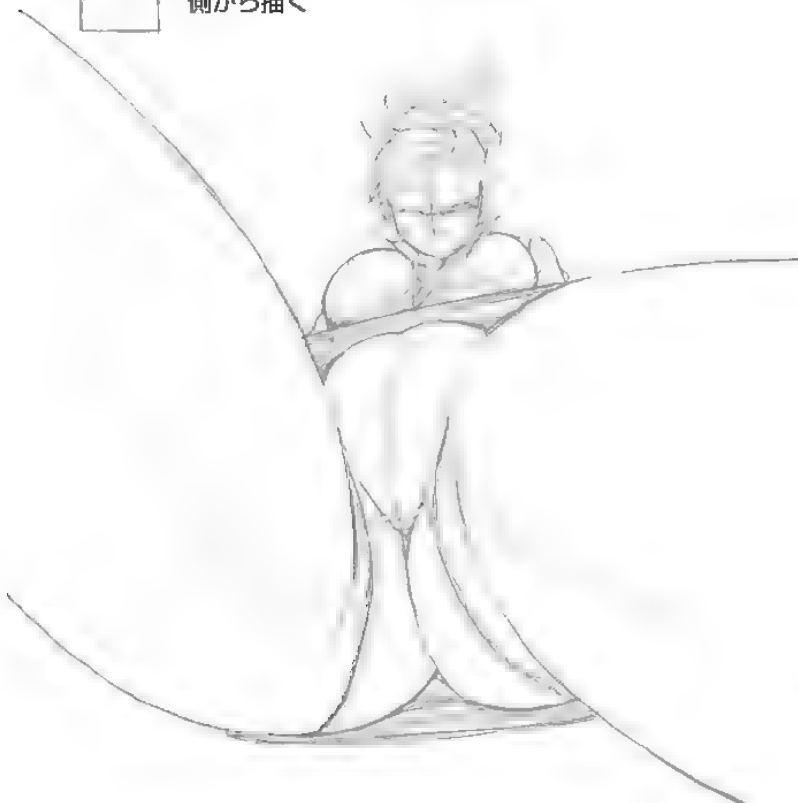


脚を閉じたときに
生かす丸み

股部分のパーツは、
カラダの下中央
を頂点にした三角
形状に描きます。



転んだシーンを脚もと
側から描く



手前に来るほど脚を
大きくして遠近感を
強調します。

センターの線でパン
ストを表現します。



フカンで色っぽく描こう

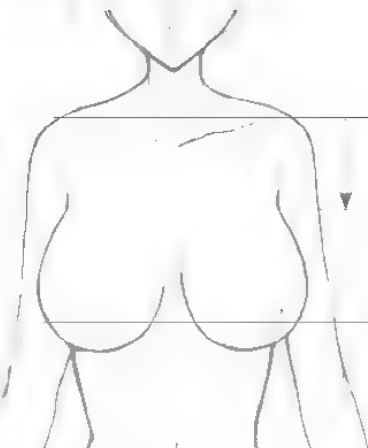
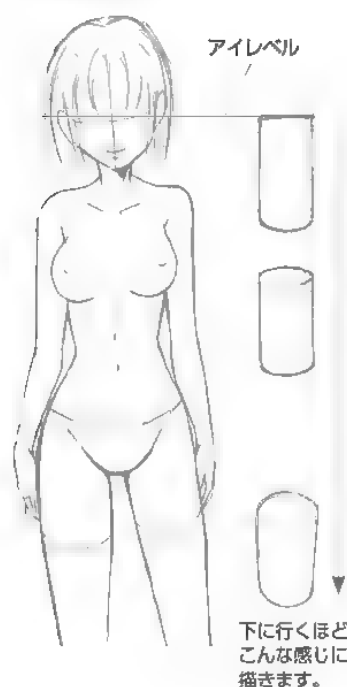
フカンの絵には、説明的に用いられるフカンと効果として描かれる「ダイナミックなフカン」があります。

自然体のフカン

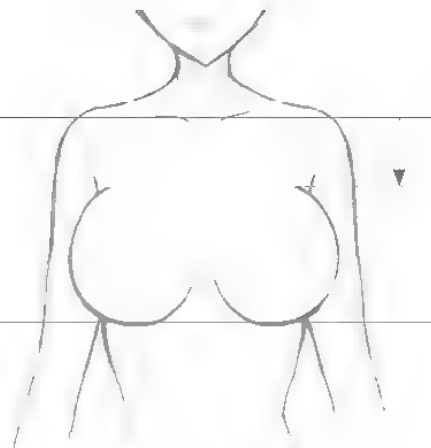
普通のショットでも、カメラより下になる部分はしばしばフカン的に描いて立体感を出します。

● 正面側

おっぱいまわりの作画

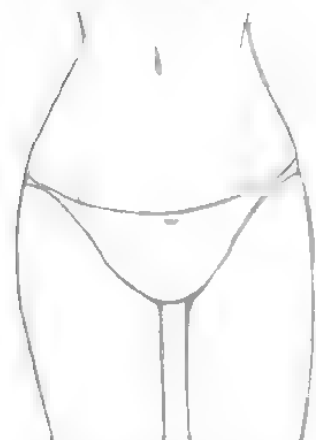


普通に見たまま描くと、おっぱいは見下ろした感じになるので、肩からずいぶん下になります。



おっぱいの位置をカッコ良く調整（デザイン）した場合、見えないブラジャーで形を補正しているイメージです。

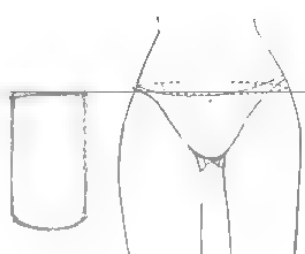
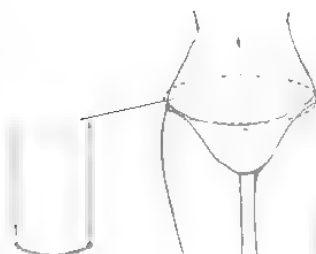
パンツまわりの作画



普通に立って見たときの下腹部。お尻の肉はほとんど見えません。



しゃがんで真正面から見た場合。お尻の肉が見えます。

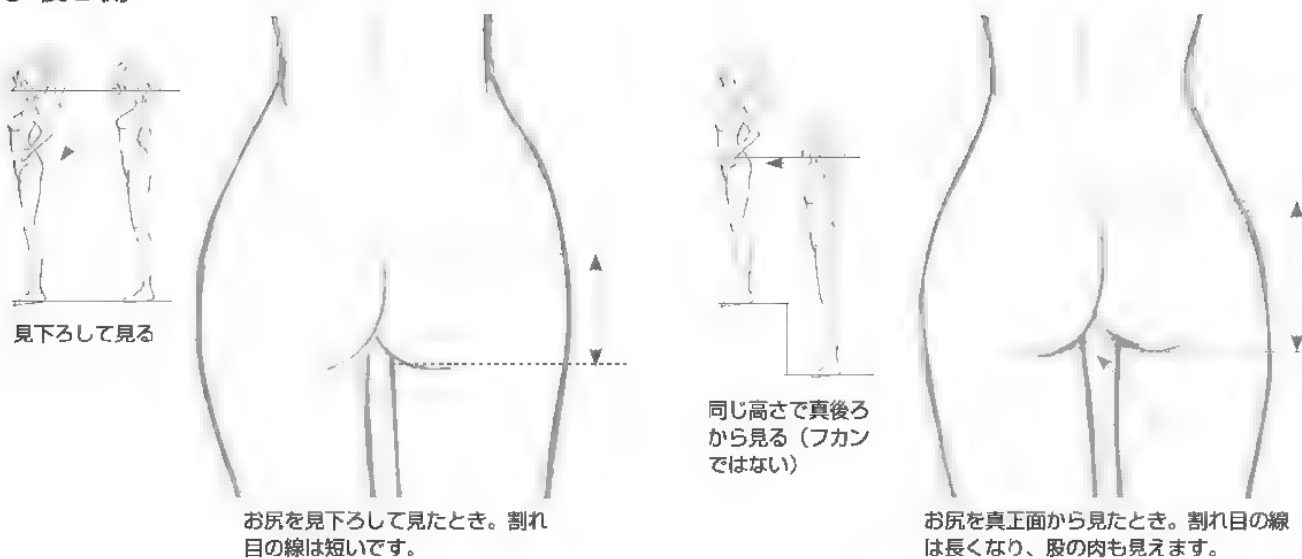


● 横



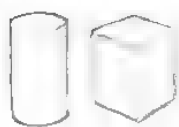
おっぱいとお尻はそれぞれ、少しずつ「上から見下ろした見え方」で描くと立体的。

● 後ろ側



説明ショットのフカン

シーン紹介など、「説明的に伝えたいショット」は標準タイプのフカンを用いることが多いです。



自宅のリビングカウンターでくつろぐ



参考全身ショット



デッサン



頭頂部

カラダの上面

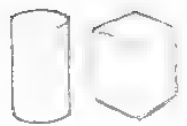
机の面（へり）

胴体を板状に描いて形をとらえながら作画します。



アタリ。全体のイメージを描きます。





標準タイプのフカン

● 腹ばいになってくつろぐ

ハダカの場合



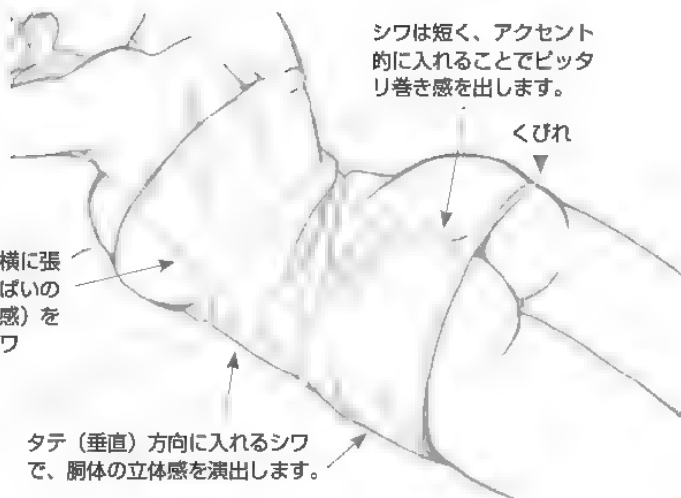
タオルを巻いた場合

シワは短く、アクセント的に入れることでピタリ巻き感を出します。

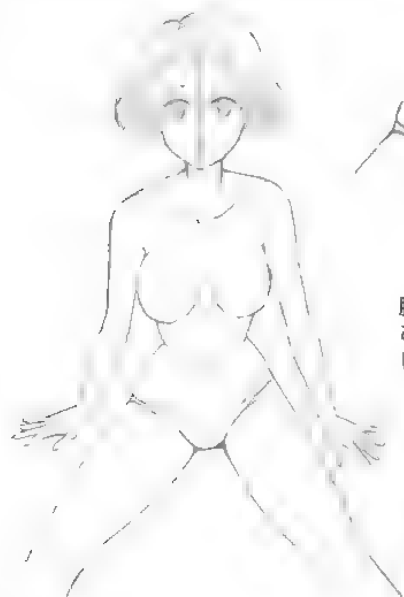
くびれ

はみ乳感（横に張り出すおっぱいのボリューム感）を演出するシワ

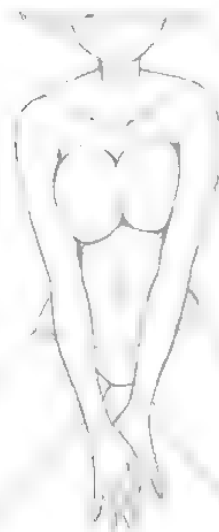
タテ（垂直）方向に入れるシワで、胴体の立体感を演出します。



● 床にべったり、脚を開いて座る



脚のつきぎわを黒くすることで立体感や座面の感じが出ます。



両手を前にした場合、胸寄せポーズになります。



脇やおっぱいの下側などを黒くカゲにすると、ボリューム感がアップします。



標準タイプのフカン

●肌脱ぎ+ローライズ
レギンス。ひとやすみ。



ラフイメージ

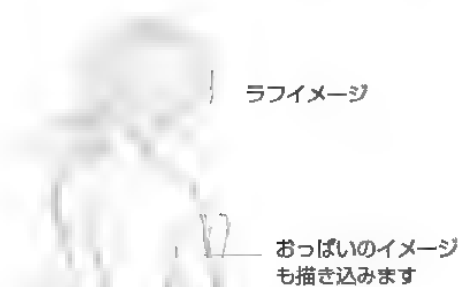
透視図



おっぱいは
そでで隠れ
ています。

レギンスは脚の肉
感も反映させまし
ょう。

ラフイメージ



おっぱいのイメージ
も描き込みます

●「暑い...！」



流れる汗の線は、
カラダの曲面を
意識した曲線が
効果的です。

箱状のアタリや関節
をとらえながら描き
ます。



ダイナミックなフカン



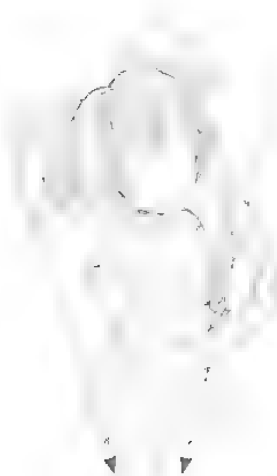
広角タイプのフカンを用います。

胸もととアビール

胸当てナシのセーラー + 腕組み
でおっぱい抱えるようにポーズ。



胸当て。取り外し可能です。



下に向かって小さくなるように描きます。

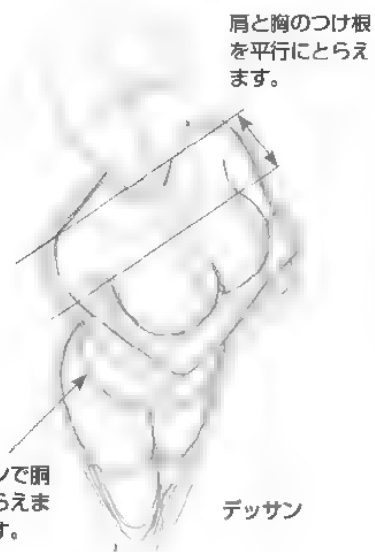


ハダカ+パンツ。太ももの立体感をとらえるため、ニーソックスも描いています。



透視図

パンツのラインで胴体の立体をとらえます。だ円状です。



肩と胸のつけ根を平行にとらえます。

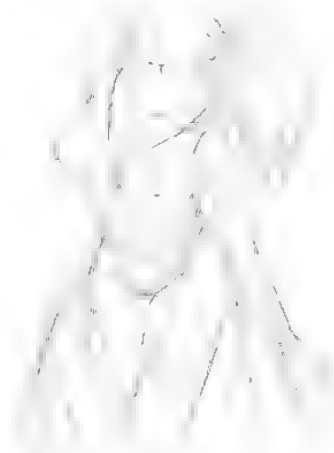
デッサン

胸もととアピール

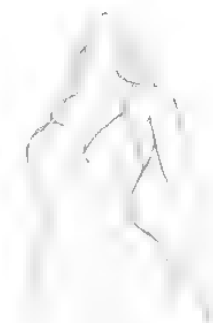
胸元のあいたドレス。おっぱいの自然なボリューム感とバストラインを見せます。



ハダカ+パンツ、ストッキング



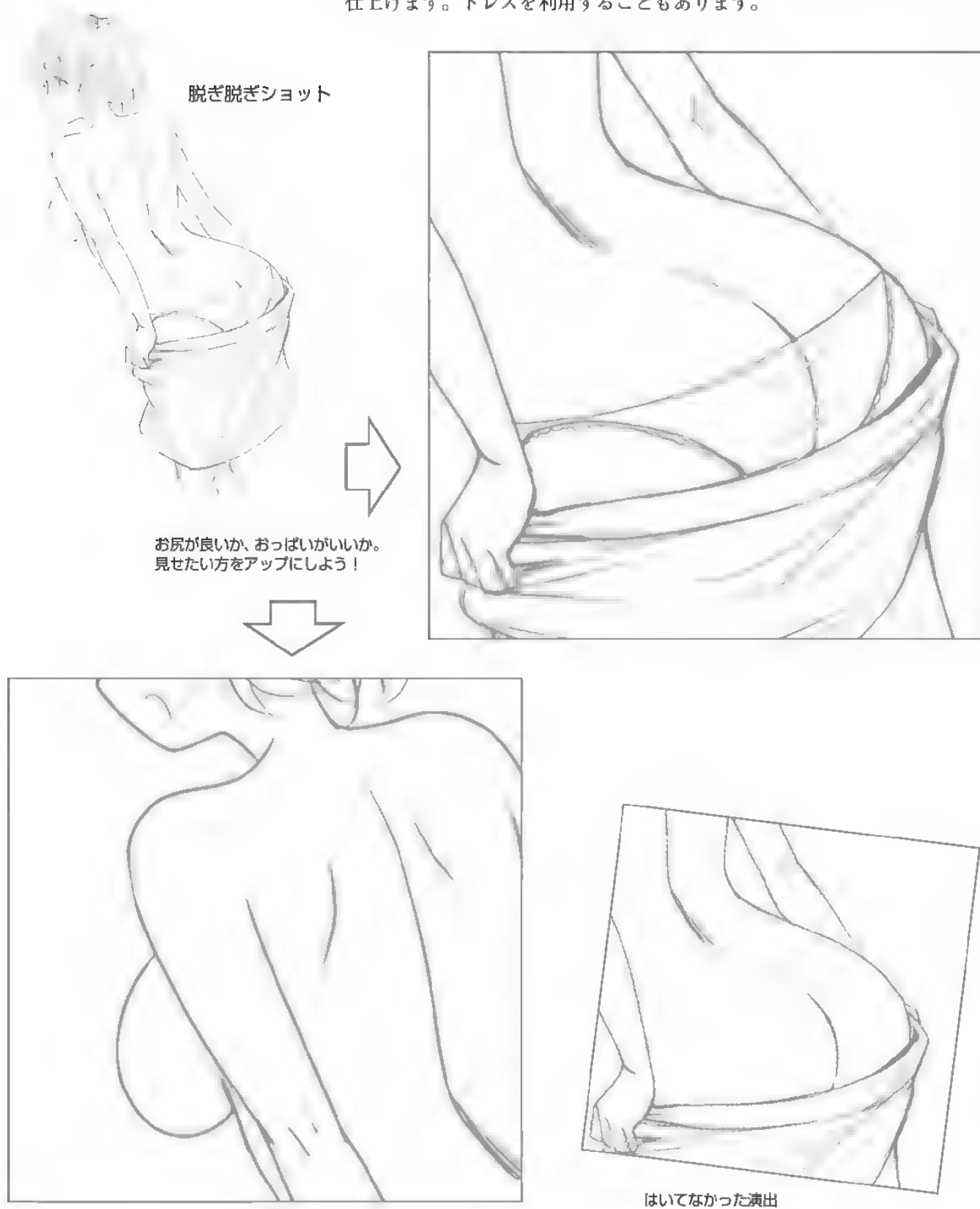
ドレスのラフ（透視図）



参考図。上を向いたポーズのアオリショット（軽い広角）。

見せたいものをクローズアップしよう

アニメやマンガで良く用いられる「アップ」ですが、カットやイラストでもインパクトのあるものになります。部分だけ描くと失敗しやすく、大づかみでもある程度全体のポージングを描いてから、必要な部分を拡大して仕上げます。トレスを利用することもあります。



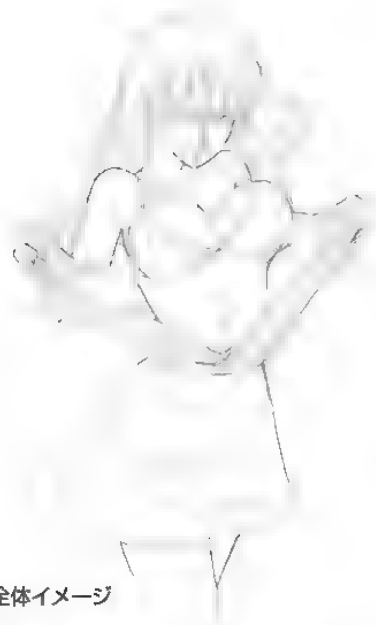
脱ぎ脱ぎショット

お尻が良いか、おっぱいがいいか。
見せたい方をアップにしよう！

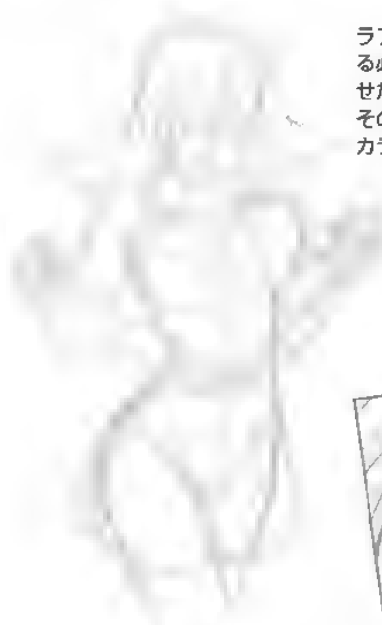
はいてなかった演出



肌脱ぎ 勢いのいい肌脱ぎショット。下着でなく、水着のブラでもドッキリさせます。



全体イメージ



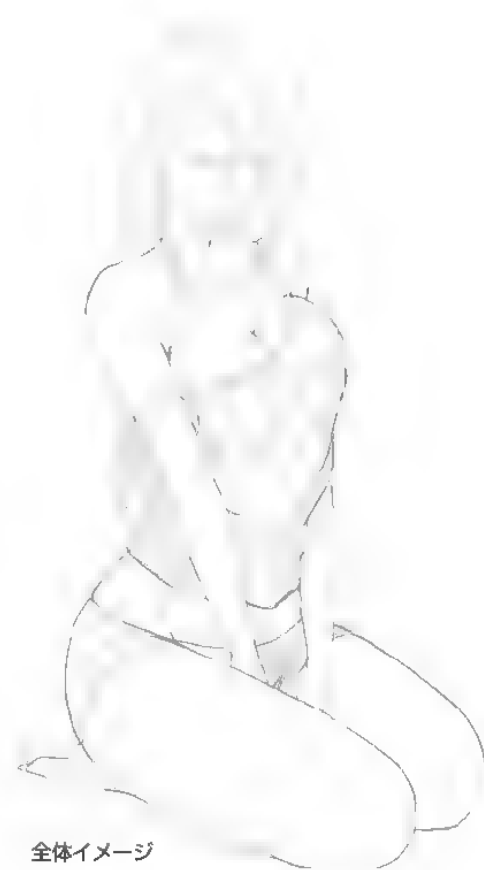
ラフデッサン。勢いを表現する必要があるので、胸を反らせた姿勢が重要になります。そのため、太ももぐらいまでカラダを描きます。



おそらく現実にはこうはならないだろうというブラと肉の状態ですが、おっぱいの躍動感と肌みせの魅力をアピールすることを優先。そもそも、実際にこんな脱ぎ方をすることはめったにないかもしれません。



サービスショット



全体イメージ

片側の肩ひもが落ちている

脱ぎそう、脱げそう……のドキドキ効果。おっぱい半分が布に覆われていることで、素肌の存在感が格段にアップします。



ハダカの場合

説明的に伝えたいショットや部分アップはフカンの絵になることが多いです。フカンの構図は、アオリよりもわかりやすいものになる特徴があります。



はいてない場合。「隠して生まれる色っぽさ」です。



パンチラ + 太ももアピール



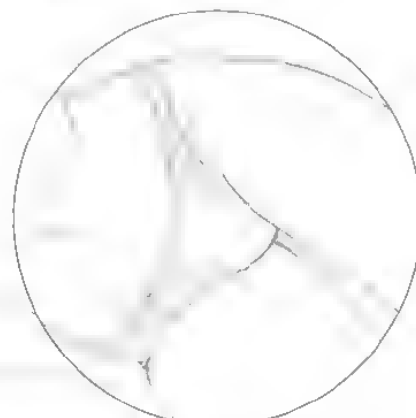
ブラチラ

ハダカの場合



ボロリ効果

全体イメージ + 服の透視表現



パンツはハイレグタイプ。



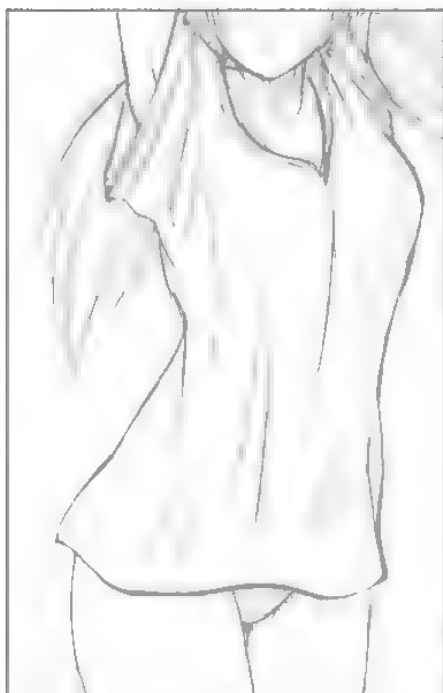
伸びをするポーズ



Tシャツのシースルー演出



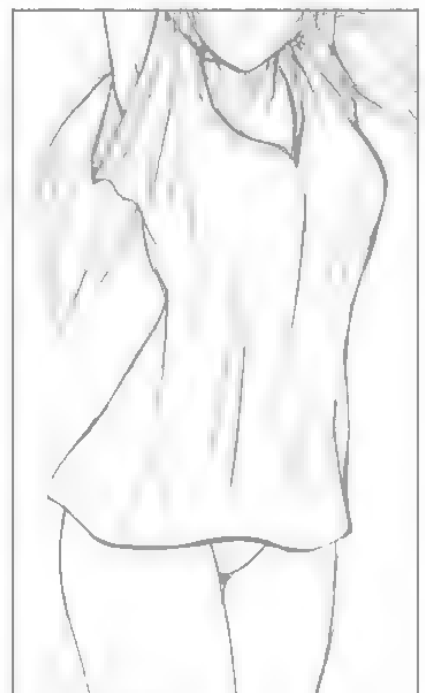
パンツのアップ



本来はパンチラ演出



ハダカの場合



パンツなしの場合

コラム 線について

太い線と細い線、太い部分と細い部分を持つ抑揚のある線など、線によって立体感や質感が表現できます。「線は一度引いたら終わり」ではなく、なぞって太くしたり一部を消したりして好みの肉感（立体感や質感）を描きましょう。



普通に色っぽい作画

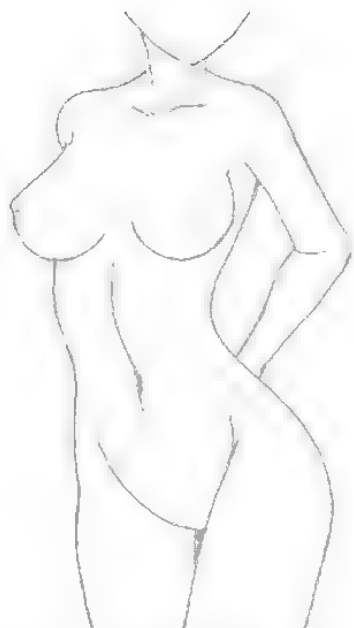
一般に、アウトライン（りんかく線）をくっきり太く描き、カラダの内側やカゲのタッチの線は細くして肉感を出します。



肉感と肌感に少しこだわった作画

肩のフチのタッチは、しっかりした骨格を反映するので、大人の女性を意識するときに使います。

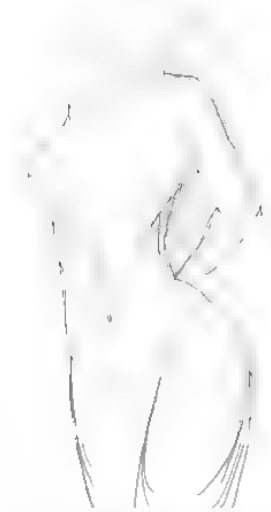
おっぱいが大きい場合、下のフチを黒くすると重さや大きさが強調されます。



ほとんどすべての線を同じ太さで描いたもの。カラーリングなどで利用しやすく、塗りながら線を消したり太さをコントロールします。



アタリの線。消せるように細く、薄い線が多いです。



ラフの線。重ねたり引き直したりしながら、形や立体を追いかけます。



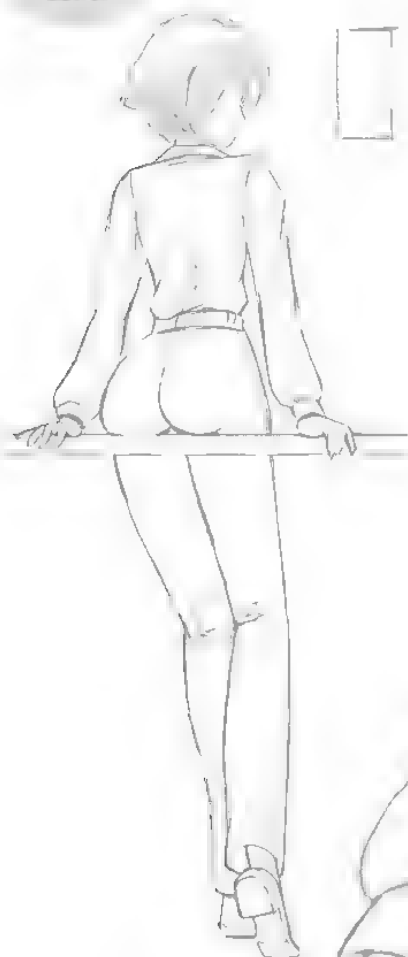
描き慣れてない場合。力一杯、線を引くことだけで精一杯だとこんな感じになりがちです。力を抜いて線を引いてみることから始めましょう。

その他のカメラワークを意識した作画

マンガパースで描く

ここでは「撮影だと難しいけど、絵なら描けるもの」(マンガパース)による作画を見てみましょう。色っぽいパーツを強調しつつキャラの表情も魅力的に描けます。

標準



通常アングル
標準タイプ。
もっとも当たり前に「わか
りやすい」画面になります。

広角

アオリの広角タイプは、画面に迫
力が出て、印象的な画面になりま
す。お尻やおなかなど、「見せたい
部分」を強調して伝えられる反面、
顔が小さくなる欠点があります。

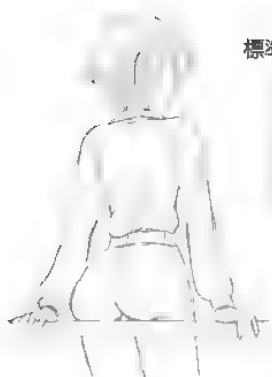


アオリの構図
広角タイプ



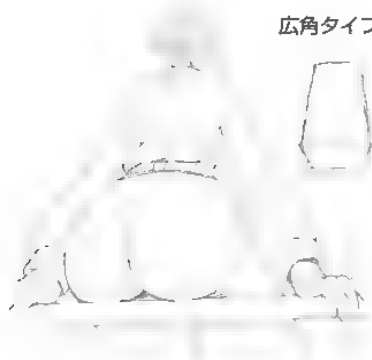
パンツの線が浮き出して
見える場合

標準タイプ



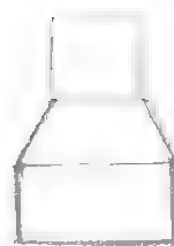
+ プラス

広角タイプ



マンガパース

標準と広角のいいとこ取りです。



アオリ、広角気味 + 顔もちょっぴりズームする。これを「マンガパース」といいます。



アオリでお尻のアップを狙うと顔が小さくなってしまいます。また普通にお尻をアップにすると、お尻しか写らなかったり。そこで、アオリふうに描きながら、顔を大きめに描いてしまうのがマンガパースです。

● ロング・広角イメージからマンガパースへ

広角タイプで描いて、「顔が小さくなりすぎたかな？」というときは、「あとで顔をちょっぴり大きく描き直す」 たったそれだけでマンガパースのできあがりです。



標準

ロングのイメージ。
通常アングル・標準タイプ



さらに手前に近づいて正面から撮ってみる。実際には顔が小さくなりますが、あえて大きく描きます。

広角



M字の脚が大きく見える広角タイプ。
反面、顔は小さくなります。



マンガパース



第3章

色っぽく感じる表情と パーツ描写



表情やパーツ描写を変えるだけで色っぽい！

● 顔（表情）

キャラの色っぽい雰囲気は、出そうと思って出すものです。くちびるもお尻もおっぱいも、形をくっきりさせたりカゲをつけるなどして、存在感を高めます。

顔・表情描写に変化をつけるポイント
・目もと（まつげ）、くちびる表現など。

普通



頬の赤みで、ちょっと照れたかわいい笑顔



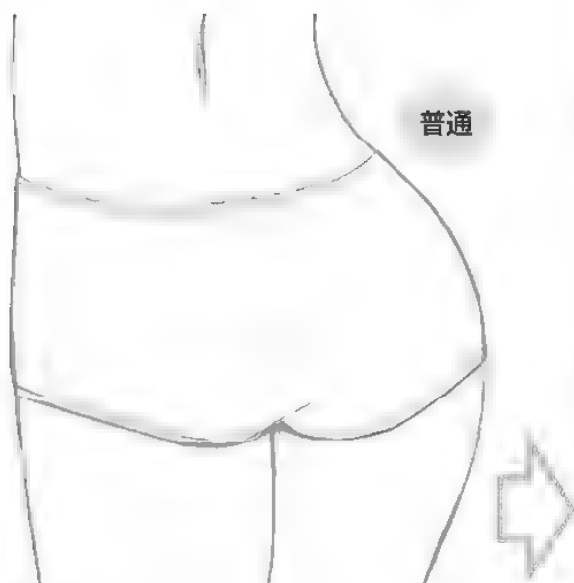
頭部のアタリはどちらも同じです。

色っぽい

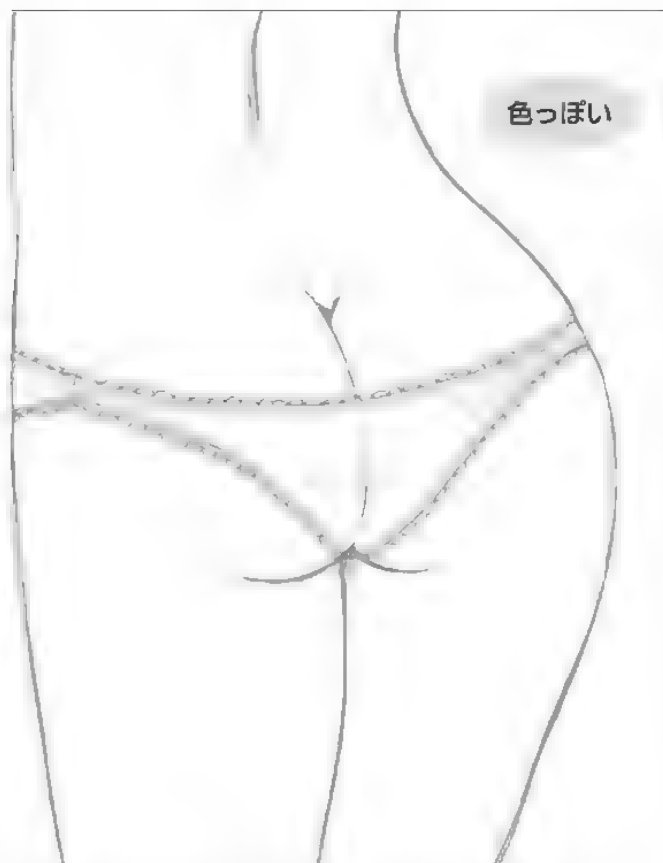


含みを持った笑顔。伏し目がちに少し目を開ける表現
+くちびるを少し強調。

● お尻



色気をおさえる作画。パンツの布幅を広くしてお尻の割れ目を隠します（お尻の線は描き込みません）。おむつタイプともいい、イチゴ柄や動物の顔などを描き込むと、もっとかわいい感じが演出されます。



色っぽさを出す作画。パンツの布幅を狭くし、布を通してお尻の線も見えるくらい薄い布を演出します。「透けて見える」の演出です。

● おっぱい



色気をおさえる作画。おっぱいは控えめサイズにして、シワでふくらんでいる感じを出します。ただ、Tシャツや体操服はこれだけでも十分色っぽい感じになります（さわやかな色っぽさ）。



色っぽさを出す作画。おっぱいのふくらみを大きくし、下乳のアウトラインも描きます。シワやカゲで肉感をアピールし、必要に応じて乳首のふくらみもカゲで表現します（体操服の場合は、マンガならではの表現です）。

ドキッとするような表情を描こう

うったえる、お誘い、無邪気、妖しげなど、さまざまな表情に色っぽさをプラス。多様な瞳の表現に注目しましょう。

● 瞳の表現



妖しげな微笑み。誘っているムード。



ちょっぴりおどけ。でも目は半分マジ。目の中の色を薄めにする事で、ちゃめっ気と「半分マジ」な感じを演出します。



憂い。カゲ表現なしの場合。
憂いの表現は、ストレートに思いを向けてこない代わりに、主人公の青年などがふと見かけてドキッとするなど、「いつもと違うキャラムード」を印象的に演出します。



● 頬の赤みに注目しよう



喜びの笑顔。ほおの赤みには「期待」や「ドキドキ」、ものすごい喜びなどの思いや状況が背景にあります。ワンカットの場合、見る人の想像をふくらませる効果もあります。瞳孔も虹彩も白くすることで、ふわっとした印象を高めます。



真正面からの笑顔。少し上向き気味で、うったえかける力や、喜び感が強まります。



悲しみ + 怒りの思いをうったえる。少しうつむき気味にして、上目遣い気味にすると「にらむ」「うったえる」感が高まります。瞳孔を強めの濃い色でくっきりさせることで、感情の強さが現れます。



やさしい思いで見つめる。うつむき気味で優しい表情は、見守る感が生まれますが、全く正反対の「求める」表情にも通じます。目線の先にあるものを、読者が何を想像するかによって変わります。



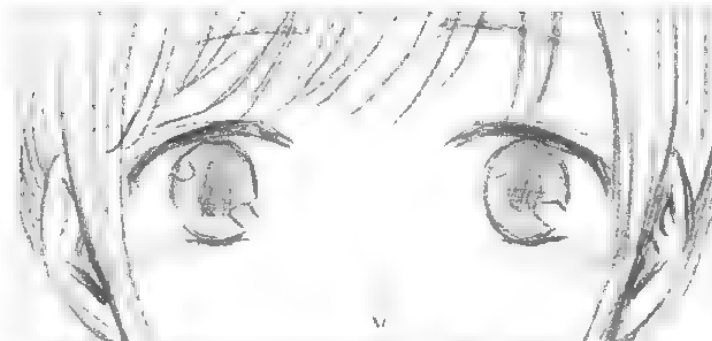
普通の表情を色っぽくしてみよう

目や瞳、口もとなど、顔のパーツ表現のいろいろです。普通の表現を「ドキッ」とグレードアップさせる描写を見てみましょう。

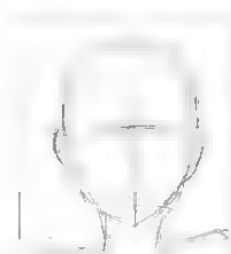
● ちょっとびっくり



普通にちょっと驚いた顔。
微妙にうろたえ。少しうれしい。



瞳はタテ長。丸くぱっちりさせると驚き感が出ます。



頭部のアタリは共通。
ほんの少し上向き気味です。

色っぽい

目をやや細めにし、下まぶたの線を描きます。瞳はまぶたに隠されて横長のだ円ふうに。ハッと驚いた後、戸惑いや喜びが表に出てきた、という表情になります。



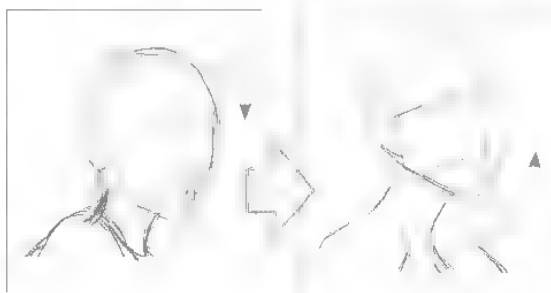
● ないしょ♡



普通



ぱっちりした瞳。素直な感じです。くちびるも強調しません。



少し首を伸ばして上向き気味にします。また、肩も少し前に出すことで色っぽい感じが出ます。

色っぽい

目を少し細めてまつげを濃くします。瞳孔もくっきりめに描いて、目線を強めます。口も小さく開けて、くちびるの表現を加えます。



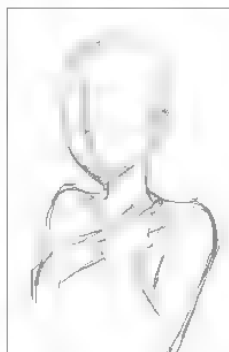
● ああ、うれしい…



普通



つむった目の表現。
目もととぎわに少し毛
先の表現をくわえる
だけで、かわいい感
じが出ます。



アタリは共通。胸もと
に手をあてるしぐさは、
エレガントなムードに
なります。



色っぽい

まつげを房表現にしてつむ
った目を強調し、くちびる
表現を加えます。



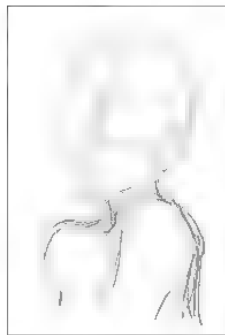
● どうしたの？



普通



誘う表情です。瞳全体を塗ることで、「いつもと違うムード」「ちょっぴり妖しい」雰囲気が生みられますが、微妙にかわいいムードも残ります。



アタリは共通です。肩の演技（少し肩を上げる）+首をかしげるしぐさで「かわいい感じ」や「おねだり感」が生まれます。



「色っぽい」バージョン。
カゲ表現なしの場合

色っぽい

目を細め、瞳孔の色を描き込むことでかわいらしさが消えて、妖しいムードが強く出ます。



表情の作画を通してパーツを学ぼう

目と口の表現

点と線だけでも描けてしまうのがキャラの表情です。色っぽい顔や表情を演出するときに重要な、目（まつげ）と口（くちびる）の基本的な性質と表現を見てみましょう。

● すっぴん（化粧をしない顔）とフルメイク（化粧濃いめ）表現を比べてみよう



すっぴん（化粧なし）。目も口も眉毛も、ほとんど「同じ太さの1本の線」で描いています。



お化粧濃いめ。目もと（まつげ、まゆげ）、くちびるを強調します。まゆげもタッチで描きます。

デッサンの手順



パーツの形を取っただけです。



この段階で、上下のまぶたを太くしてまつげの房を表現し、くちびるを描きます。

● 目をつむって口を開ける



これだけだと、ごく普通になります。

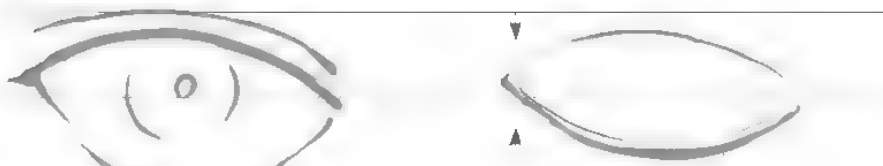


まつげを濃くし、口にくちびると舌を描き込んでみたもの。

目もと

- まぶたの動き 目を伏せるときは上下のまぶたが動きますが、マンガ表現ではアレンジ（デフォルメ）が必要です。

上まぶたの位置



下まぶたの位置

下まぶたの位置よりも上になります。

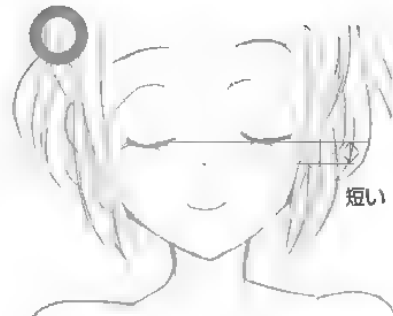
目をつむった作画表現



目と鼻の距離



実際の目の動き通り、下まぶたよりも上のほうにつむった目の線を描いた場合。目（まぶた）と鼻の距離が広がり、目も小さく見え、髪の毛がないと別人に見えます。



目を開いたときの下まぶたの位置に、つむった目の線を描いた場合。このほうが、もとのキャラっぽく見えます。

横から見た場合

上まぶたの位置

中央

下まぶたの位置

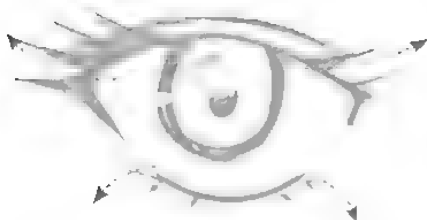
目を開いているとき

目を閉じはじめる

リアルふうに目をつむった表現。目が小さく見えます。

下まぶたに合わせて目を閉じたマンガ的表現。

● まつげ表現



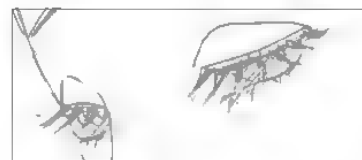
まつげは外側に向かって描きます。



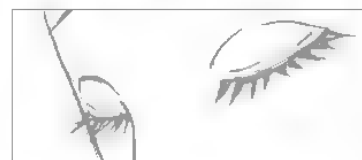
目を閉じた場合



目を開いているとき



半分閉じる（半眼）



目を閉じる

くちびる

● 斜め向き



下くちびるを強調するタイプ



上下のくちびるの形を描くタイプ



下くちびると上くちびる中央のくぼみを描くタイプ



口をすぼめ気味に開いた場合。上くちびるの形を強調しなくても、線でくちびるの形を想像させるものになります。



● 正面 色っぽく閉じた口



シンプルな線で描いたもの



両端（口角）と中央にアクセントをつけたもの

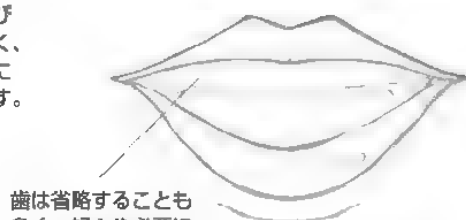
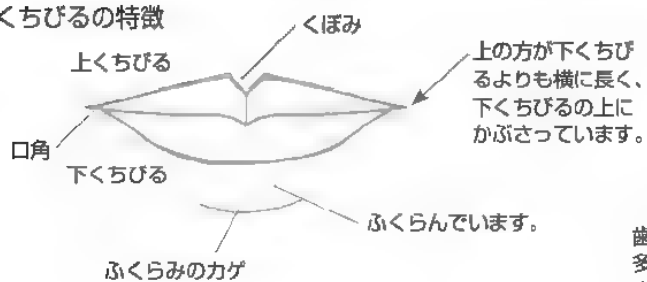


下くちびると上くちびる中央のくぼみを描くタイプ



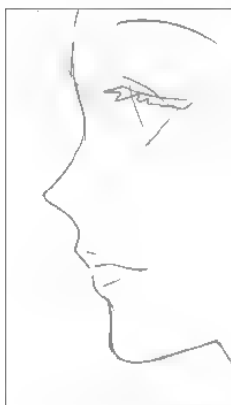
シンプルに口をむすんだタイプ

くちびるの特徴



曲線で描くとなまめかしさが出ます。

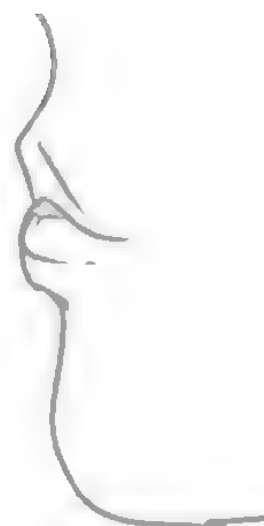
● 横



リアルタイプの横顔



少しとがらせた口



口を開けた場合



横顔の口もとのバリエーション



アウトラインの内側に口を描くタイプ



口もとのみリアルふうを描くタイプ

● 表情と口もとの表現

口の形で、いろんな表情が生まれます。口の中やくちびる表現も多彩です。



にっこり笑顔



口の中を省略するタイプ



むっつり不満顔



いわゆる「への字」



泣く顔

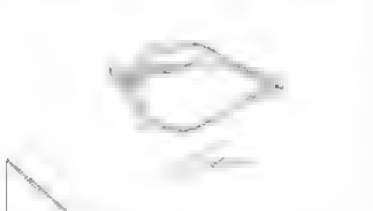


ゆがんだ長四角

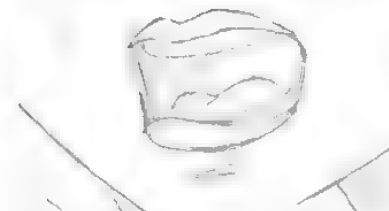
くちびるや口の中を描いた場合



舌でリアルな存在感が生まれます。



下くちびるを強調して口をとがらせたイメージに作画。



くちびるを描き込むと、ゆがんだ感じが強調されます。

舌と口の中

舌の形や大きさで、かわいい感じや色っぽい感じを演出します。小さめにするとかわいい感じになります。

● ぺろっと舌を出す



かわいくアピールする舌出し



三角形状に表現すると、かわいい感じになります。

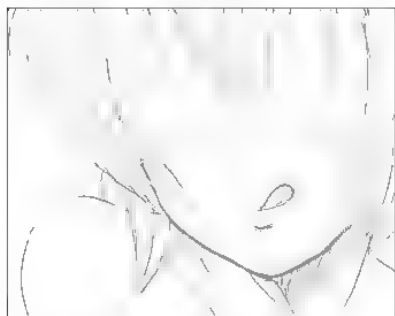


なんとなく色っぽい舌出し



舌はだ円状のアウトラインにします。

舌のりんかくを丸くするタイプ



「おいしい表現」によく使う舌出し



あかんベニューアンスの舌出し



おどけて舌を出す…など。口の中を濃くして下くちびるもていねいに描くと、少しなまめかしい感じになります。

● なめる舌

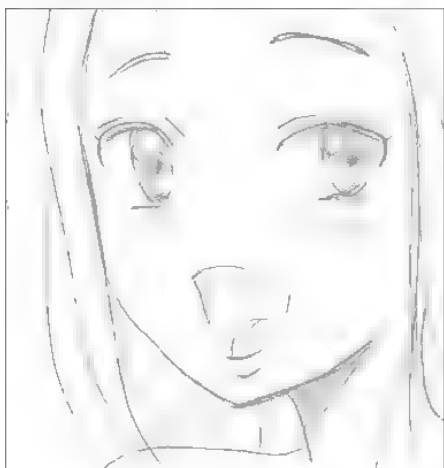


かわいい表現



一生懸命なめる舌。平たい感じにします。

● 口を開けたときの舌

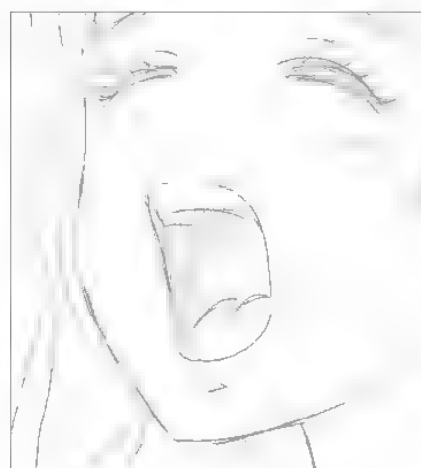


元気なキャライメージの舌



舌の表現を省略する場合。丸いイメージ

ちょっとしたことですが、口の中を濃くするだけでインパクトが強くなります。

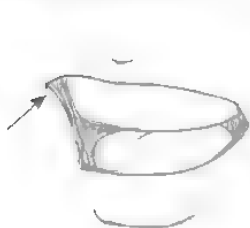


大あくび（下の歯は省略しています）

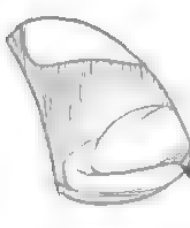


不満そうに叫ぶ口

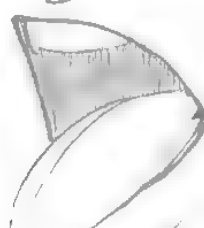
● 意味ありげな口と舌の表現



口角ざわを黒く強調すると、口の動き（口を開きかけた感じ）が出ます。



舌の裏側のカゲを入れると、舌の動きが表現されます。



舌の立体感を出すタッチ表現

下くちびるが舌に押されている表現を受けて、下くちびるのカゲをくっきり入れています。

グッとくるバスト表現をマスターしよう

バスト描写の基本

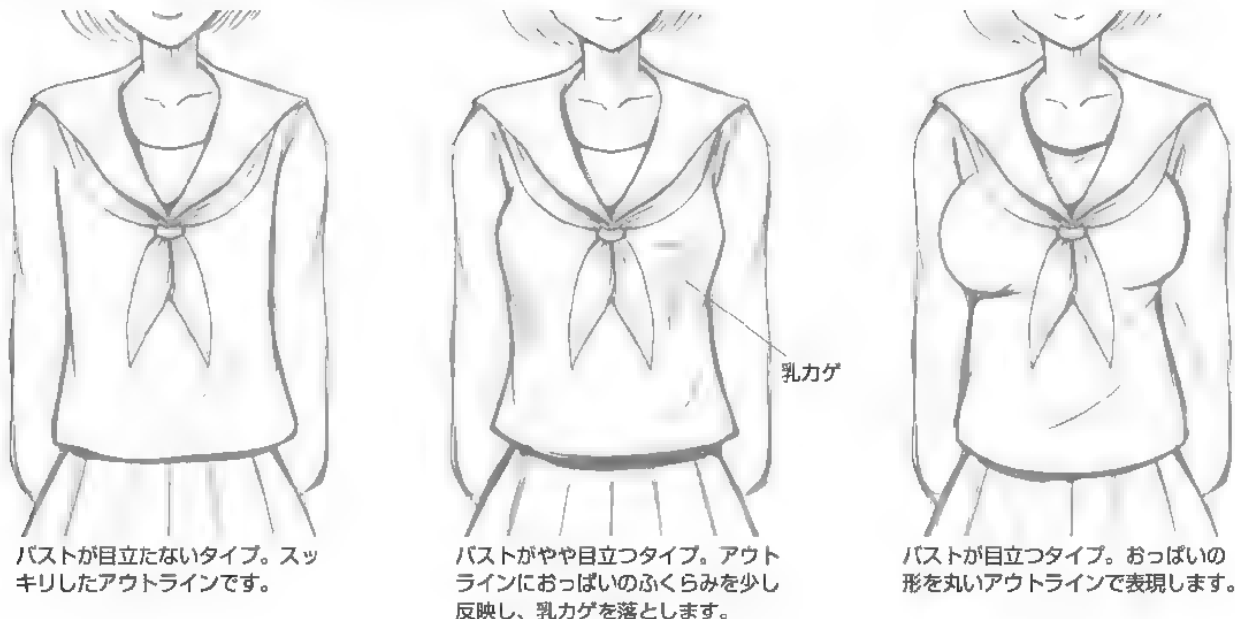
キャラのスタイルを反映するので、ボディライン（バストサイズ）の設定からはじめます。服のサイズは深く考えず、体の線を隠すか見せるかを決めて描きましょう。

着こなし・バスト表現のいろいろ

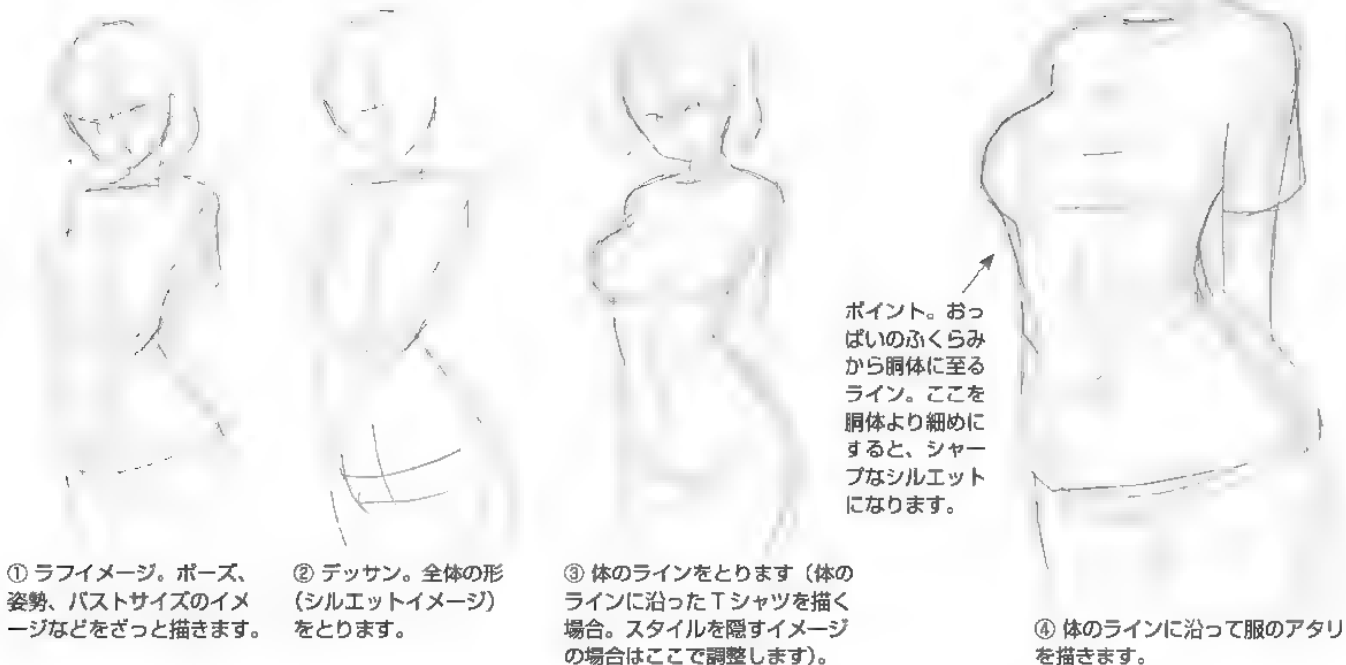
● Tシャツ 同一人物（同じスタイル）で着こなしが違う場合



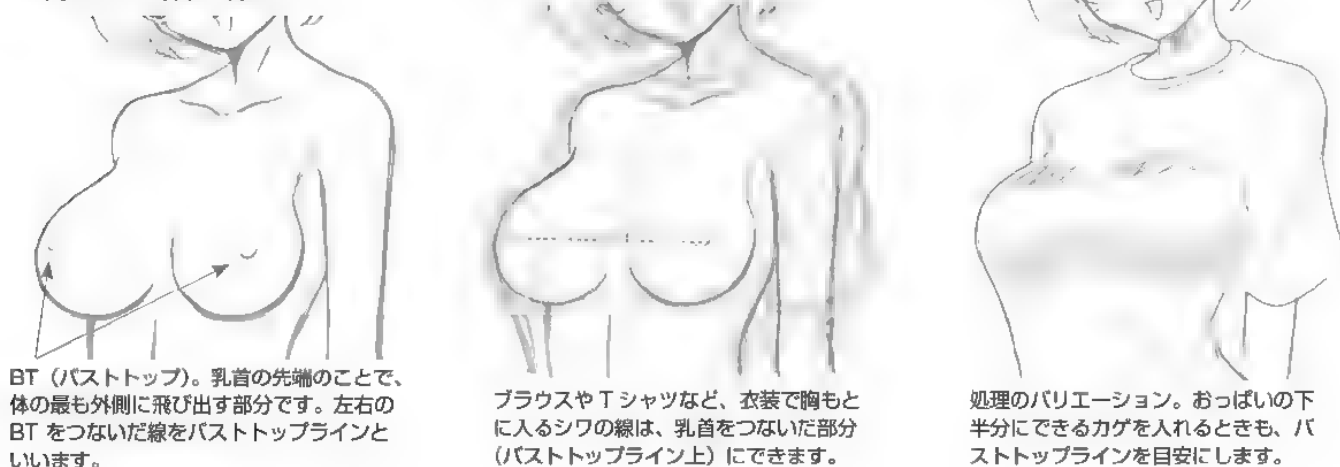
● セーラー服 別人で、スタイル自体が違う場合



● アタリからシャツに包まれたバストを描く手順



● 胸もとに描く線のシワ



チラ見えバストを描く

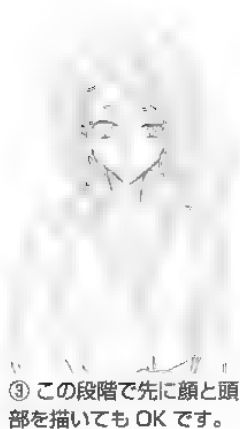
胸の谷間をアピールするシャツの着こなしです。見え方のイメージを決めて描きましょう。

● 正面向きでアピール



① 全体イメージのラフを描きます。バストショットを描く場合でも、腰の下まで描いてバランスをとります。

② ブラウスの「チラ見えバスト」をテーマに服のイメージをラフに描きます。



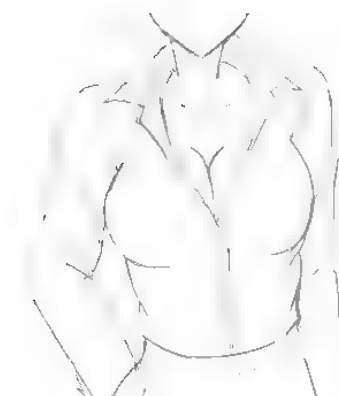
③ この段階で先に顔と頭部を描いても OK です。



④ えりと胸あき部分を描きます。



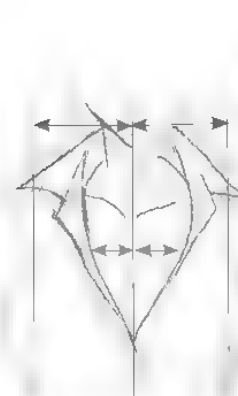
⑤ 寄せたおっぱいを描き込んで、そでやほかの部分のアウトラインを描きます。



⑥ ボタンや大きなシワなどを描き込みます。



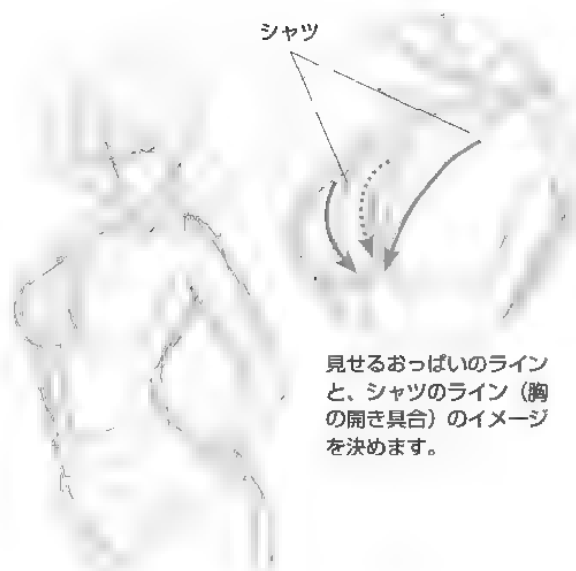
⑦ 胸まわりのシワやえりまわりなどにタッチを入れて完成させます。



胸もとのあきは中央をとらえて左右均等になるように描きましょう。

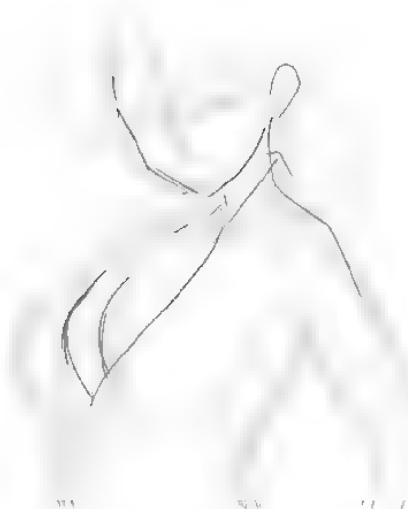


● 斜め向きでアピール



見せるおっぱいのラインと、シャツのライン（胸の開き具合）のイメージを決めます。

① 全体のイメージを描きます。



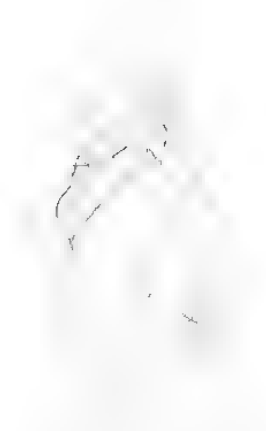
② 中央のおっぱいの線とシャツのラインを描きます。



③ えりと胸回りを描きます。



④ 全体のアウトラインを入れます。



⑤ 表情や髪の毛など、頭部を描き込むとキャライメージがはっきりします。



⑥ 余計な線を消したり、細かいシワなどを描き込みます。



⑦ えりのカゲなど、タッチや黒を入れて仕上げます。

ボリューム感を演出する

線やタッチでシワやカゲを描き込みます。



ハダカの状態

おっぱいを少し
寄せて胸の谷間
をつくります。

アンダーバスト
をとらえます。



胸もとのシワは、ボールにできるカゲを
イメージして描き込みます。



おっぱい上部に短いタッチでカゲを描き
込むタイプ



胴体前面にも長い
シワを入れ、布の
たわみ感を演出。

おもに横方向のシワを描き込むタイプ



胸の谷間部
分にできる
シワ

タテ方向のシワを主体に入れて、胸のふくらみを
強調するタイプ

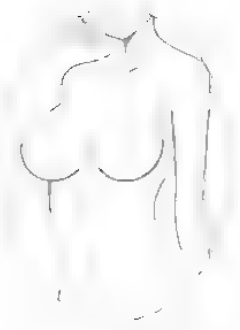


おっぱいの下に布を巻き込んでいるタイプ

● サマーセーター
線で胸もと + 胴体の曲面
を演出します。



参考透視図。バストライン
そのままだがアウトラインに
反映されています。



このページの胴体は
全部共通です。

演出カゲ。実際
にはシワはでき
ません。

● ブラウス

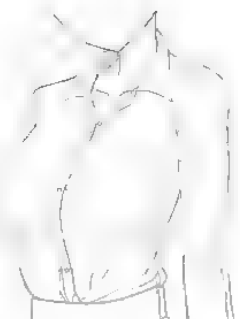


中央の合わせの線で胸のふくらみを表現します。細か
い服のシワ + おっぱい上部の演出カゲで、胸のふくら
みを演出します。

● タンクトップ



バストトップラ
インを目安に、
カゲのタッチを
入れます。



透視図。どちらもバストラインはひとまわりハダカ
よりも小さく描かれていますが、コントラスト効果
でボリューム感は損なわれません。

ノーブラ演出

乳首が布に浮き出した表現は「突起のカゲ」を意識して描きます。

- ブラウス 鋭角的にとがったものと、おっぱいの丸さを強調するものと、シルエットに2つのタイプあります。

とんがりタイプ



布を押し上げる乳首表現。乳首を目安にしてシワの線を描きます。

乳首サイズを大きめに表現。乳首の形を大きめのマルで描きます。

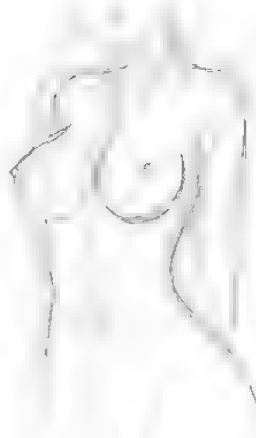
丸いタイプ



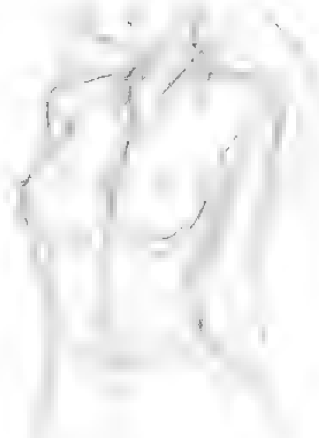
乳首サイズを小さめに表現。小さな丸の下半分を描くことで「浮き出した」感じが現れ、ドキッと効果が生まれます。



とんがりタイプ透視図

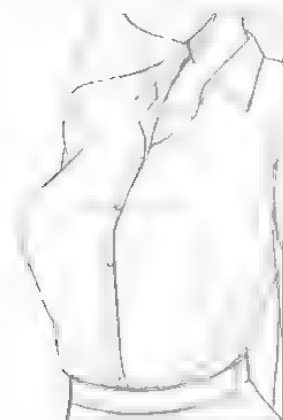


アタリ〜ハダカデッサン

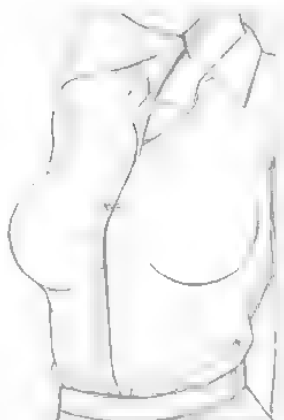


服の描き込み

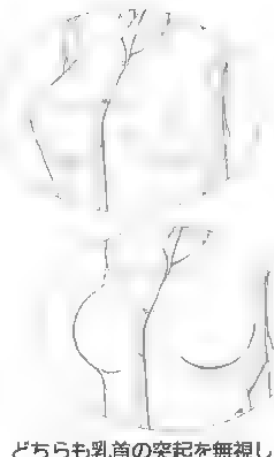
乳首を表現しない場合



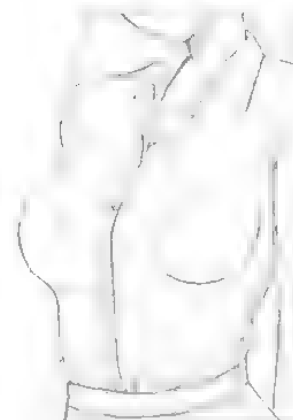
とんがりタイプ



丸いタイプ



どちらも乳首の突起を無視してシルエットを作ります。

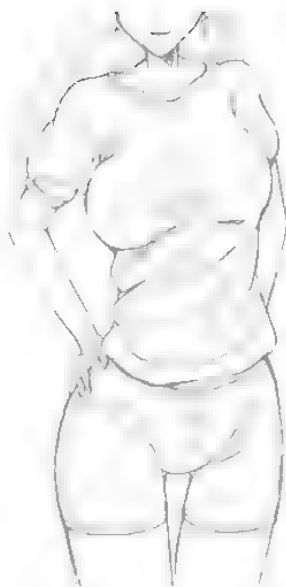


丸いタイプ・ブラ透け表現

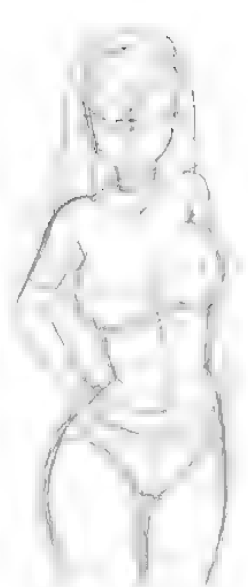
● Tシャツ



丸い形を描くタイプ



ニーショットイメージ。乳首は小さな点ですが存在感があります。



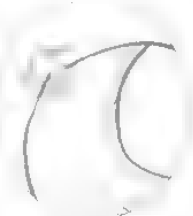
デッサン

● タンクトップ



乳首の形と乳輪が透けている演出

乳首の突起をアウトラインに描く場合。半円状タイプです。



乳首の突起を山状に描くタイプ



乳首を表現しない場合

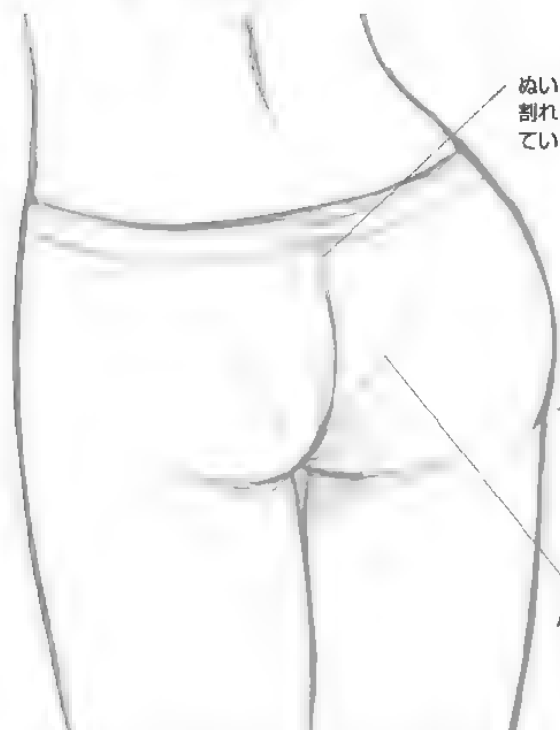


グッとくるお尻表現をマスターしよう

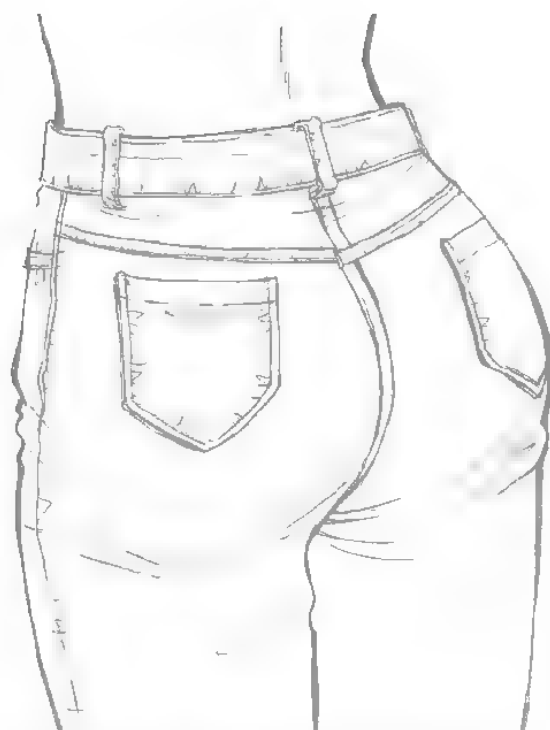
お尻の魅力は形とボリューム感です。パンツ類は形の表現、スカート類はボリューム感表現でアピールします。

お尻描写の基本

● パンツ類…お尻の形をアピール



レギンス 体にフィットしているので、お尻や脚のラインはハダカとほぼ同じラインで描きます。

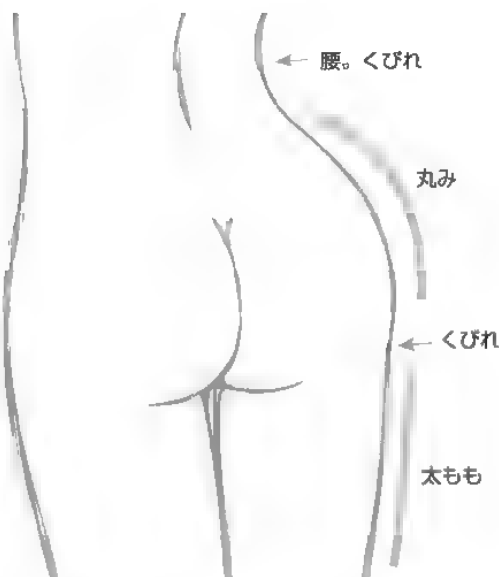


ジーンズ 布地は厚めですが、お尻の形にそったピッタリのものも多く、ハダカのお尻のシルエットを大切に描きます。

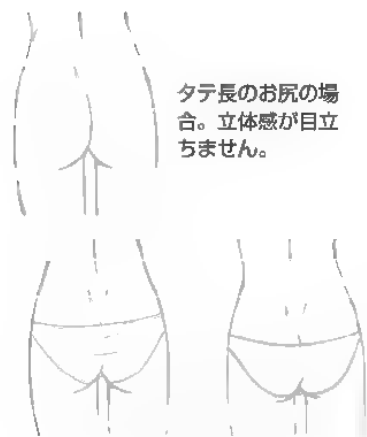
お尻の作画のポイント



頭部や胴体とのバランスをとりながら描きます。太ももまで描きましょう。

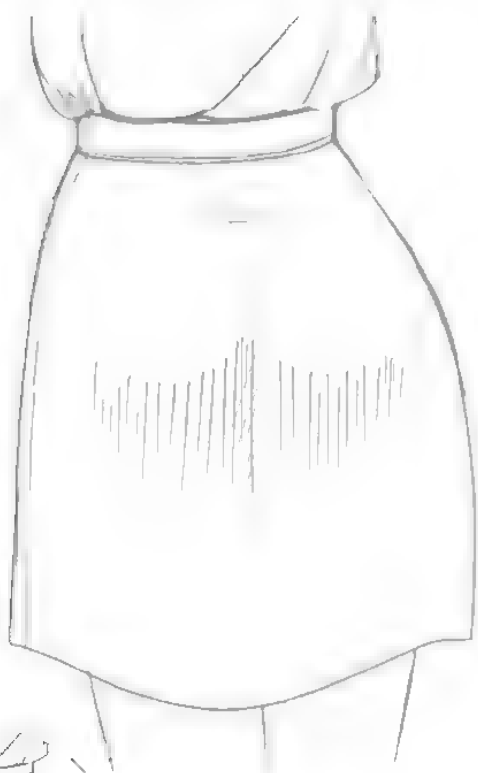


お尻は丸く描きましょう。また、腰のくびれからお尻まできれいな曲線になるように心がけます。

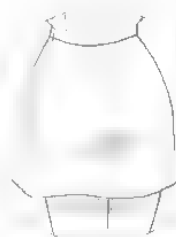
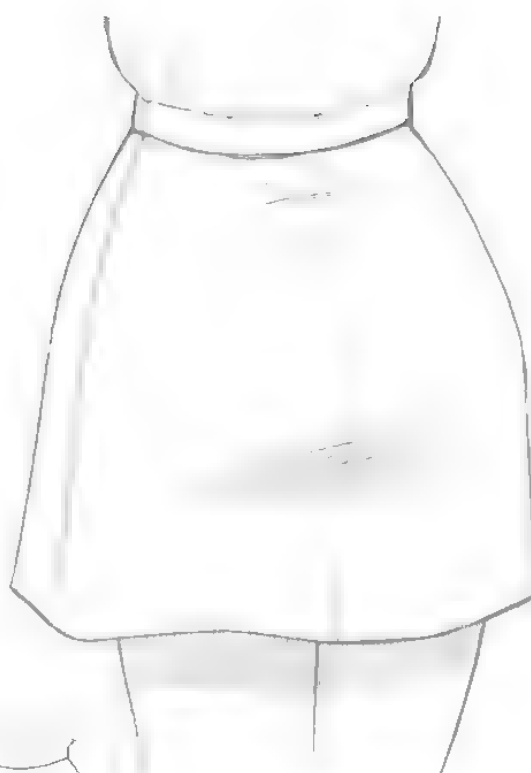


パンツの曲線で立体感を出しましょう。

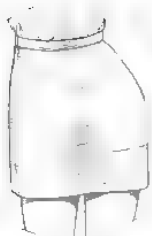
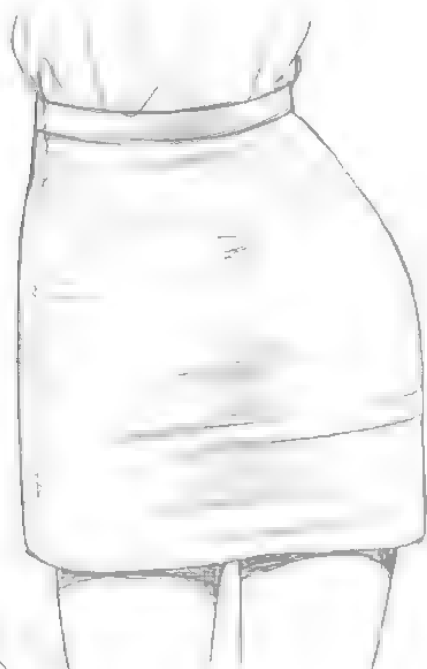
● スカート類…お尻のボリューム感をアピール



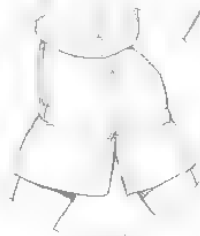
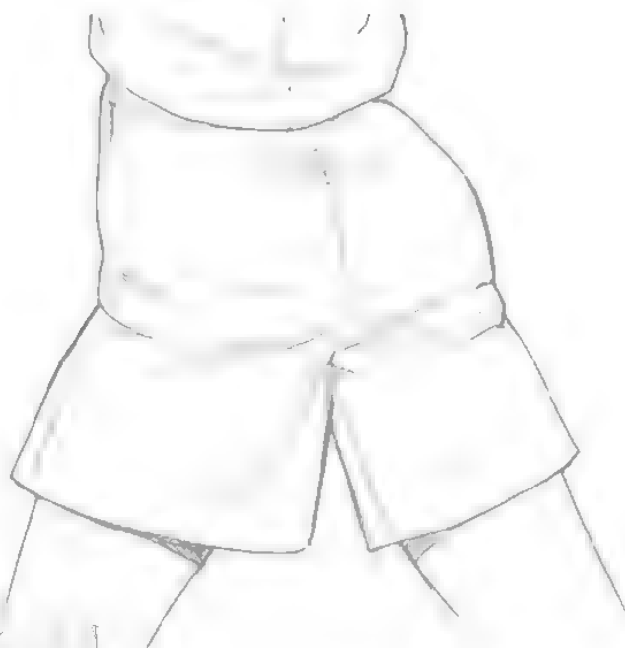
お尻の形を反映するカゲを入れます。お尻の下半分にできるカゲをタテ方向のタッチ線で表現します。



お尻の下側にタッチでカゲを入れます。お尻の張り出し感を演出します。



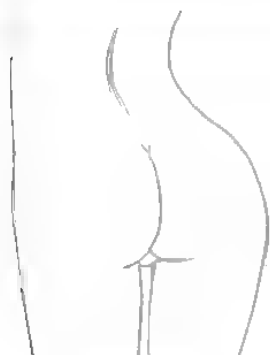
タイトスカート。お尻の中央(割れ目)から両側へ、ふくらみを意識してタッチを入れます。



キュロットスカート。お尻の上面部にタッチを入れ、脚のつけ根まわりにシワを入れます。

しまパンのお尻を描く

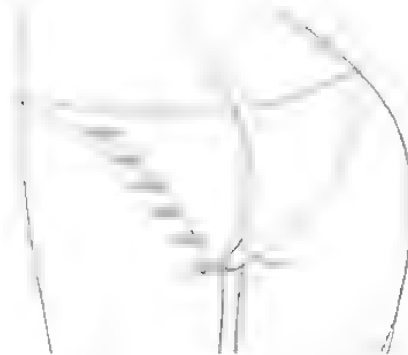
しまの数や色はさまざまです。好みの線幅で描きましょう。



① お尻を描きます。



② お尻を描き、好みの布幅でパンツを描きます。

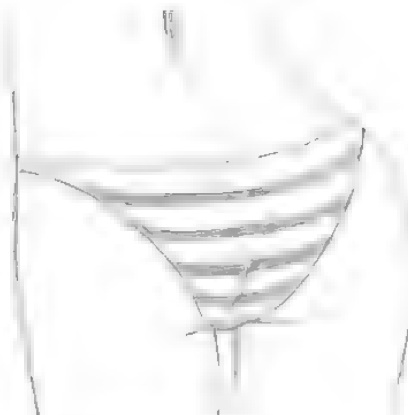


③ おおよその線幅を取ります。なるべく均等・平行になるように描きます。

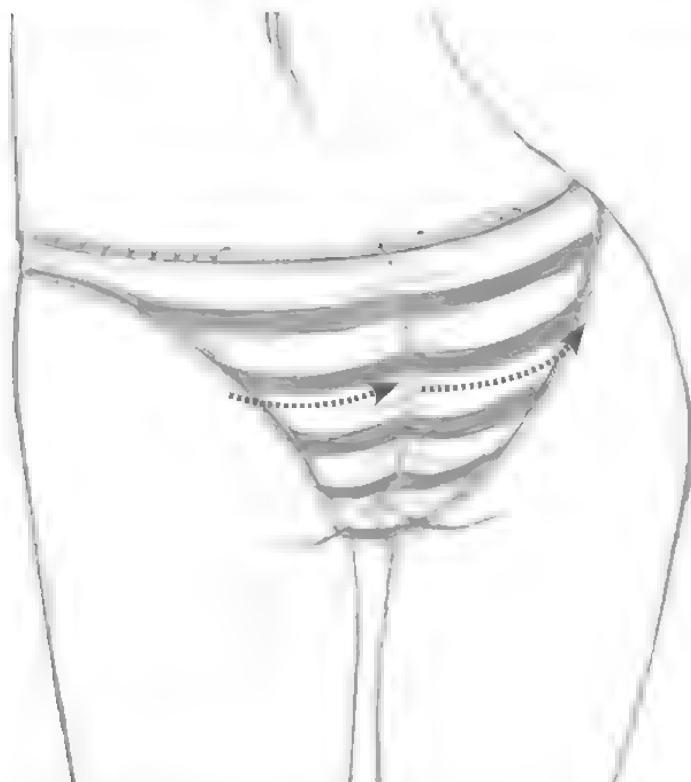


④ お尻全体にかかるようにしまを描きます。

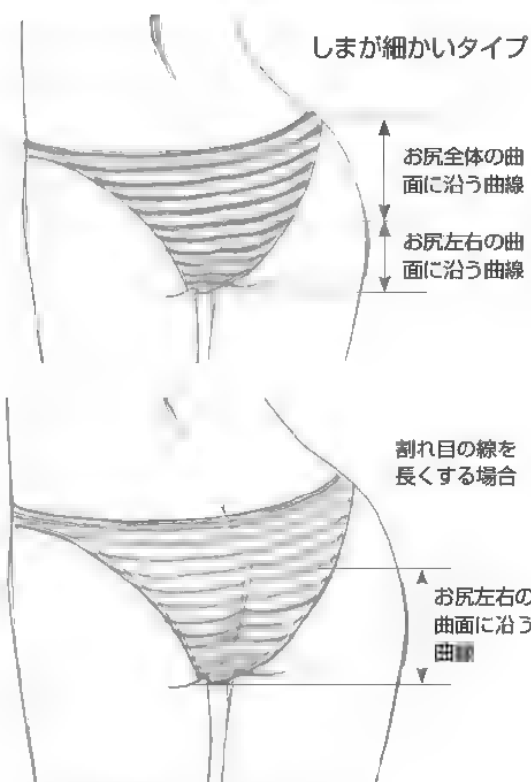
ウエストの曲線を目安にします。ほぼ平行に描きます。



⑤ お尻の線を消して完成です。



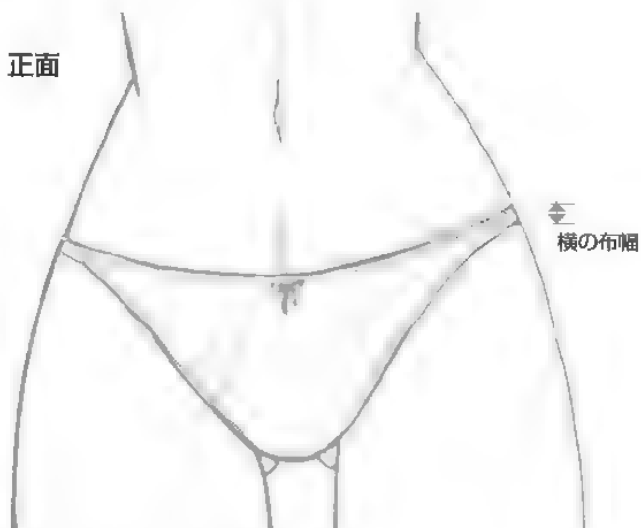
お尻の割れ目に切り替え線（継ぎ目の線）がデザインされたものの場合。左右のふくらみを意識してW字状に描きます。



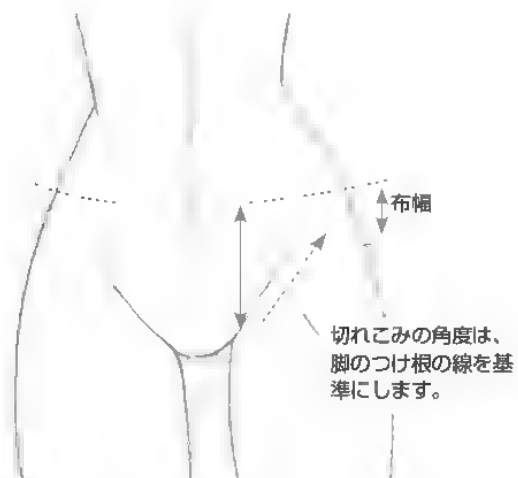
割れ目の線をどこまで描くかによって、しまの曲線の入れ方を変えましょう。

コラム パンツの作画ワンポイント

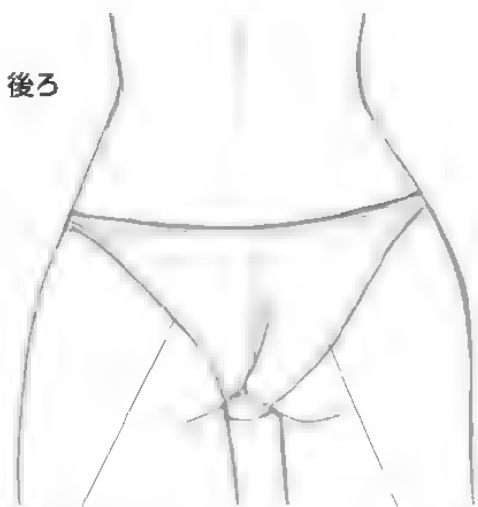
正面



最初に正面のイメージを設定します。



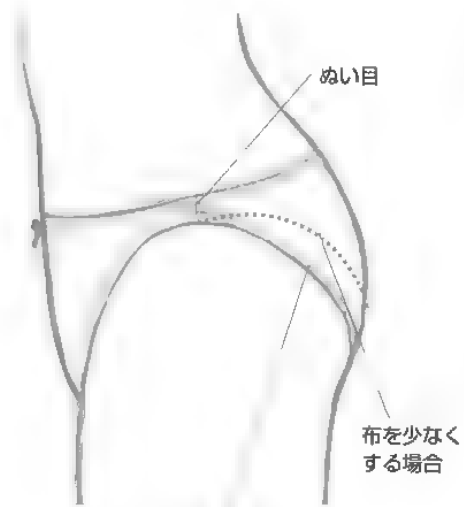
後ろ



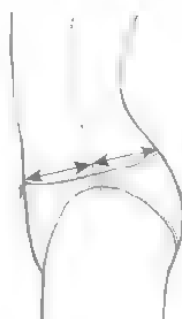
少し食い込み気味にしたり、
布を少なめにする場合

普通にはいた場合

横

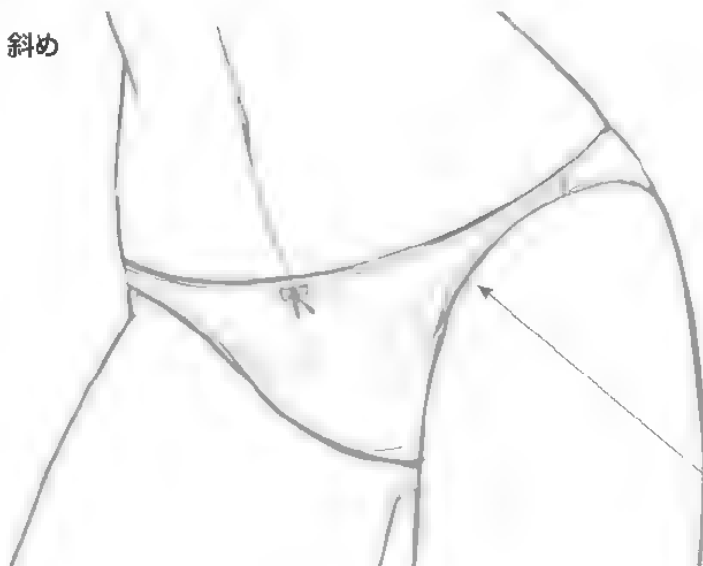


お尻の布幅を多く
する場合

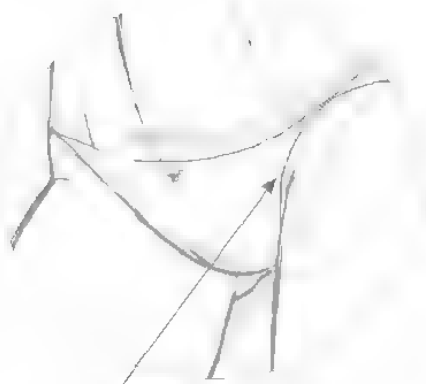


ぬい目は側面側の
ほぼ中央です。

斜め



正面向きの設定通り、
脚のつけ根の線に沿
って描いたもの

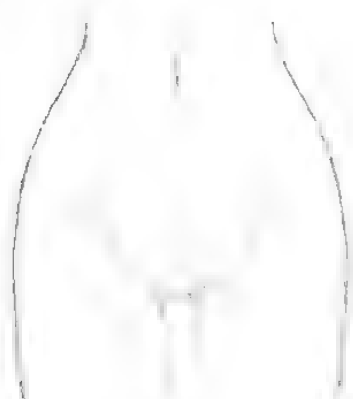


設定より内側にパンツの線を描くと、
ちょっぴりセクシー度がアップします。

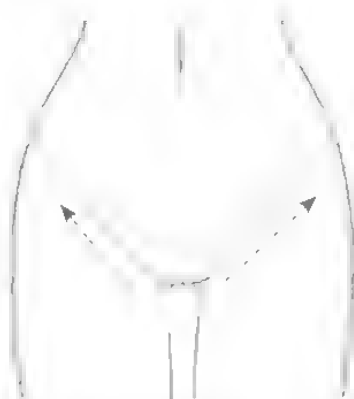
セクシータイプのパンツを描く

凝ったデザインのパンツは無数にありますが、難易度が高いです。最も簡単に描けるセクシーパンツを描いてみましょう。

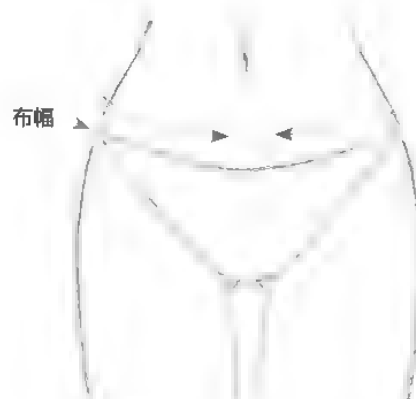
作画手順



① 体を描きます。



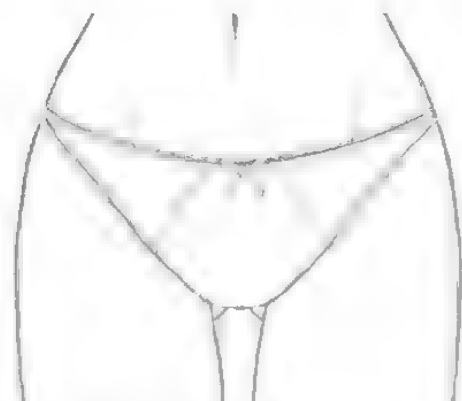
② 脚のつけ根の線に沿って、はき口ラインを描きます（角度を急にするとハイレグタイプになります）。



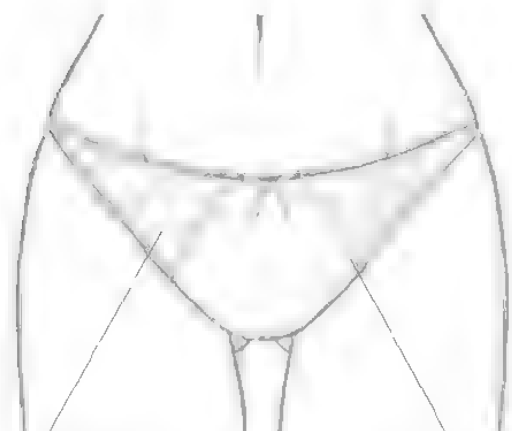
③ 布幅を決めて、ウエスト部分を描きます。



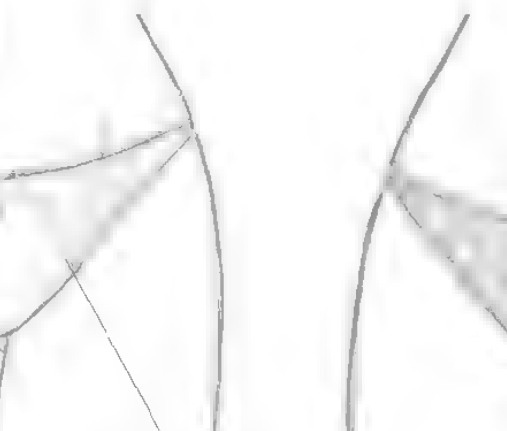
④ レースの境目を曲線で入れます。



⑤ 縁取りを描き込み、中央にリボンを描きます。簡単にする場合はこれでも OK。縁取りは最後に描くこともあります。



⑥ 簡単な花びらや葉っぱなどを描き込みます。



⑦ 境目のラインから、内側に向けて細い線でシワを入れます。体の曲面を意識した曲線を用います。



⑧ 完成

ちっちゃいパンツ（布が少ないパンツ）のいろいろ



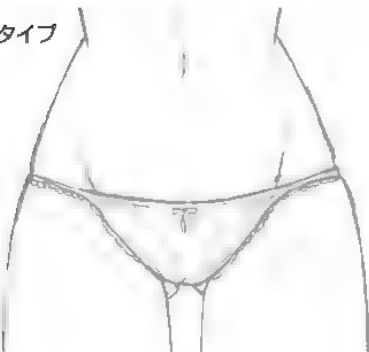
ウエスト部を
直線的に取る
タイプ



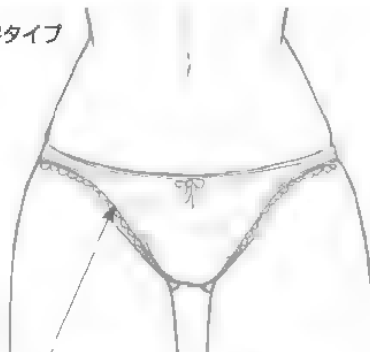
お尻の線が見え
ます。

はみ出した肉

三角タイプ

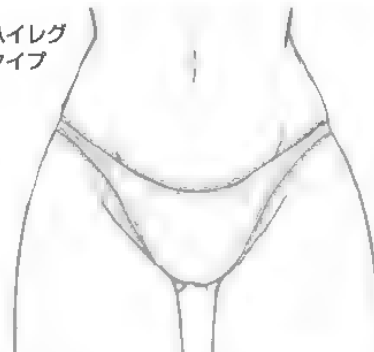


T字タイプ



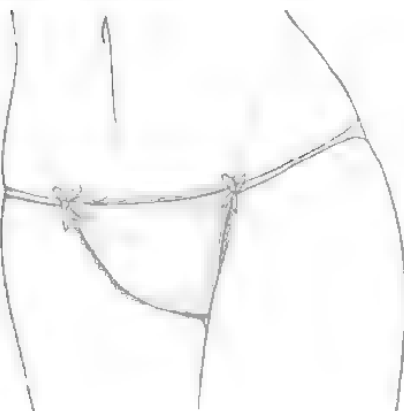
脚のつけ根の線より少し急角度です。

ハイレグ
タイプ

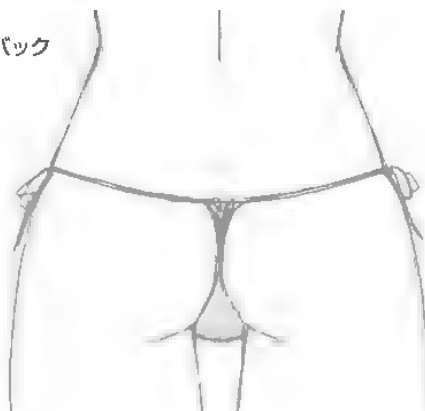


脚のつけ根の線をはっきり見せます。

フンドシ
タイプ

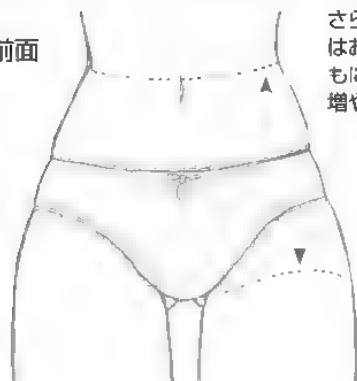


Tバック

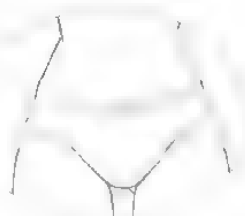


参考：セクシー感を控えめにする幅広のノーマルパンツ

前面

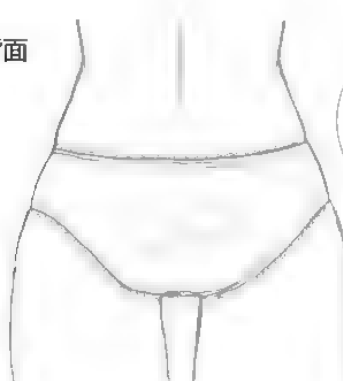


さらに幅広にする場合。上
はおへそより上、下は太も
もにかかるくらい布の量を
増やします。



透視図

背面



透視図

お尻の割れ目の線も、
はみ出したお尻の肉も
描きません。

お手軽セクシー・黒いパンツ

パンツの布地をグラデーションなどで濃くします。

前面

下腹部を薄めにする
と、肌の色
が透けている
ムードが出ます。

下の方を濃くすると立体感が強調されます。

お尻 光があたっている部分を丸く、白くしましょう。

中央・上寄りを白く光らせます。引き締まった
感じのお尻になります。

右上から光があたっているイメージで、
左右のお尻右上を白くした場合。柔ら
かなボリューム感が出ます。

白い場合。お尻の線を細く
描いて、透けた感を出
すとセクシー感が生ま
れます。

割れ目と下部を少し
濃くしています。コ
ントラストが強まり、
肉感的になります。

● 作画ワンポイント・肉感表現



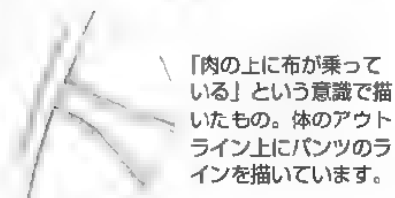
普通



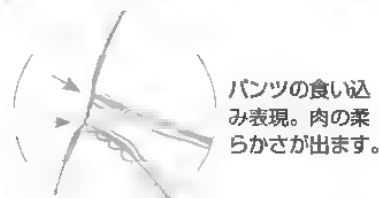
セクシー



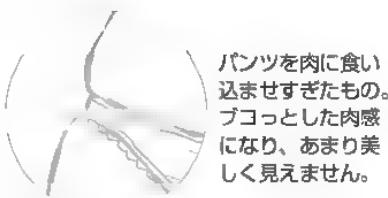
やりすぎ



「肉の上に布が乗っ
ている」という意識で描
いたもの。体のアウト
ライン上にパンツのラ
インを描いています。



パンツの食い込
み表現。肉の柔
らかさが出ます。

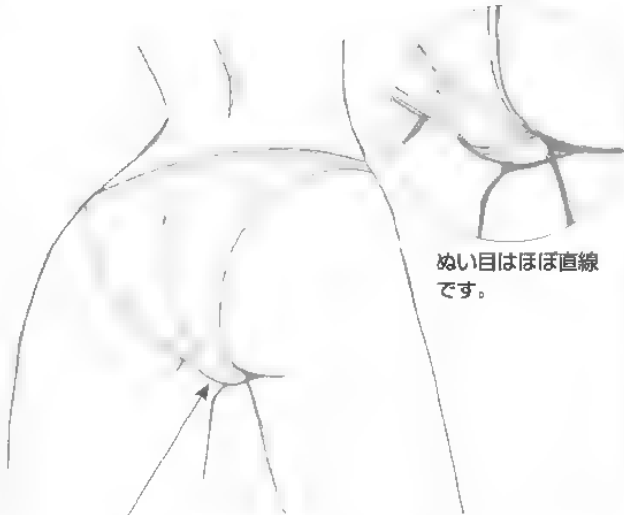


パンツを肉に食い
込ませすぎたもの。
ブコッとした肉感
になり、あまり美
しく見えません。

● ぬい目 1 本タイプ

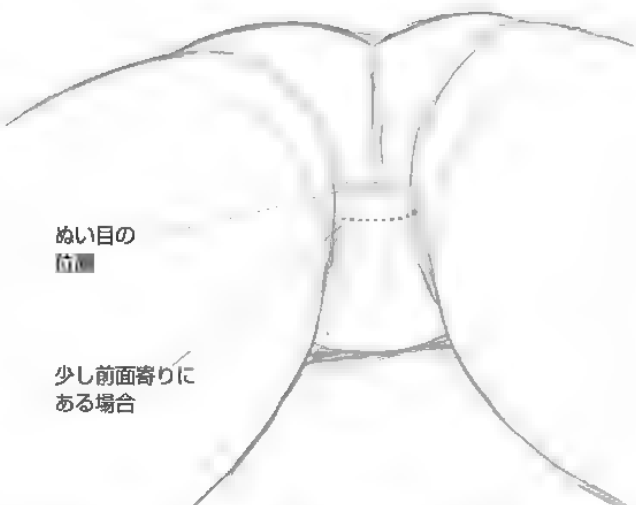


胴体の最下面、中央にあります。



ぬい目はほぼ直線です。

1 本だけのぬい目は後ろからも見えます。



ぬい目の位置

少し前面寄りにある場合

● ぬい目 2 本タイプ

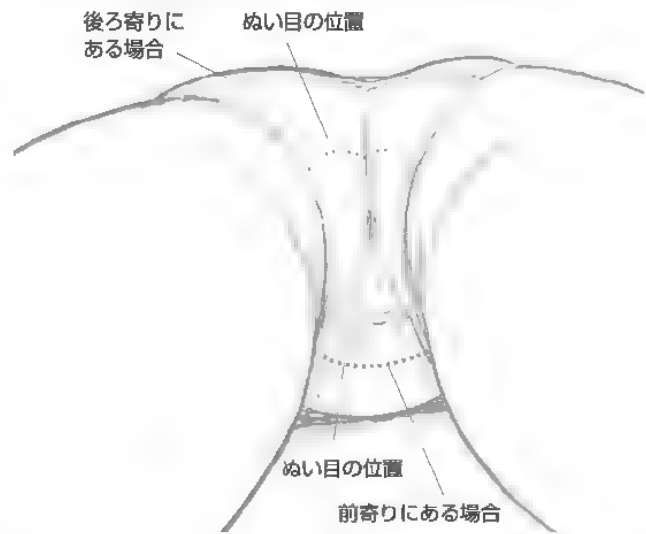


前面側のぬい目。後ろ側のぬい目は見えません。



ぬい目はお尻の割れ目に食い込む感じになることもあります。

後ろ側のぬい目。



後ろ寄りにある場合

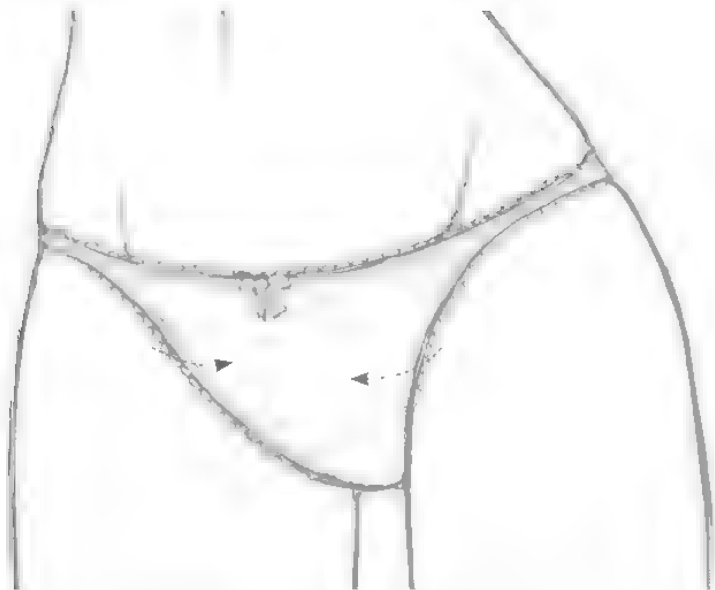
ぬい目の位置

ぬい目の位置

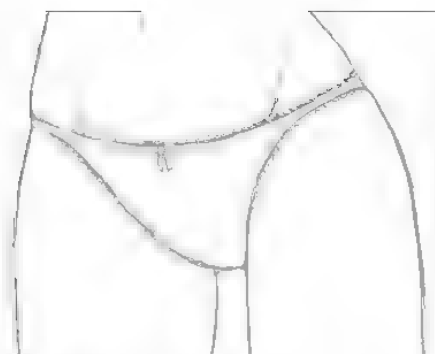
前寄りにある場合

デザインやはき方などで、ぬい目の位置は変わります。体の最下面にある 1 本タイプはまば直線状、2 本タイプはお尻と股の曲面を反映して曲線で描きましょう。

パンツのシワ表現



横ジワ 横方向を主体にして、短いシワを描きます。ピッタリカラダにフィットした感じを出したいときに向いています。曲線を用いましょう。



シワなし表現。シワを描かないことで、ピッタリ感が演出されます。

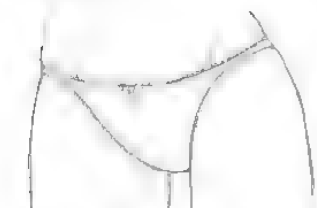


タテジワ タテ方向の短い曲線で描きます。布が少し浮いている感じで布感が出て、布をまとっている雰囲気が出ます。

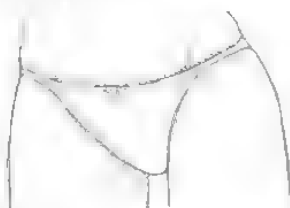


複合ジワ 横じわとタテジワを用います。びっちり感と布感が両方欲しいときに用います。動いた後などの感じが出ます。

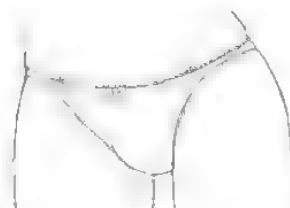
股の形状について 3タイプがあります。好みで使い分けましょう。



曲線タイプ
普通の表現。
基本形です。



直線タイプ
シャープな
イメージに
なります。



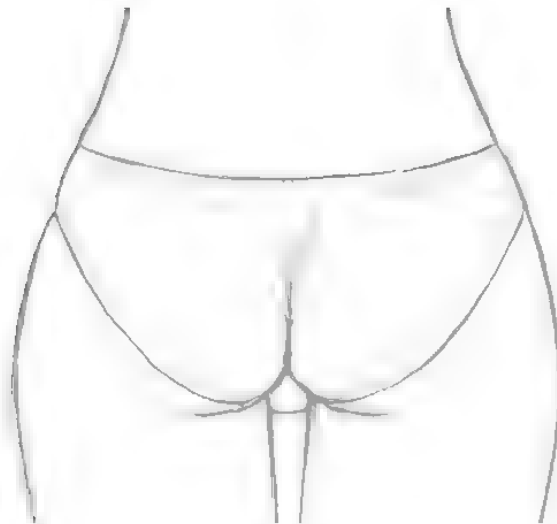
直線 + 曲線タイプ
股の丸さが強調
され、色っぽい
感じになります。



タテジワ（食い込みジワ） 割れ目に食い込んでできるシワです。



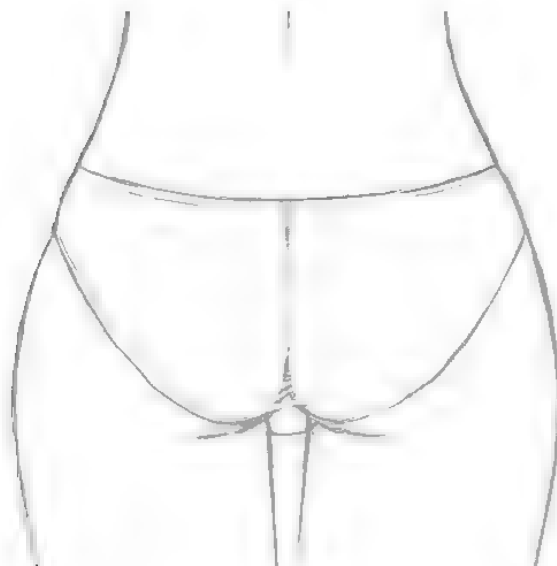
横ジワ 割れ目の線ができない（描かない）場合などで、布が引っ張られてできるシワです。



複合ジワ 割れ目に食い込んでできるシワと、布が引っ張られてできる横じわを描きます。

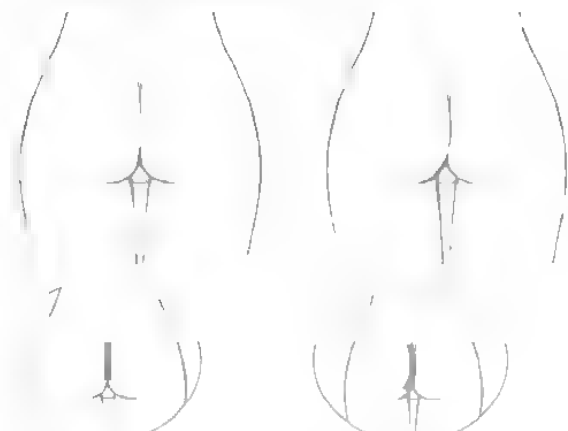


特殊なシワ 割れ目にそって、くぼみ状に見えるように狭い幅で短いタッチを入れます。



透け素材の場合 長く細いシワをお尻の線にかぶせましょう。

参考・お尻の割れ目の線について



直線タイプ。真後ろから見ると、原理的には直線になります。

曲線タイプ。真後ろを向いている場合でも、左右どちらかに寄っているので、曲線で描いてもOKです。

色っぽい脚の表現

脚全体…脚線美

脚の魅力は、上半身が衣服に覆われていることで生まれます。

●Tシャツ

「股間が見えそうで見えない」というチラリズム、隠す効果です。

太ももを外側にふくらんだ曲線で描きましょう。

ほんの少しパンツが見えるチラ見せ効果

肉感的な太もも

肉感的なふくらばぎ

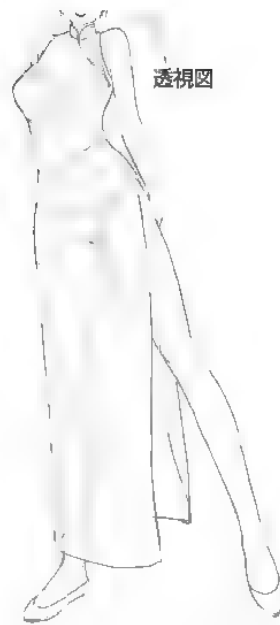
細い足首

透視図

つま先の向きを変えるだけで、太ももラインが変わります。

服を着ていない場合。ただの当たり前のポーズに見え、脚線の魅力は生まれません。

● チャイナドレス



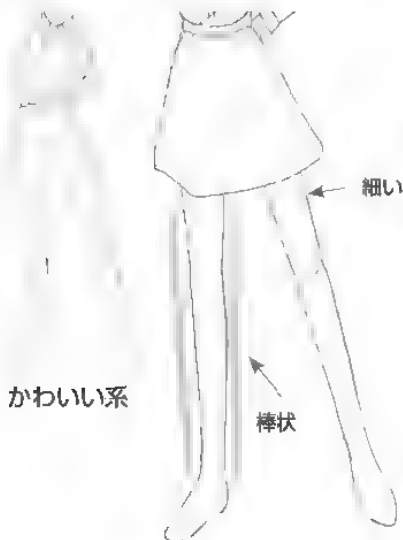
チャイナドレス。長い布のスリットからすらりとした脚が伸びることで、脚線に眼が釘付けになります。布部分との対比で、肉感が強調されます。



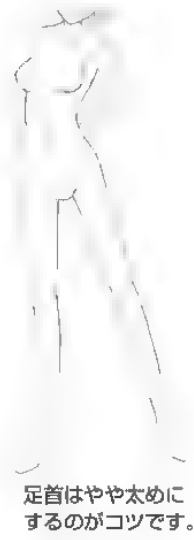
ハダカの場合

ミニタイプのチャイナドレス。ミニのタイトスカートと同様、スリットからのぞく脚線が目を引きます。

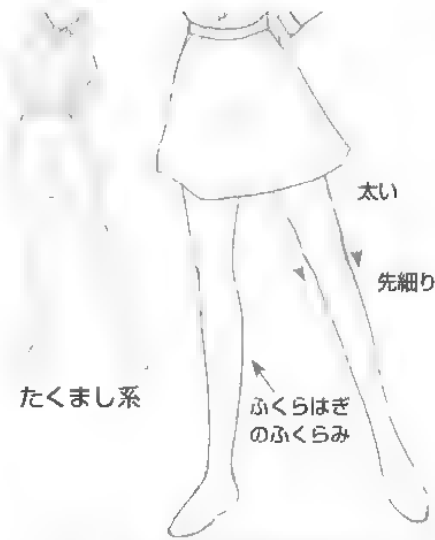
ただの脚線と肉感的な脚線の違い



色っぽさ無用の元気キャラやカワイイキャラの脚は細めの棒状です。



足首はやや太めにするのがコツです。



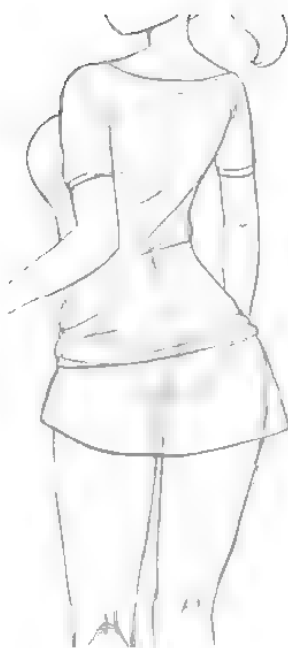
太ももとふくらはぎの起伏を強調すると、たくましい印象になります。ニーソックスやハイソックスを描くと、色っぽさが出てきます。



太ももを太く、足首に向かって先細りのシルエットを心がけます。

● ミニスカート

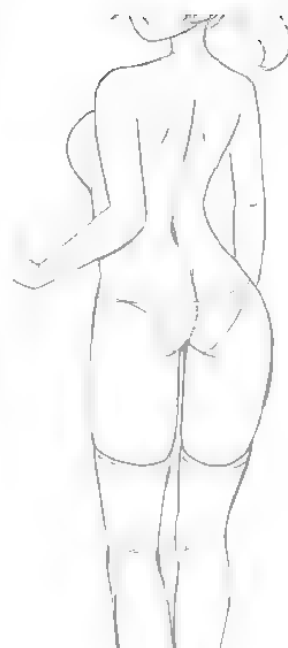
ミニスカートは太ももに注目を集めやすい装いです。ニーソックスやブーツをはくと、脚部全体（脚線）の魅力がよりアピールされます。



パンツ透視図



ニーソックスをはきました。



ニーソックスをはいて上着を脱ぎました。

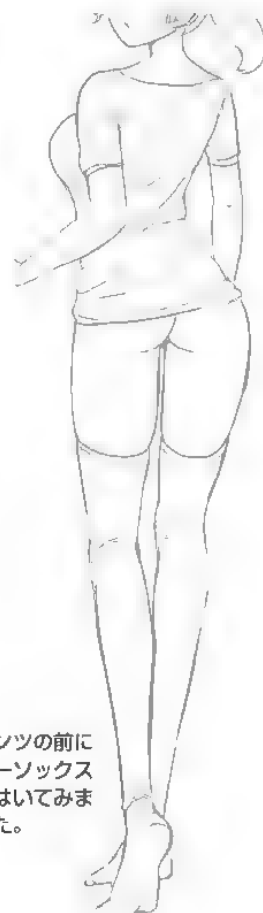
ニーソックスや服のコンビネーションでさまざまに色っぽさが演出できます。



ニーソックスをはいてスカート脱ぎました。



パンツをはいてません。



パンツの前にニーソックスをはいてみました。

色っぽい太もも

すらりと伸びた脚をアピールする「脚線」に対して、脚を組む、座った脚などは、太ももの肉感が色っぽさをアピールします。

太ももアピールポーズ
脚を組んで座る



太もも曲線

お尻の丸み

波線状（逆S字）。太ももの肉感を生み出す曲線です。

太ももは、向きで太さが変わります。太ももの断面はだ円です。



真上から見た太もも（断面模式図）

正面向きは細いです。

横向きは太さが現れます。

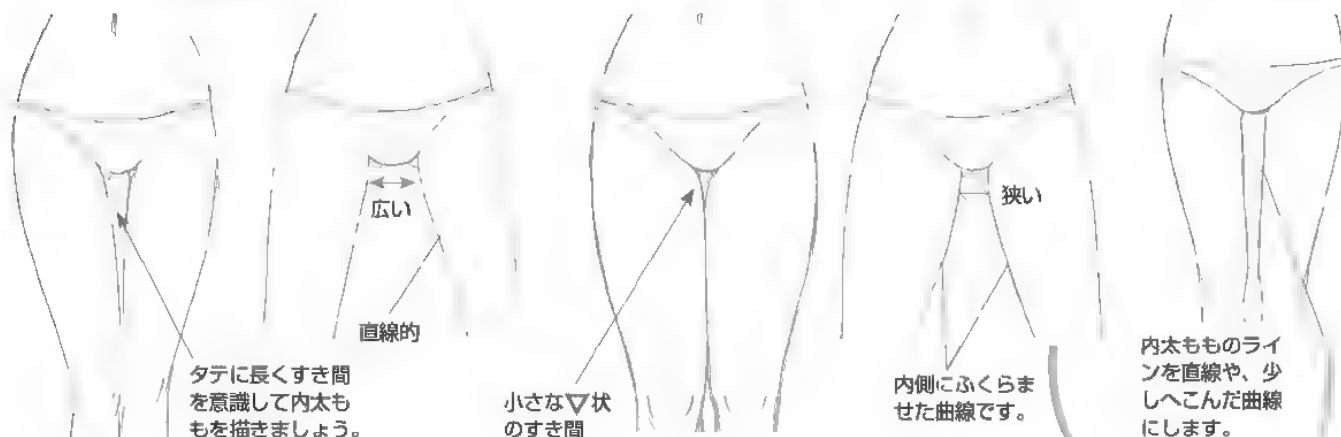
● 太さを描き分けるコツ

内太もものラインを引きはじめる位置で、太ももを描き分けます。脚を閉じた場合、細い脚は股の横幅を広く意識して描きます。太い太ももでは逆三角形の小さなすき間ができます。

細いタイプ

太いタイプ

もっと細い脚



広い

直線的

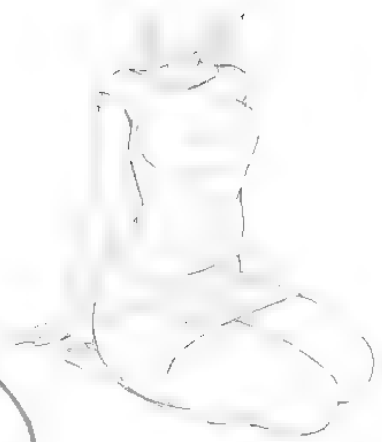
タテに長くすき間を意識して内太ももを描きましょう。

小さな▽状のすき間

狭い

内側にふくらませた曲線です。

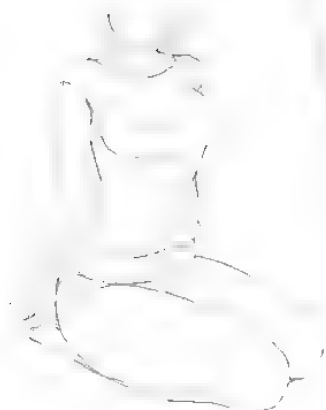
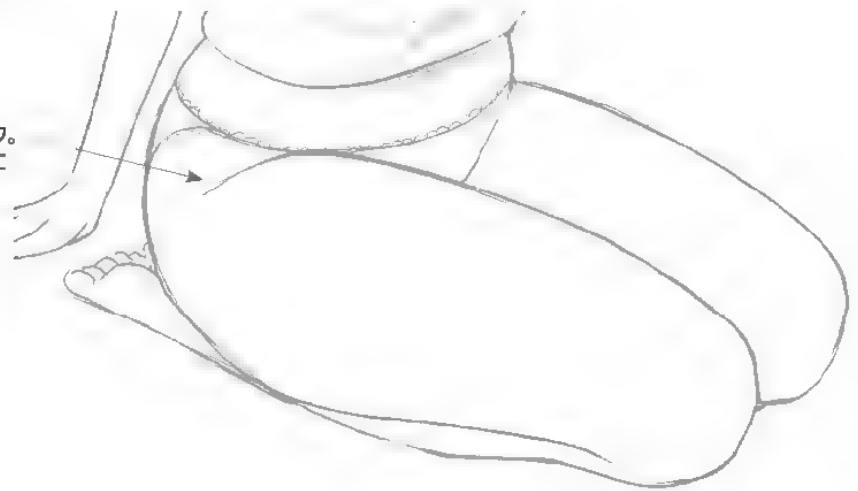
内太もものラインを直線や、少しへこんだ曲線にします。



● 正座
タイトスカート

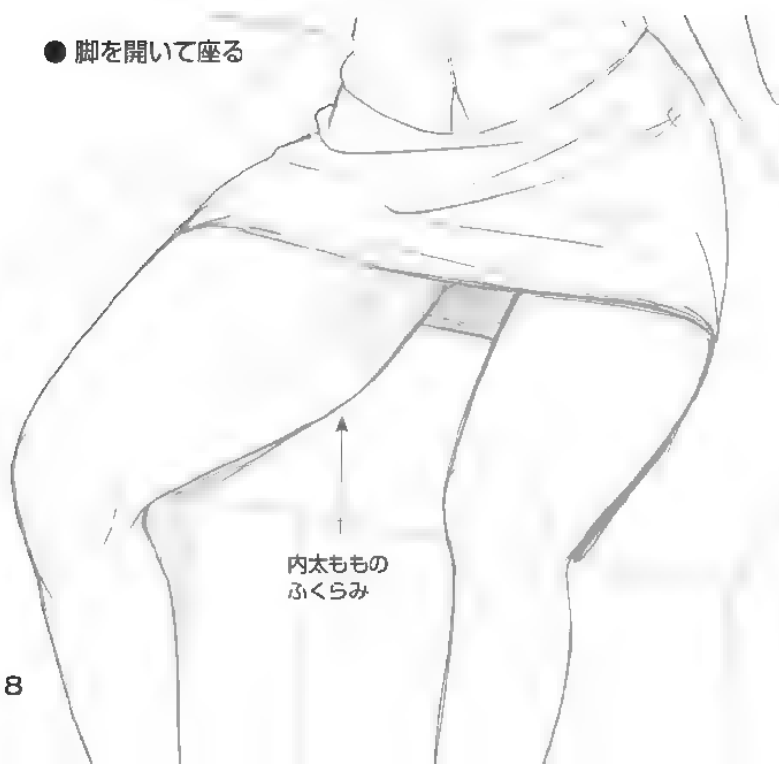
こちらの食い込み表現はわずかです。

脚のつけ根のシワ。スカートのシワに反映されます。



スカートを脱いだ場合

● 脚を開いて座る



内太もの
ふくらみ



ふくらみ

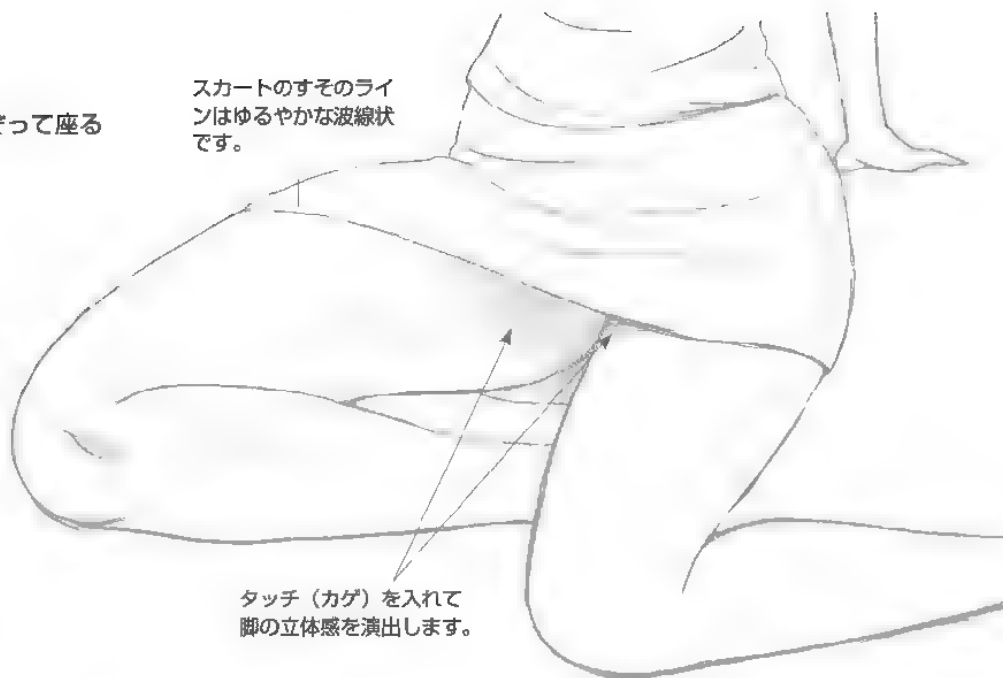
ラフ&デッサン

外側も少しふくらみますが、ほとんど変化なしに見えます。

● のけぞって座る

スカートのすそのラインはゆるやかな波線状です。

透視図



タッチ（カゲ）を入れて脚の立体感を演出します。

● 前に乗り出す

透視図



タイトスカートはあまり脚が広がりません。スカートのすそは直線的になります。

太ももの曲面に沿います。

脚を広げた場合

破けます。

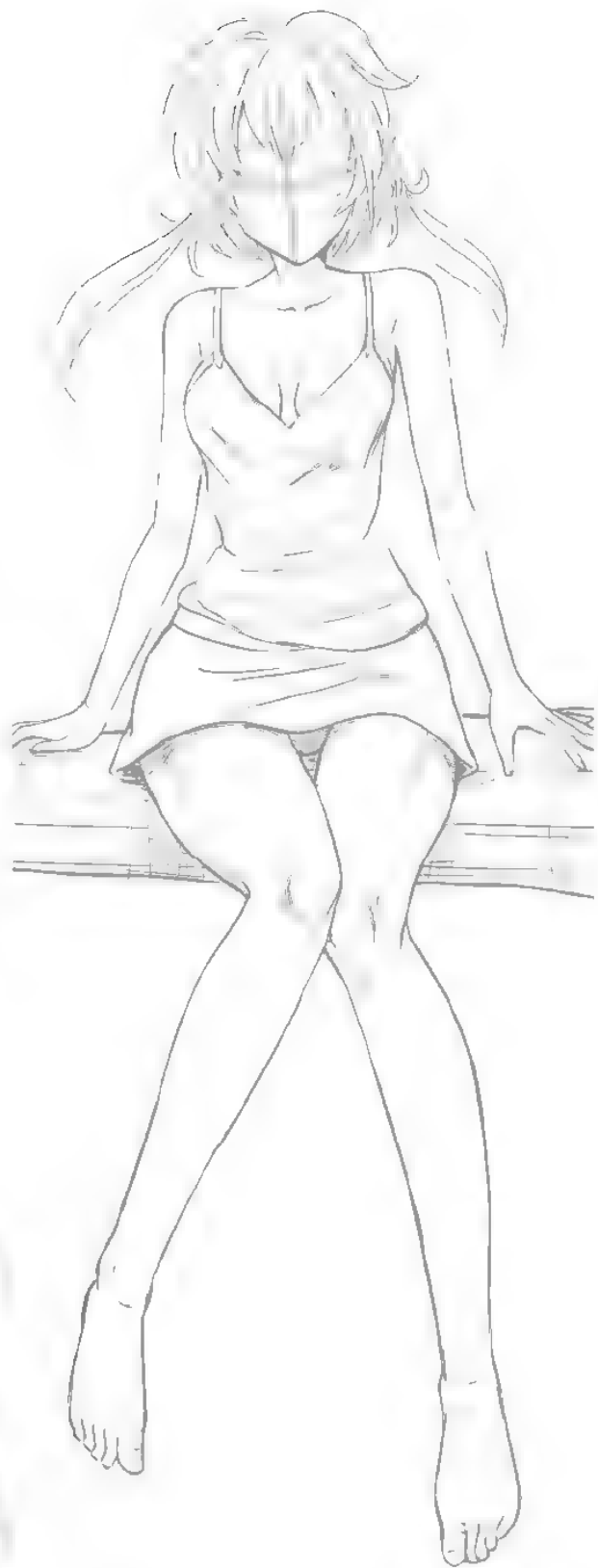


無理に脚を開くと破けます。こうならないために、タイトスカートにはあらかじめスリットが入っているものもあります。

透視図



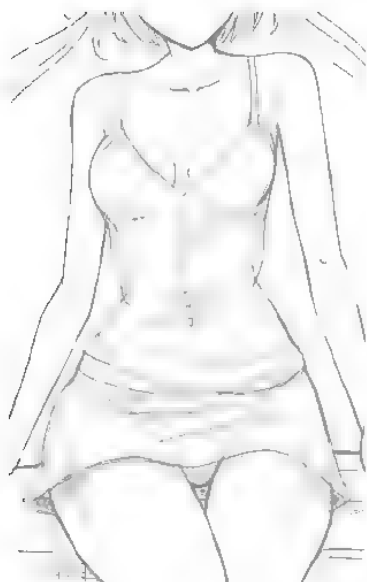
● 腰かける



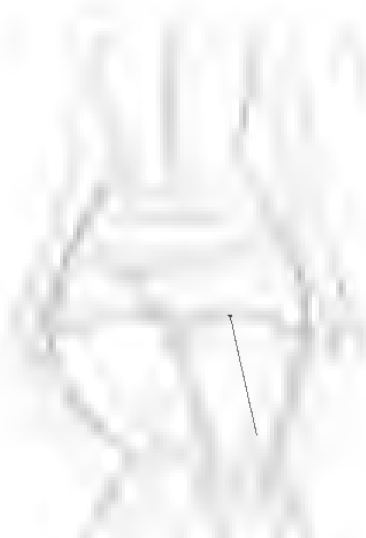
腰かけている部分が
外側にふくらみます。



カゲができるはずのパンツに
カゲを落とさない場合（パン
チラアピール演出）。

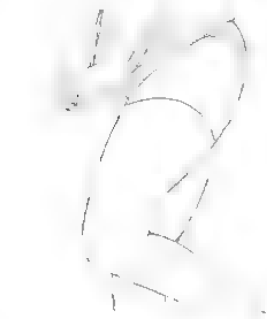


透視図



ラフデッサン。スカート部分は太
ももの丸みを反映させて、M字状
にとらえます。

ニーソックスをはいている場合



食い込み表現なし



食い込み表現をする場合



もっと強い食い込み表現



強い食い込み表現は、
太ももの柔らかさを
より強調したいとき
に用います。

● 太ももと
パンチラどっきり



素足の場合

● うつぶせになる

スカートのカゲで太
ももの立体感が表現
される効果を狙った
演出です。

太ももの魅力をア
ピールする曲線



脚のつけ根

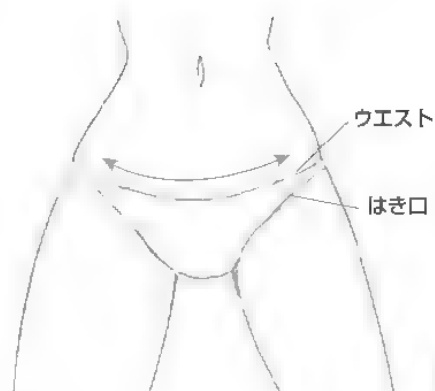


デッサン+透視図。お尻の形と脚のつけ根をと
らえて描きます。

コラム 立体感を表現する曲線 スパッツ太ももの線の作画から

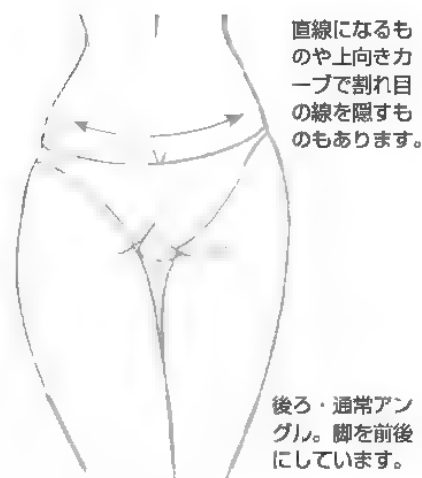
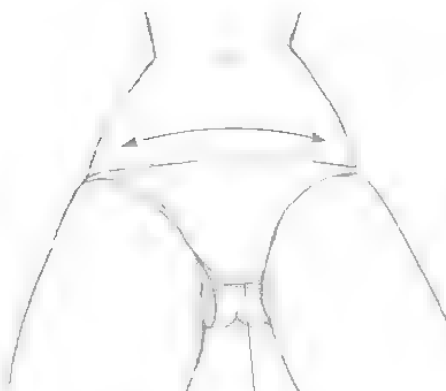
上着やスカートのすそや、パンツの腰まわりなど、立体を意識した曲線が決め手になります。

● パンツの曲線（布幅が小さめタイプ）



正面・通常アングル

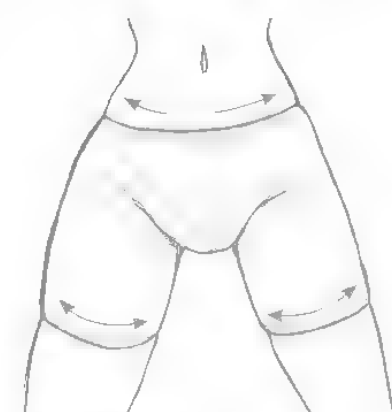
※ウエスト…パンツ類の腰まわり部分をウエストといいます。実際のウエスト（腰）よりも下でも「ウエスト」です。



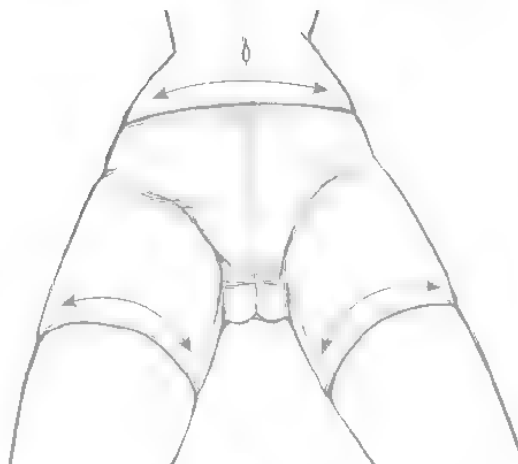
直線になるものや上向きカーブで割れ目の線を隠すものもあります。

● スパッツの曲線

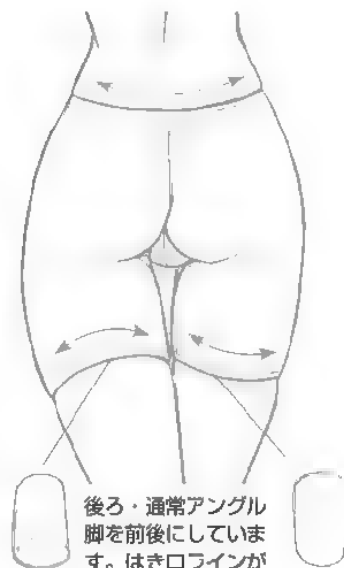
スパッツは太ももに曲線が入るので、脚の立体感がはっきりします。



立体イメージ。ウエストはやや低めですが、おへそが隠れるくらい高い位置のものもあります。

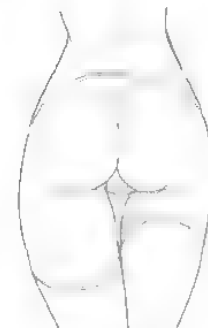
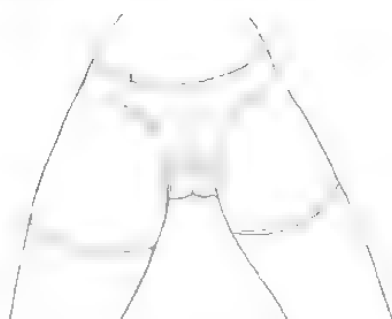


スパッツ、太もも部分の立体イメージ。

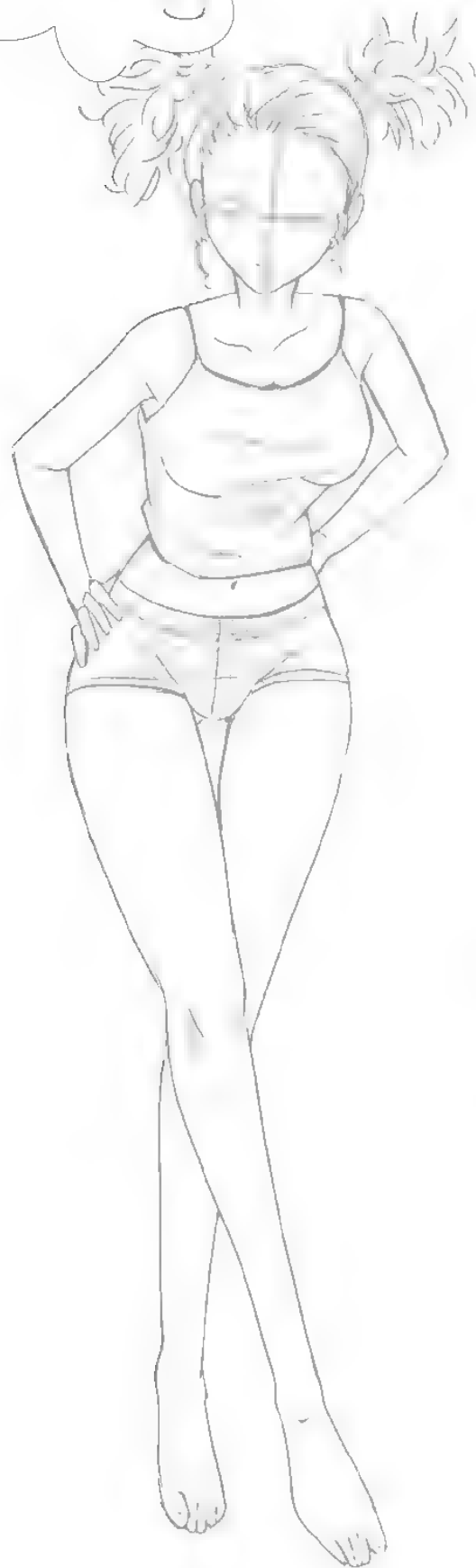


● 失敗例（スパッツ）

曲面を通常と逆に描いた場合。立体感覚が混乱します。



体を倒すとフカン
(上から見た柱)、手
足なんかも柱を意識
するといいです。



ちょっと丈長のシ
ョートパンツ。
スパッツふう。



マイクロミニ

ニーハイ(ミニ
スカートでもこ
んな曲線になり
ます)



ハムになった気分(笑)
脚も前に出てる右脚と、後
ろに引いた左脚で曲線が違
うのを見てね!



失敗例

色っぽい背中・おなか

お尻や胸のふくらみ、腰のくびれだけでなく、背中やおなかの魅力もファッション的にアピールポイントのひとつになっています。

背中の魅力をアピール

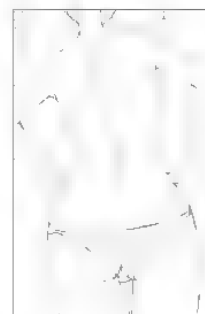
背中では肩甲骨が色っぽさのポイントです。背骨の線は省略することもあります。



背中の大きく開いたドレス。「ベアバック」といわれます。



お尻が見えるくらい、深く切れ込んだデザインもあります。



水着で、パンツだけのスタイルを「トップレス」といいます。

背面のアピールポイント



● 横から胴体の曲線をとらえよう

おなか

おっぱいの下からおへそまでは直線的です。

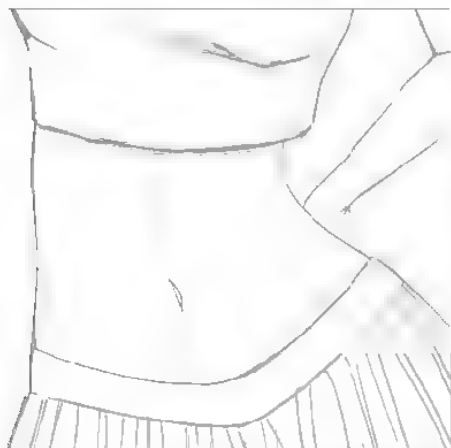
おへそ部分でわずかにくびれ。あくまで曲線を意識します。

おへそから下はゆるやかな曲線。ぽっこり丸くしないように気をつけましょう。

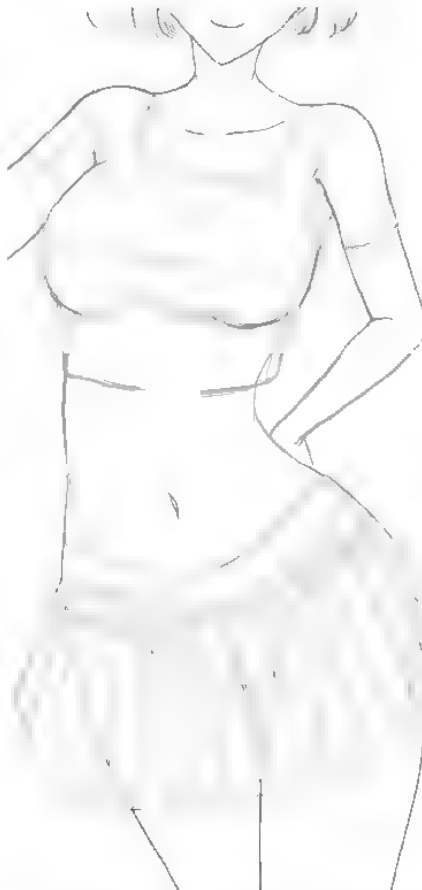


おなかの魅力をアピール

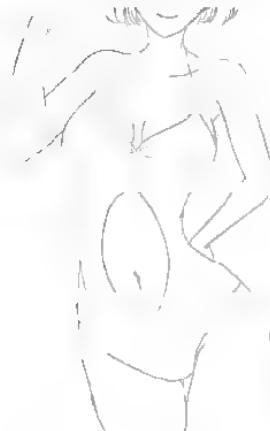
おなかの色っぽさは、腹筋など筋肉表現を主体に起伏をアピールする場合と、筋肉表現をしないでおなかの柔らかさをテーマにするものがあります。



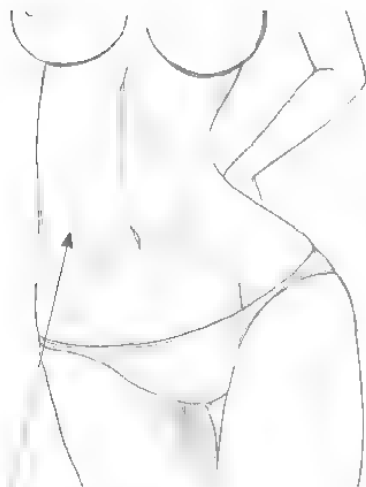
チアふう衣装。おへそを見せます。キャラ的には、健康的なイメージや、元気をアピールします。



腹筋のタテ線を描かない場合、柔らかそうなおなかの魅力が表現できます。



おなか部分があいた水着。アダルトな女性を演出したいキャラに用います。



鍛えているおなかを演出する場合。タッチや線で腹部の筋肉や凹凸感を強調します。

腹筋を表現する線

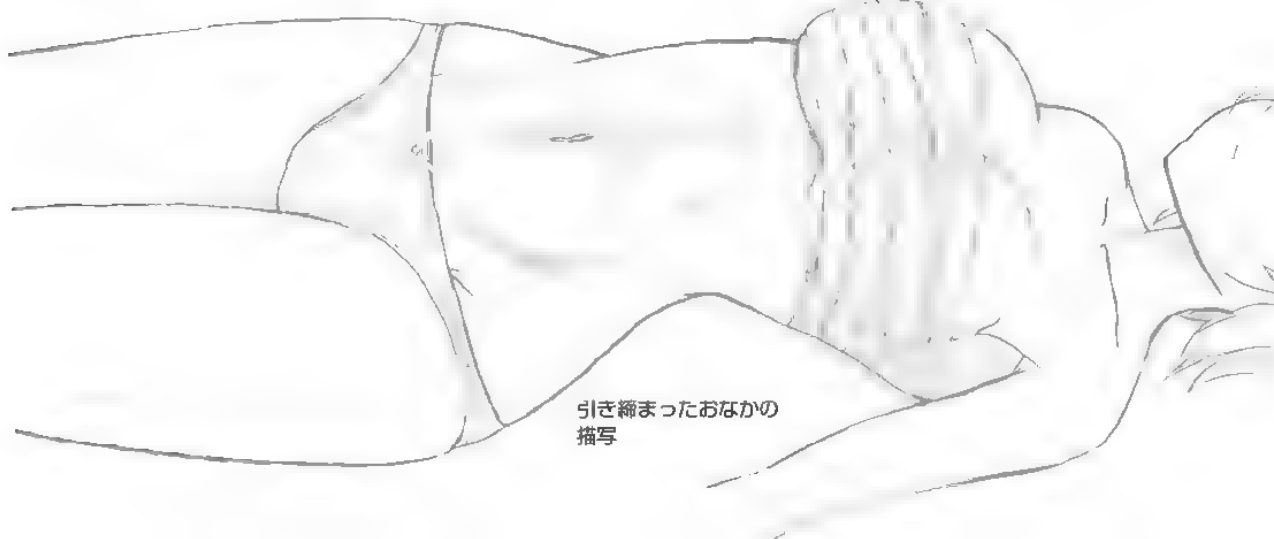


パンツとブラの位置に線を加えるデザインもあります。

サラシとパンツ。横になったおなかのショットは、パンツとのコンビネーションでなめかしい立体感を演出しやすいです。



柔らかそうな描写



引き締まったおなかの描写

コラム アオリアングルでの股間の見え方と作画ポイント

キャラがアピール
されるカッコイイ
アオリ



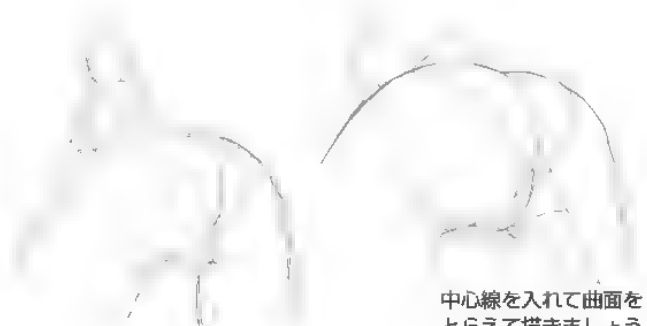
股の部分・体の下
面部の見え方はわ
ずかです。

お尻や股間をアピールする
ちょっとHなアオリ



ラフイメージ+デッサン

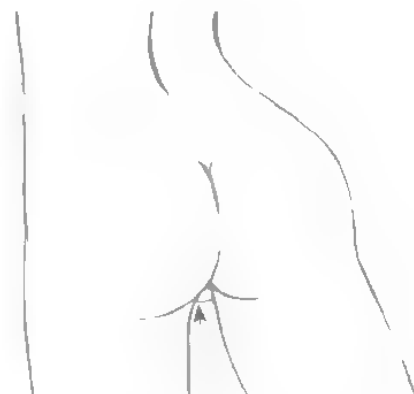
股は胴体の一部です。脚に隠れ
て見えないおなか部分をとらえ
て描きます。



中心線を入れて曲面を
とらえて描きましょう。



通常アングルでとらえたお尻。
股部分は見えません。



脚を開いた場合。ほんの少し股の部分
が見えます。

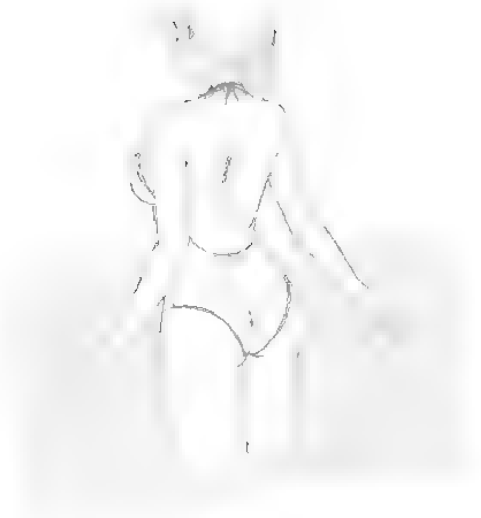
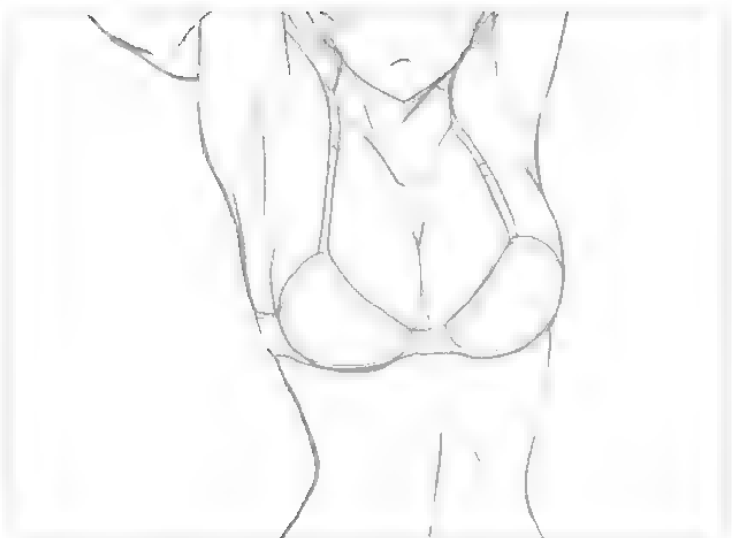


ほんの少しローアングル。股部分は
曲線で描きましょう。

第4章

みんなが「色っぽい」 と感じる場面は？

シチュエーションと演出について考えよう



ドキッとさせるにはシチュエーションが大事



ただのハダカよりも、なんらかの「隠してる・隠されてる・見えそうで見えない」などの要素で色っぽい魅力は生まれます。いろいろなシチュエーションを演出しましょう。

別にどうということのない着替えシーンとか



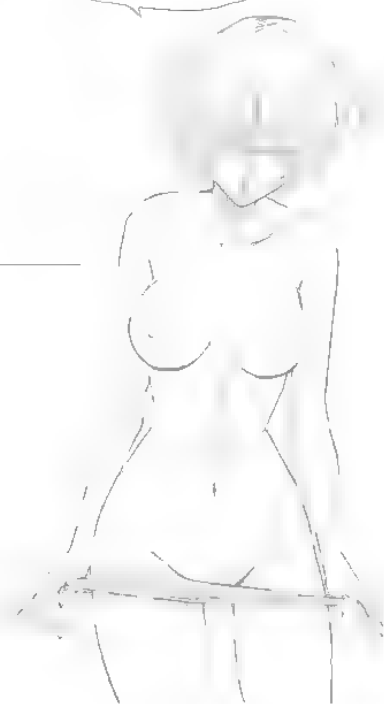
何げに男性用のシャツを着てるんですけど ...



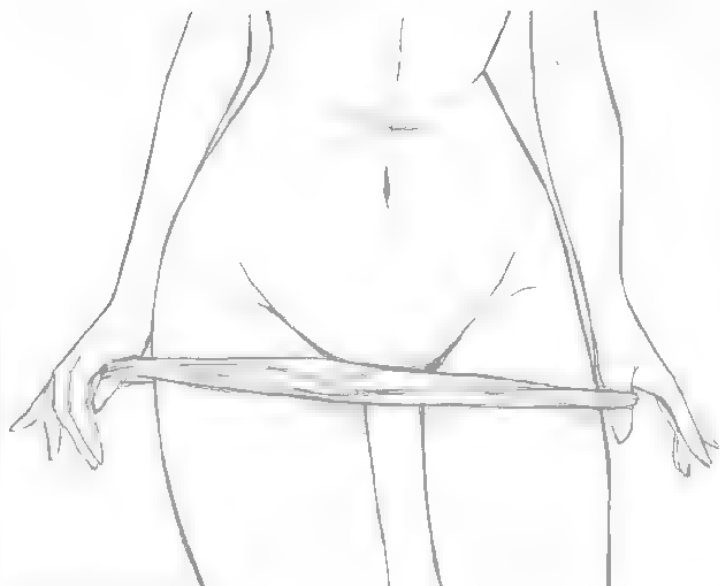


不意にスカートがめくれる演出は、昔から受け継がれる、伝統芸みたいなものだったりします。

ギリギリラインのギリギリに挑戦♡



お風呂はハダカが当たり前。水滴で肉感を表現したり、あえて湯気で隠したり。これも、映画やドラマで愛されるサービス演出の代表です。



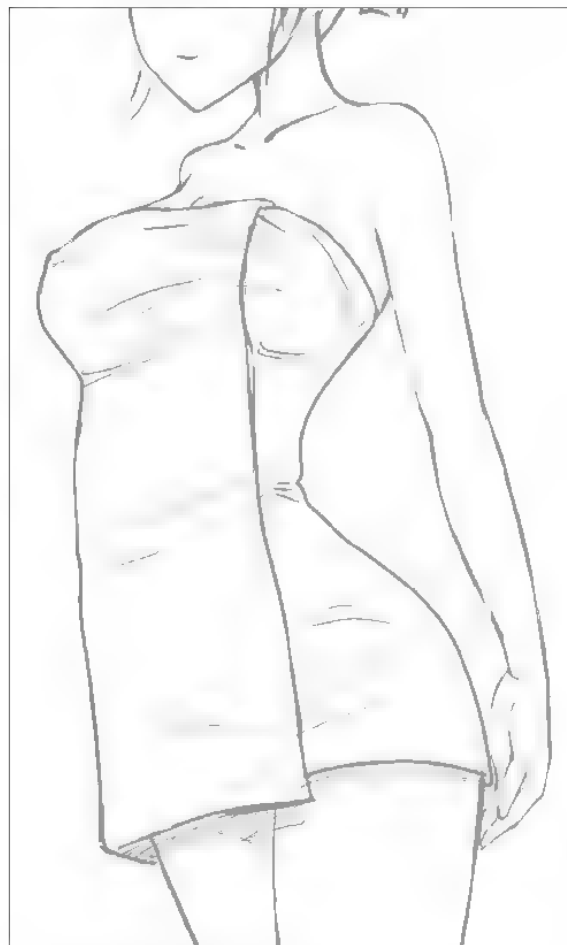
バスタオル巻き姿でつかむ布の表現

お風呂シチュの定番を描く

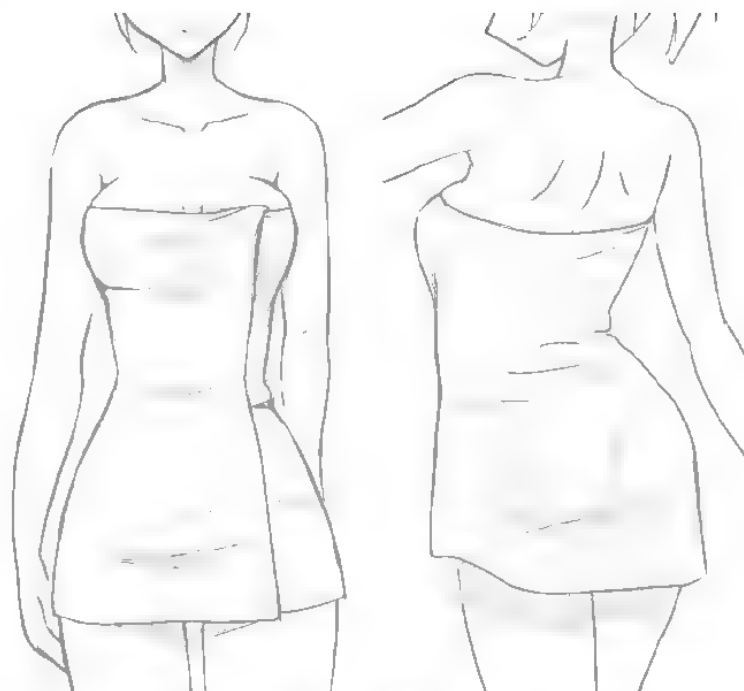
色っぽい表現

ボディラインをくっきり描き出します。

● 普通に巻いた場合

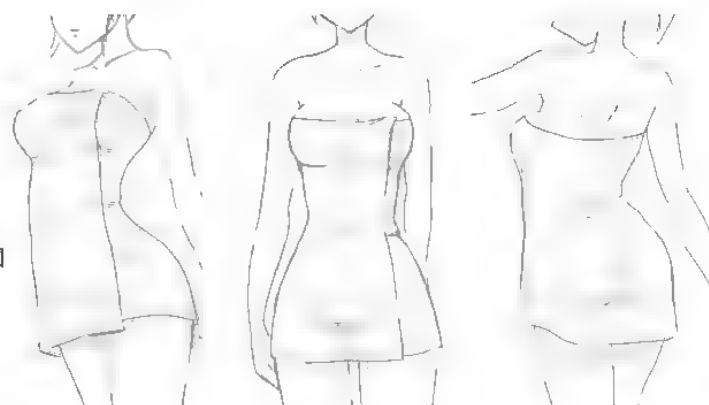


胸の谷間、腰、股あたりにシワを入れます。おもに横方向の線を用います。

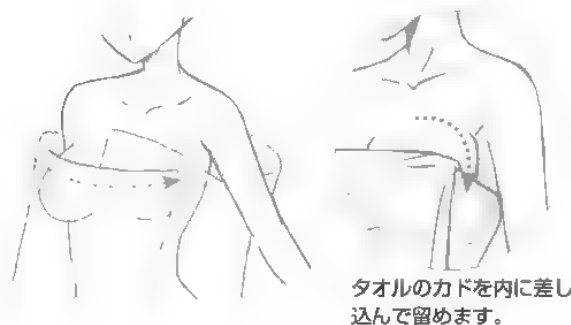


後ろ側は腰まわりに太い線で布のたわみを表現します。お尻まわりは、タッチなど、細い線でお尻の形を演出するカゲを入れます。

透視図



バスタオルで体をくるみます。「巻く」ので、ラッピングといえます。

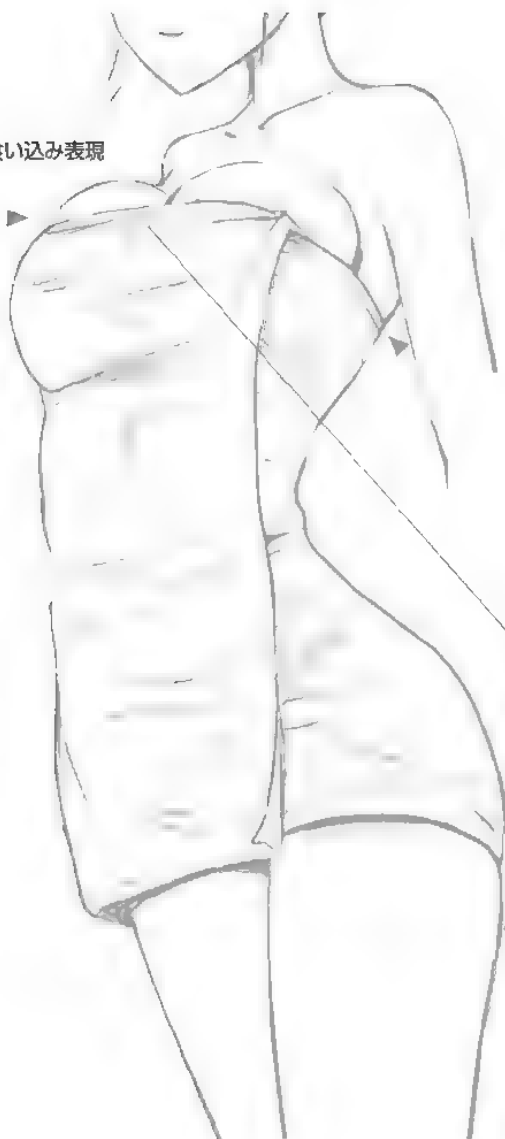


タオルのカドを内に差し込んで留めます。

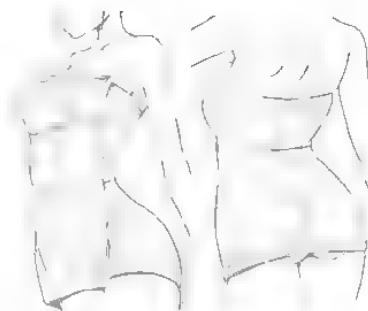
● もっときつく巻いた場合

「布が左右に強い力で引っ張られている」ことを意志してシワを描き加えます。
また、肉体が浮き出す演出（細い線やタッチでカゲ部分を演出）も大切。

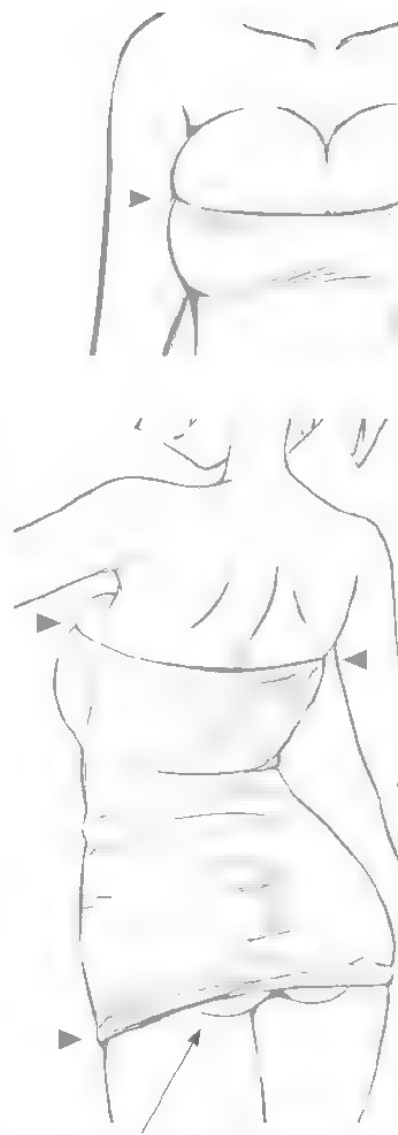
食い込み表現



タッチ。肉感演出

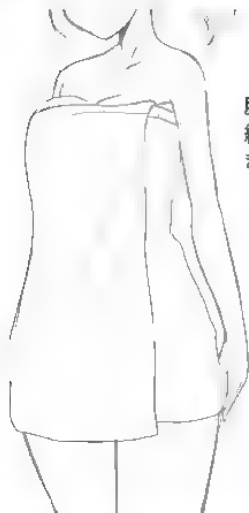


透視図



強く巻いている影響で、お尻も少し見えます。

● リアルふうに表示した場合



胸もとは少し
締めつけてい
ます。



タオルの上端を折って巻いています。
ほどけて落ちません。

布が緩やかに身体を覆い包むので、ボディラインはくっきり表れません。

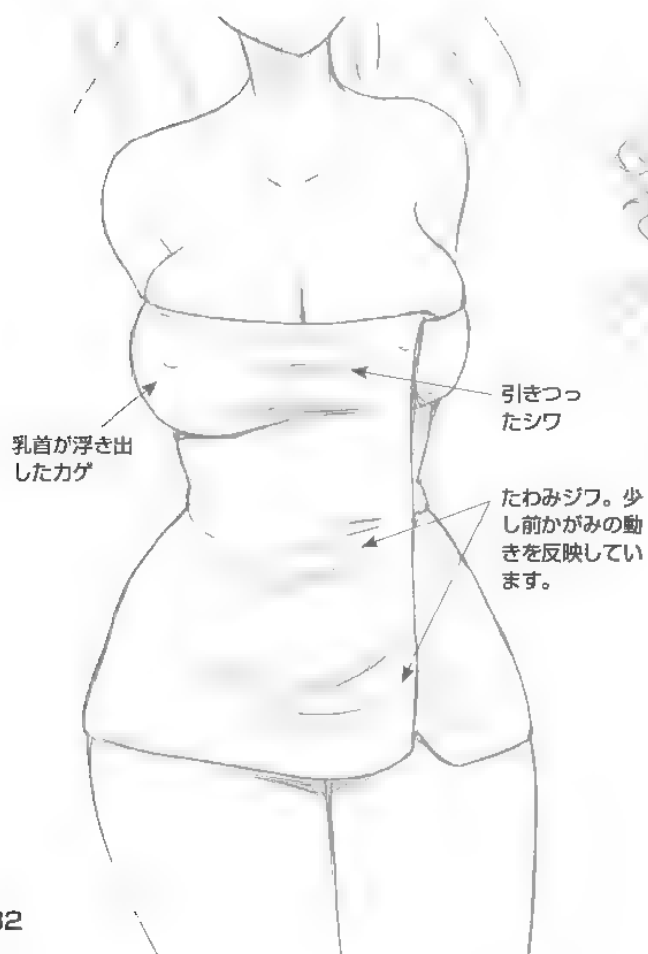
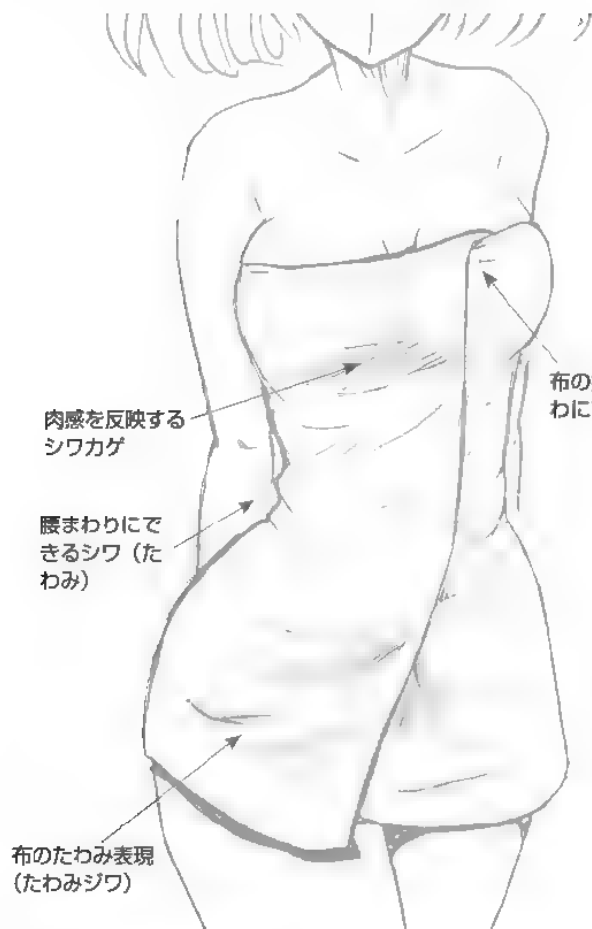


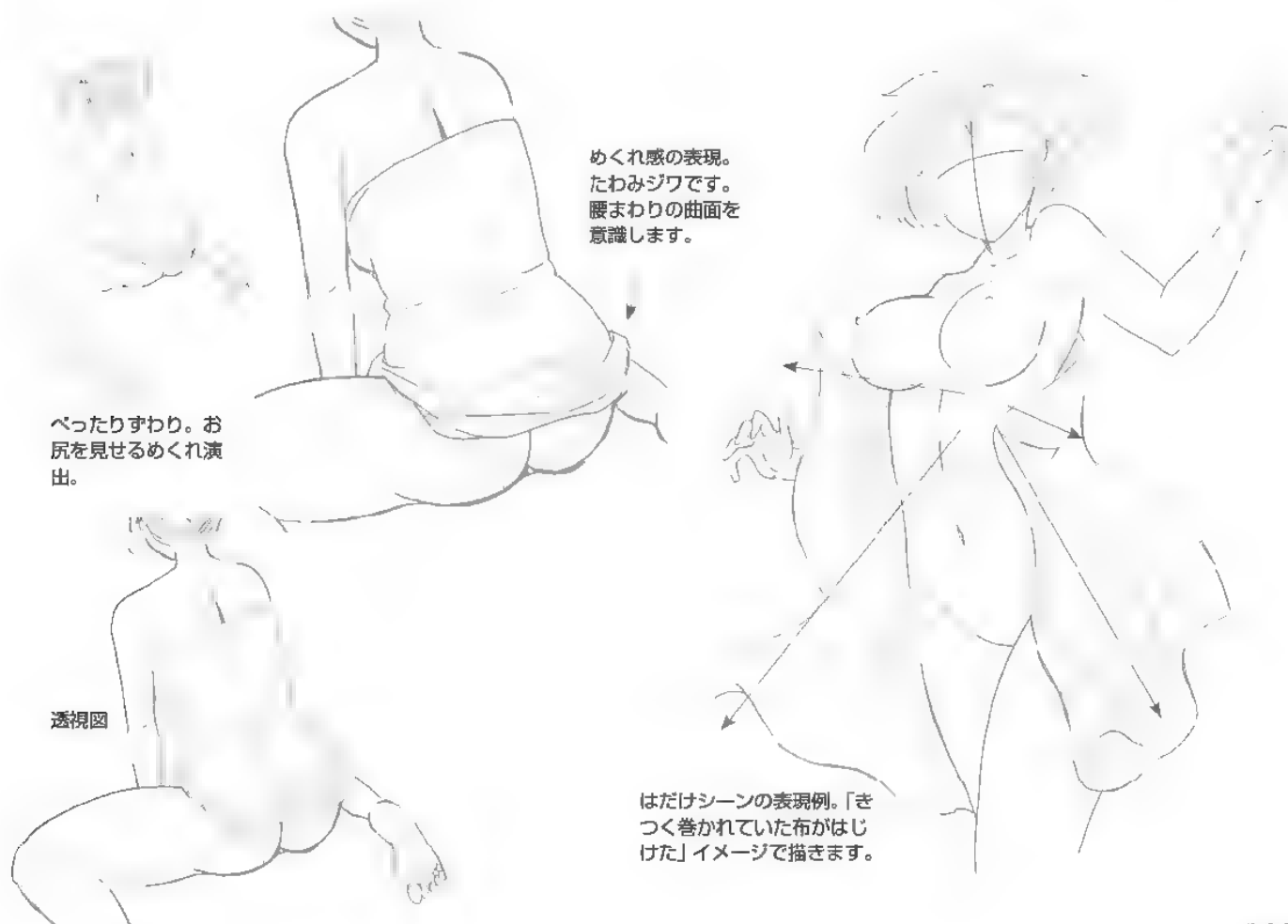
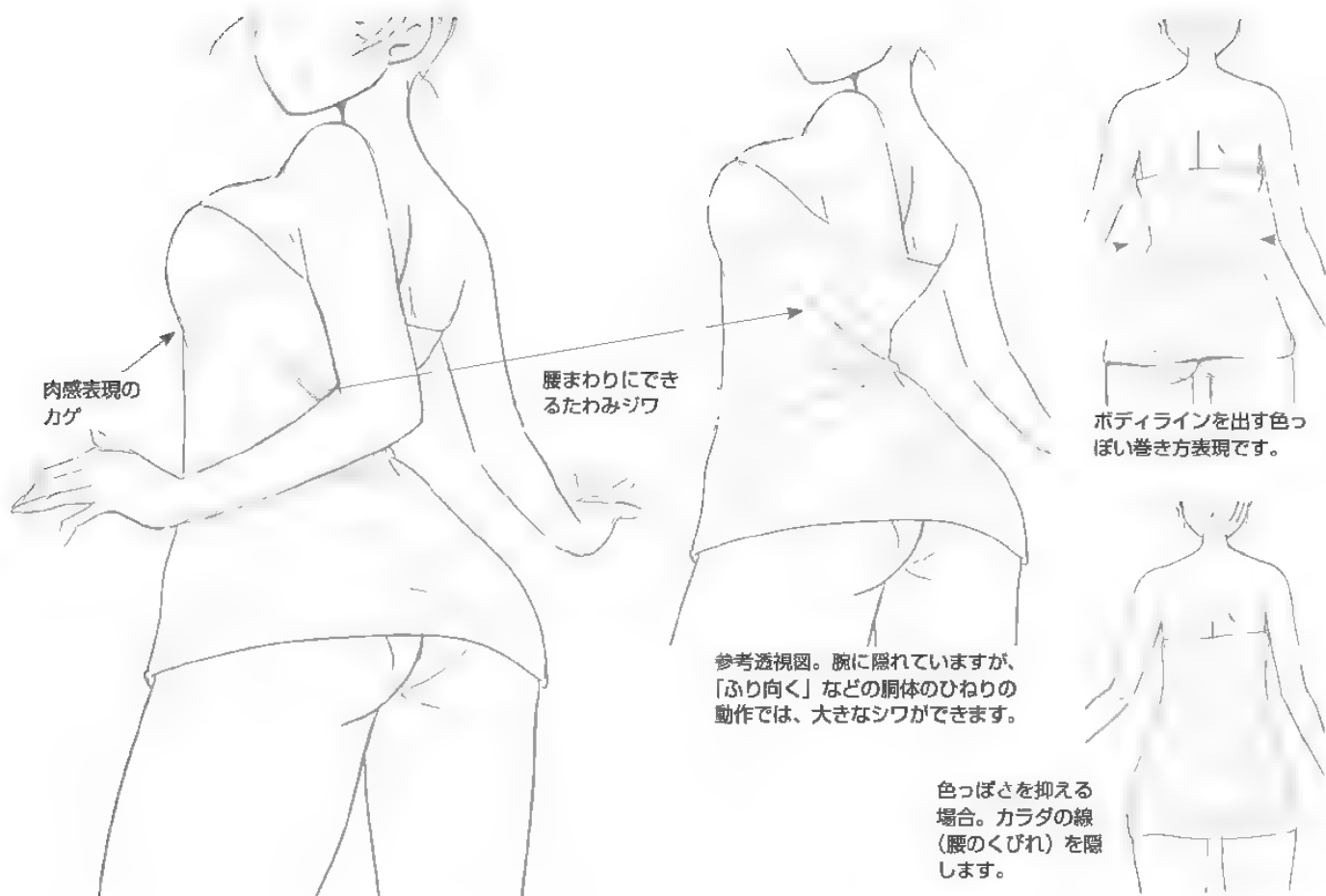
パンツをはいた
上でタオル
を巻いた場合。

作品上では、褻れ
てもとれなかつた
り、何もしてない
のに落ちたり・・・

世界観に合わせ
て描きましょう

いろいろなシワ・カゲ表現



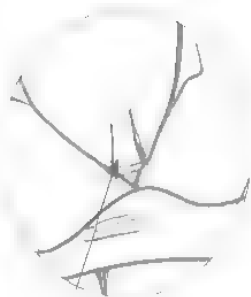


前かがみ

アクシデントやハプニング演出のひとつです。前面側はおっぱいを、後ろ側はお尻やパンチラをアピールします。

拾うポーズ

● ブラウス+タイトスカート：前



ブラは一部が見えるだけです。



ハダカ透視図

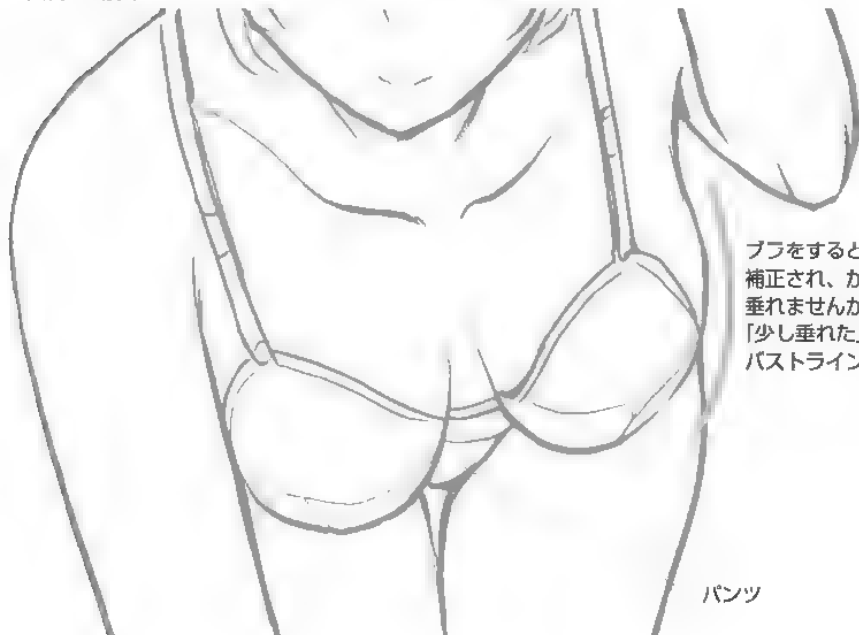


ブラ透視図



胸もとを開けていない
着こなしの場合

下着の場合



ブラをすとおっぱいの形は補正され、かがんでもあまり垂れませんが、タテ長気味の「少し垂れた」作画で魅力的なバストラインを演出します。

パンツ

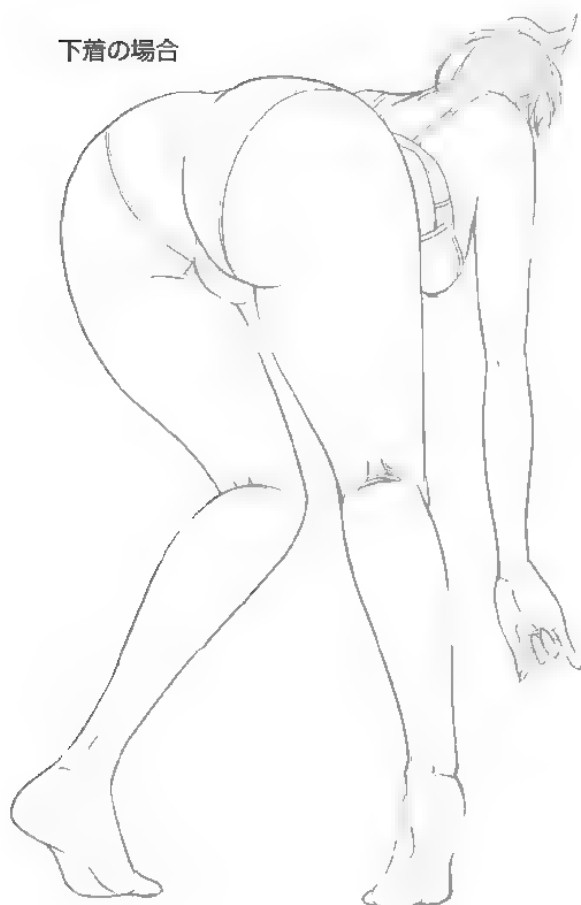
ハダカ



●ブラウス+タイトスカート：後ろ



下着の場合



お尻を単純な丸い曲線で表現すると、色っぽさ少なめに。

● セーラー服の場合



胸もとの布あてがある場合。



胸当てなしの場合。谷間はY字状にシワを入れて強調します。

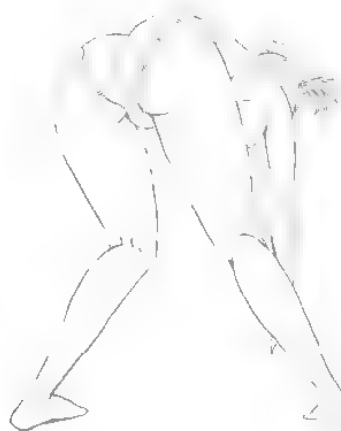


透視図

おっぱいはあまり垂れさせず、形のよいおわん型に。



パンツのウエストラインは胴体の丸みを反映してU字状に描きます。

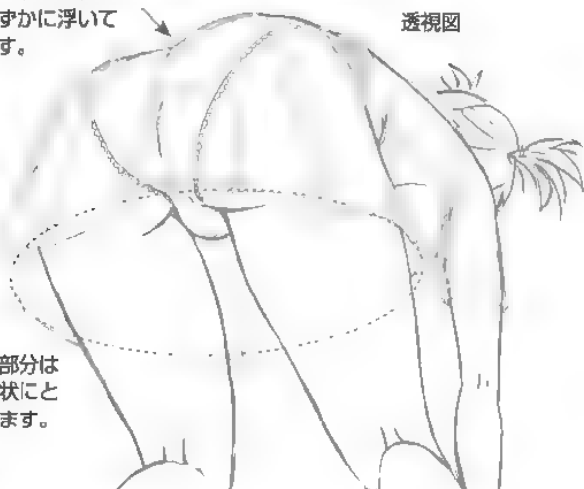


後ろ側

シルエットにお尻の形が出るように描きます。

スカートはお尻からわずかに浮いています。

透視図



すそ部分はだ円状にとらえます。

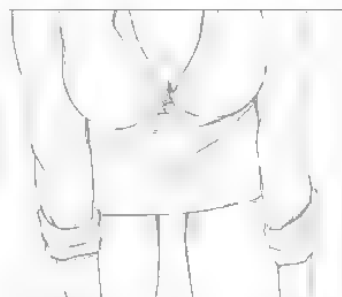


机に手をつく

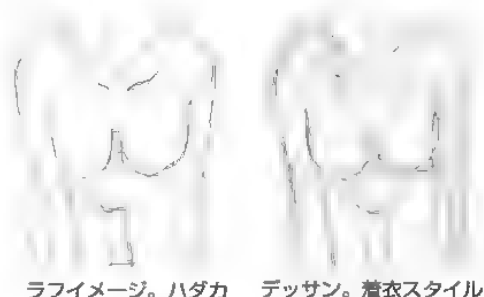


「I字タイプ」といわれる胸の谷間表現です。大きなおっぱいの象徴です。

ほぼ直線で描きます。



胸の谷間と太ももをアピールする場合



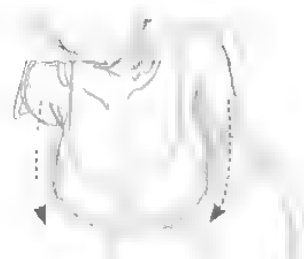
ラフイメージ。ハダカ状態で、垂れているおっぱいです。

デッサン。着衣スタイルにあわせて、おっぱいがくっついた形に変更します。

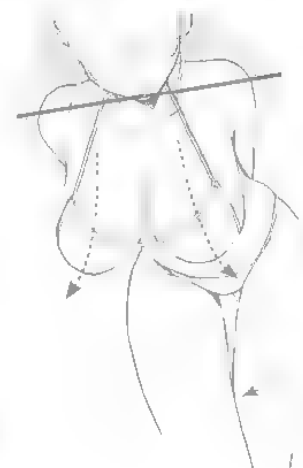
水着姿でひょいっとのぞき込む



おっぱいの形をタテ長気味にして、揺れを演出します。



ラフイメージ。ブラでしっかりホールドされているイメージです。揺れ感はなく、「巨乳を見せる」「重量感」がテーマの作画です。



体を斜めに傾けて、動きのある前かがみを演出。それに合わせておっぱいも揺れる表現に変更します。

画面から切れる脚部も、クロスして動きを意識して描きます。これが股まわりの太もものラインに反映されます。

四つんばい

前かがみの発展形です。前面側はフカンの構図で、衣装によっては胸とお尻の形両方をアピールします。背面側はお尻が主役の構図が主体です。

探すポーズ

● ブラウス +
タイトスカート

眼鏡が

お尻を上げると動き
が出ます。カラダの
色っぽさもアップし
ます。

お尻の山状の起伏
をアウトラインに
生かします。

透視図

後ろ側

お尻の山状の起伏を少しだけ
反映したアウトラインです。

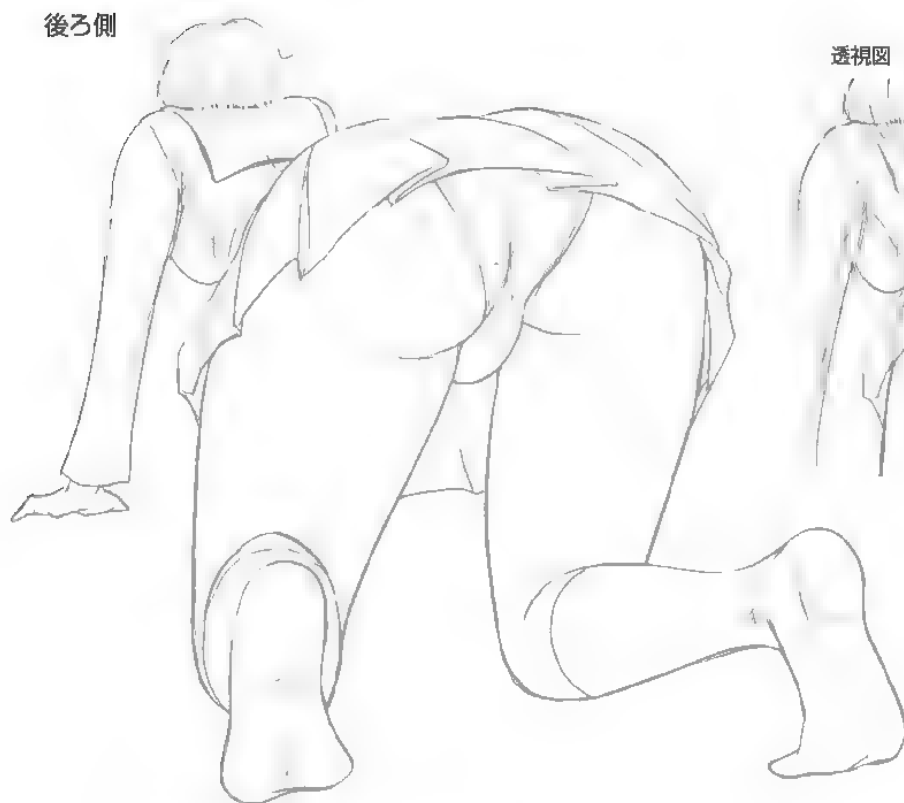
ヒールなど、硬い
靴では足は伸びっ
ぱなしです。

← 裸足やスニ
カーの場合

● セーラー服の場合

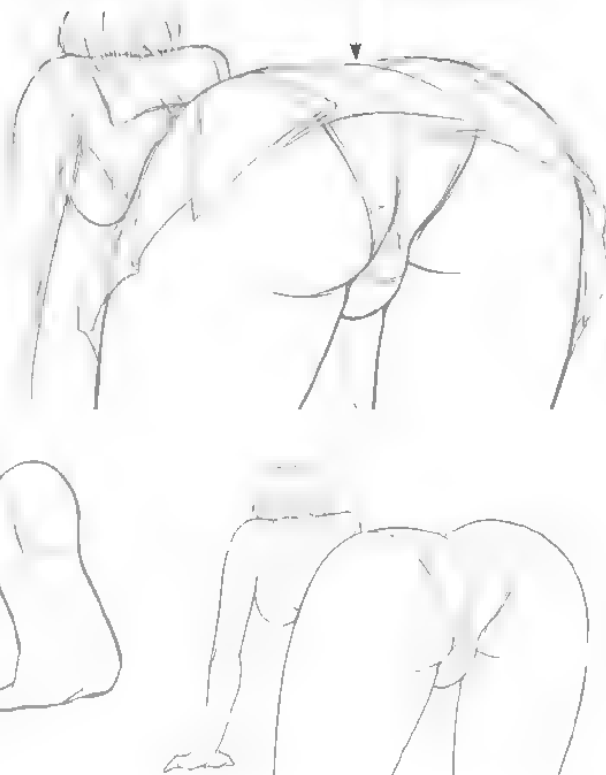


後ろ側



透視図

ハダカのお尻の形を隠します。



スカートを少し前にたくし上げて、見える範囲を広くしています。

ころんじゃった！

同じ「ころんだところ」でも、「ころんだあと」と「ころんだ瞬間」をとらえる作画があります。

しりもちをついた

● セーラー服の場合



外側に向けて胸を揺らせる表現。
ころんだ瞬間の動きを演出します。



姿勢に注目。上体は真っ直ぐめ、お尻を前に突き出しています。後ろにそり気味の姿勢で、「ころんだあと」の雰囲気が出ています。「しまった！」という感じ。

後ろにそった姿勢

下着の場合



ハダカの場合



斜めに傾いた姿勢



ハブニングっぽさを演出するトリミング。

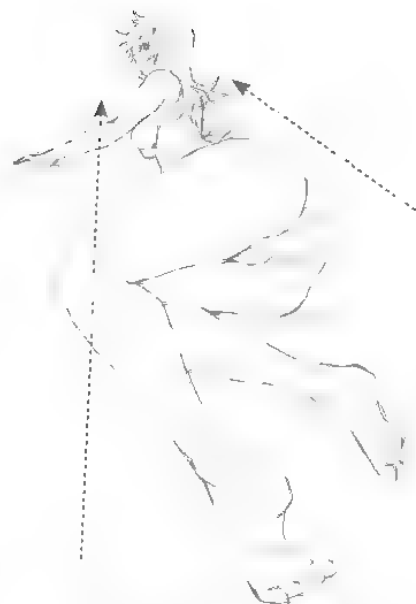


しりもちをついた瞬間。お尻を突き出し、斜めに傾いた姿勢で、すとお尻をついた感じが出ます。

つまずいてころんだ

●ブラウス + タイトスカート

ころんだあと、起き上が
ろうとして上体を起こし
てきているショットです。



ストッキングが
破れた演出

奥を小さく、手前を大きく描く「遠近
法」による描写です。



ヒジを曲げたポーズにした場合。

キャラの目の高さあた
りに「床の線」を描き
入れると床面が現れ、
ポーズが活きます。

床の線。壁やベッドの
きわなど、「面」と空
間を演出します。



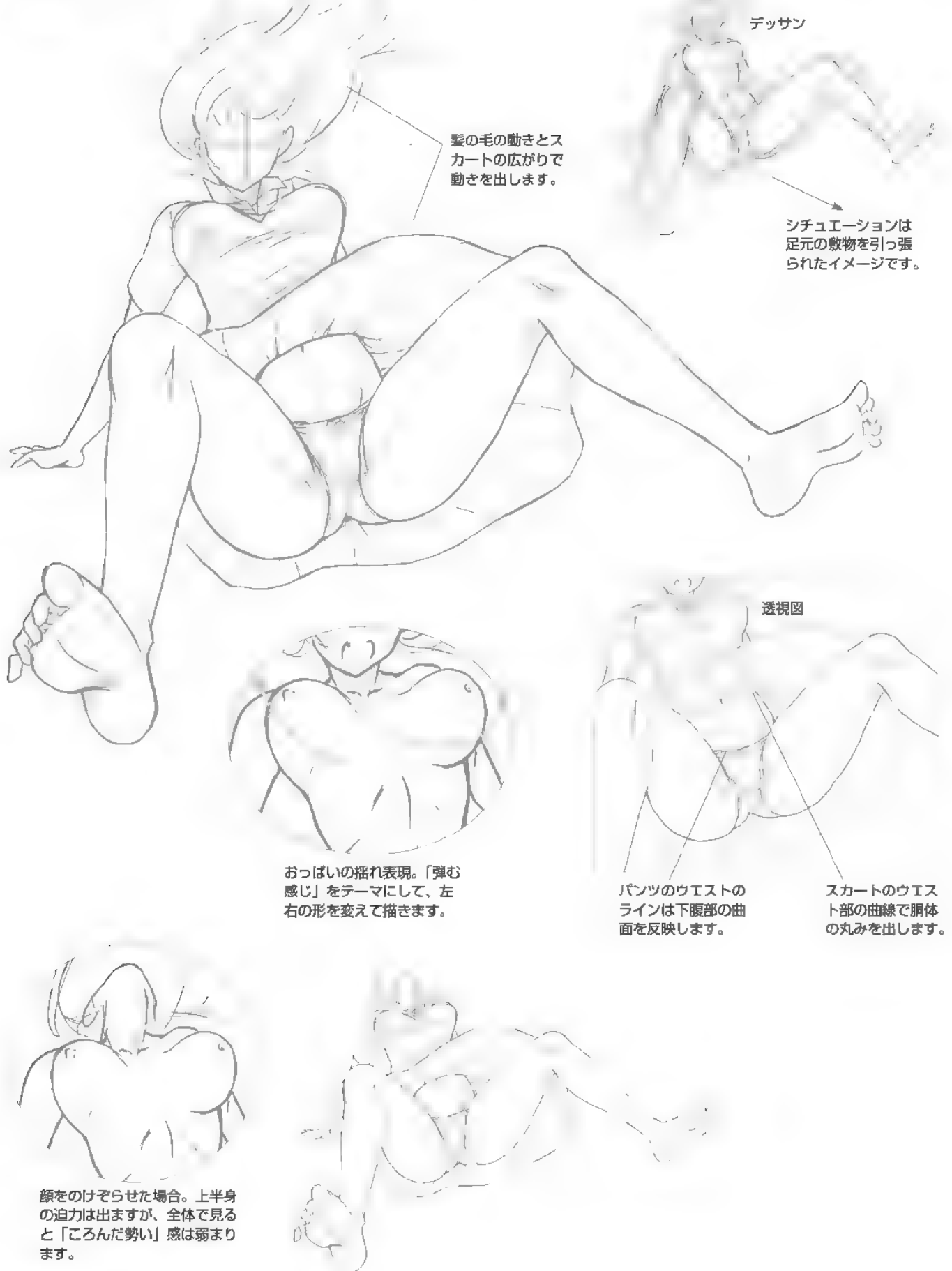
トリミング演出。顔を隠す
場合、床の線を下げても落
ち着いた画面になります。



ハデにころんだ瞬間を描く

「開脚ポーズ」をテーマに、床が急に動いた、ぶつかった、突き飛ばされた、などを想定して描きます。

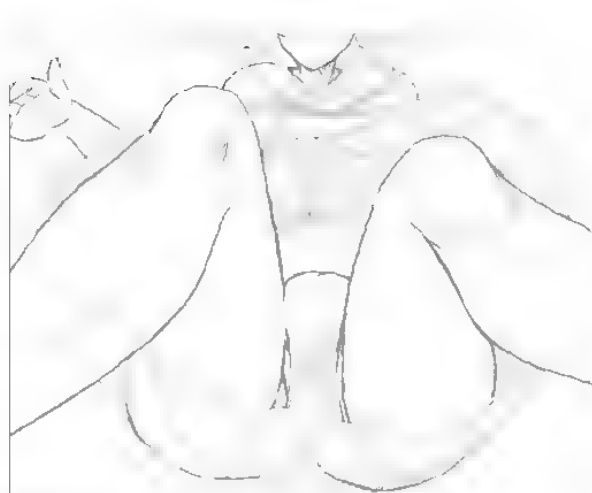
● 開脚ポーズ



● スカートの奥が見える

スカートの奥を見せたい場合はアオリ
気味でとらえます。
滑ってころんだ、何かにぶつかってこ
ろんだなどのシチュエーションを想定
します。

真上方向になびく髪の毛
で、すんとしりもちを
ついた動きを演出します。



透視図

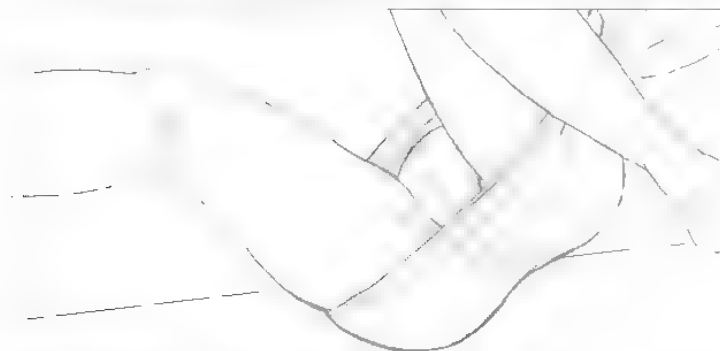


派手な動きではないの
で、おっぱいは大きく
変形させません。乳首
の位置をずらすことで、
揺れを表現します。

ウエスト部は見えませ
ん。股の形を丸い曲線
で描きます。

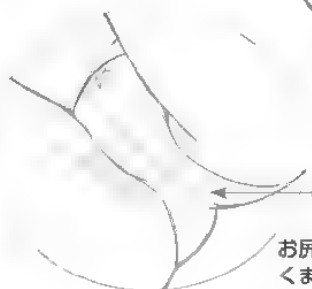
お尻はスカートで隠れ
ますが、布が食い込
んだ感じに表現します。

● 迫力をテーマに股間を見せる 「転倒」をあおりの構図で描きます。

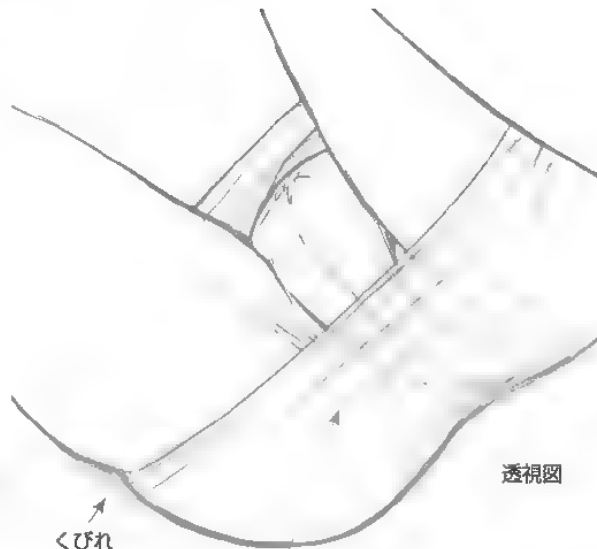


パンツだけでなく、太ももの曲線も色っぽさをアピールします。
肉感的に描きましょう。

デッサン。床に叩
きつけられたイメ
ージです。



お尻の線はあまり深
くまで描きません。



透視図

くびれ

細く長いシワ線で、左右に引っ張られ
るタイトスカートの質感を出します。

チラリでドキッ！

下着が見えそうとか、少し見えているなどのシチュエーションです。

いろんなチラリ

● 余裕の脚組みポーズ



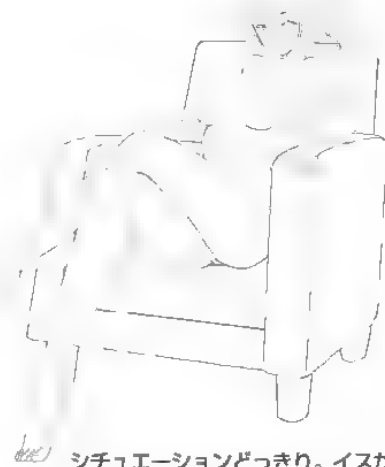
ぬい目の線。曲面感を補強し演出します。



ボリュームのわりに垂れていないおっぱい。見えないブラで形を整えている美しいラインをイメージして描きます。



透視図。おっぱいの形を崩さない衣装、着こなしという設定で作画されています。



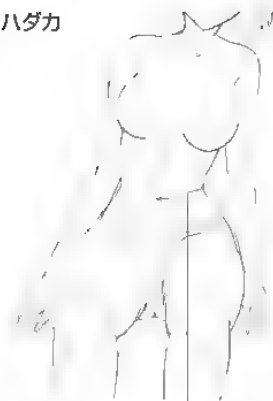
シチュエーションどっきり。イスがきっちり描かれていると、ハダカで座っているだけでも衝撃的です。

● うっかり爆睡



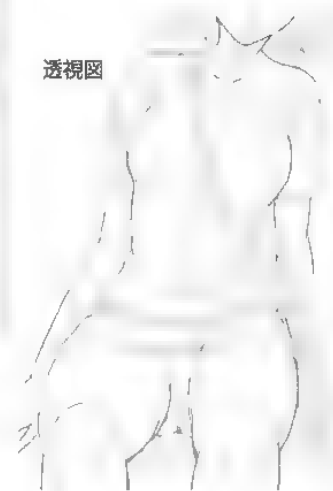
ポイントになる黒。奥行き感と立体感が生まれます。

ハダカ

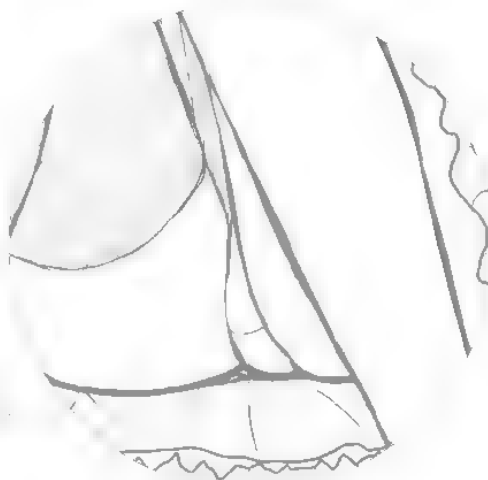


寄りかかる姿勢。腰にシワが入ります。

透視図

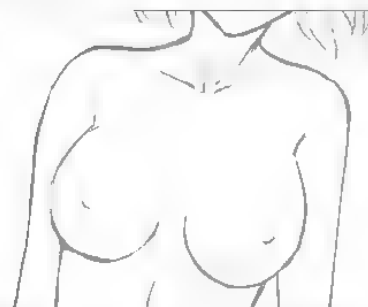


● 無邪気に
M字座り

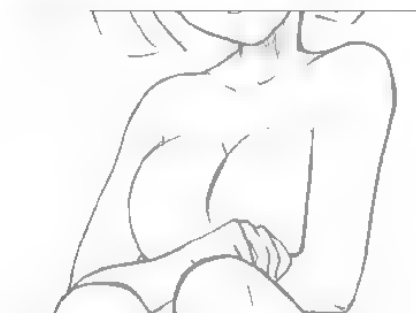


パンツではなく、実は撮影用の水着（見せパン）。…だったとしても、やっぱりどっきりします。

ワンポイント：おっぱいと腕



両腕を下ろしていると、おっぱいは自然な形で、谷間はできません。



腕を少し前に出すと、おっぱいは左右から押されて胸の谷間が生まれます。

ミニスカート+片ヒザ立てポーズ ちょっと靴下を整えるため片ひざ立てになった…というシチュエーションです。



少し丸みを強調した股表現にすると、パンチラのお色気感のインパクトが上がります。

アップにすると、ぬい目の線がわかります。前面側にぬい目があるタイプです。



透視図



おっぱいは小ぶりです。

シースルー衣装



おっぱいの形をこわさない、自然なカップです。



意図的に「透けて見える」ように作られた衣装。ランジェリー（魅力アップのためのかわいい下着）のひとつで、ベビードールといわれます。
※透けさせず、細かい線も入れなければ、短い negligée です。



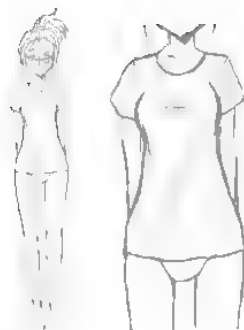
ハダカの場合

うっかりどっきり

● 誰か来た！



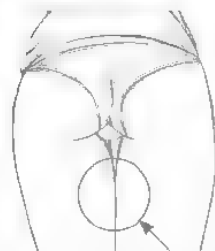
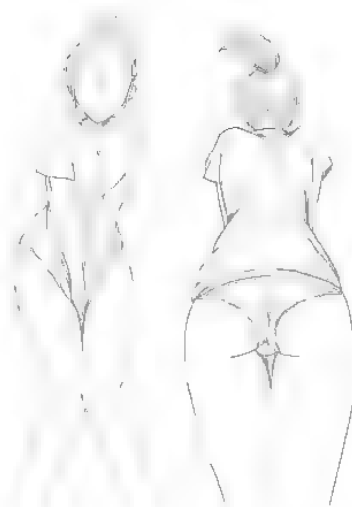
Tシャツの胸の
谷間ジワ演出



短めのTシャツを着ていたら、誰かが入ってきた！というシチュエーションです。



前は隠しても後ろは丸見え、というオチの演出です。



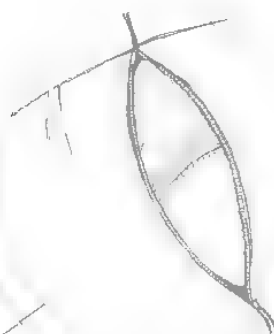
前面から見たポーズ的にはこのへんに手や指が挟まれていて、指先が見えるケースもありますが、ぱっと見て指や手だとはわからない絵になります。どうしても指を描きたいとき以外は省略しましょう。

パンツの一部が見えます。

● 狙っていない、マジうっかり（ハプニングショット演出）



胸もと胸チラ。ボタンが外れていた。



サイドのファスナーが開いていた。



前面のすそが短めで、おへそがのぞくケースもあります。

着替え中です

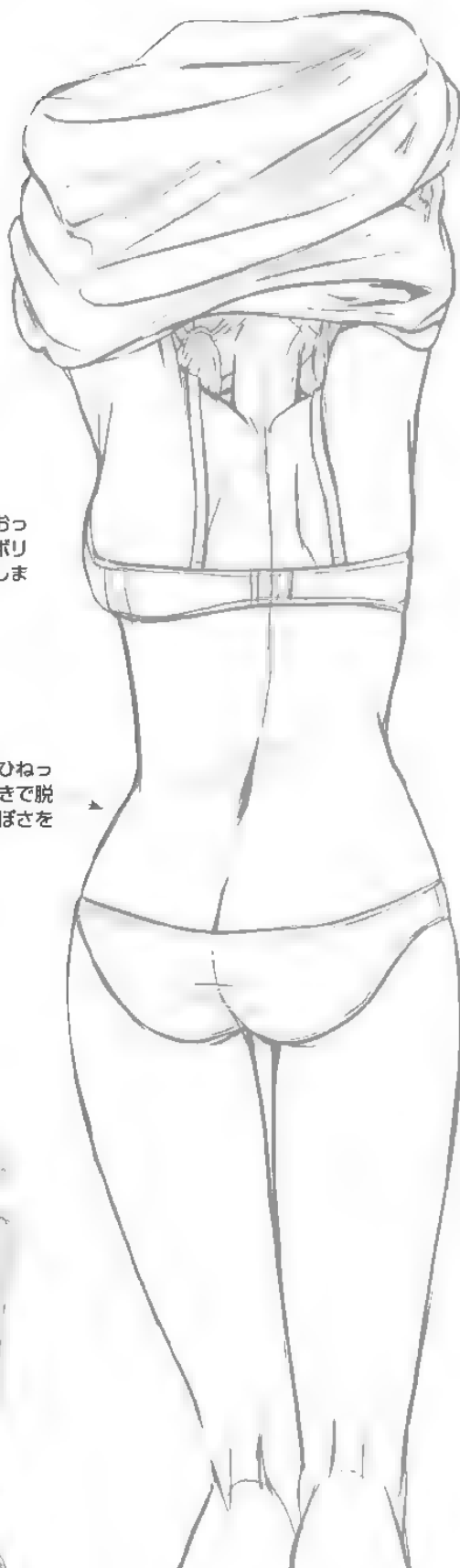
着替えのポーズは、自分でやってみながら描きましょう。
ブラなどは「背中で留めるときポーズをしてみる」など、
姿勢や腕の動きを確認します。

● Tシャツを脱ぐ



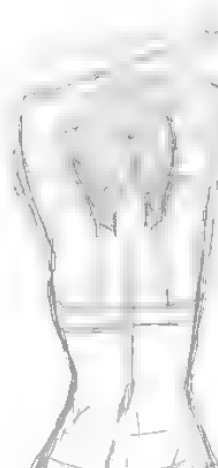
ブラのヒモでおっぱいの曲面とボリューム感を出します。

ちょっと横にひねった動き。腰つきで脱ぐ動きに色っぽさを与えます。



透視図

おおよその腕のポーズを描いて、布の固まりを描きます。



ポーズのイメージラフ

●ブラウスのボタンを留める



前がわいているシャツから
わずかに見える肌とパンツ
部分がお色気ポイントです。



透視図

姿勢と腕のポーズを決めて、手
や指は後で描きます。服に隠れ
ないカラダ前面や太もものライ
ンはきっちり描きます。

胸もとと腰からお尻の丸み
に至る部分は体のラインを
活かして描きます。

●そでを通す



透視図

ヒモなし
ブラ



手がそでから出ていると、
さっそうとした感じにな
ります。そでを長めにし
て手をあまり見せない
とかわいい感じになります。
手が出ないで先がブラン
と垂れる「萌えそで」演
出もあります。

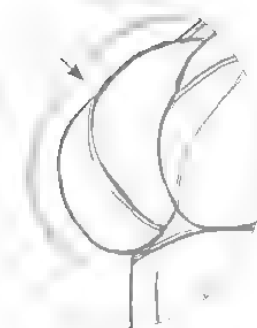


萌えそで

● ブラをつける

少し小さめのブラを強引に装着するシチュエーション。おっぱいはち切れそうな感じを演出します。

① 乳房全体のシルエットをとらえます。

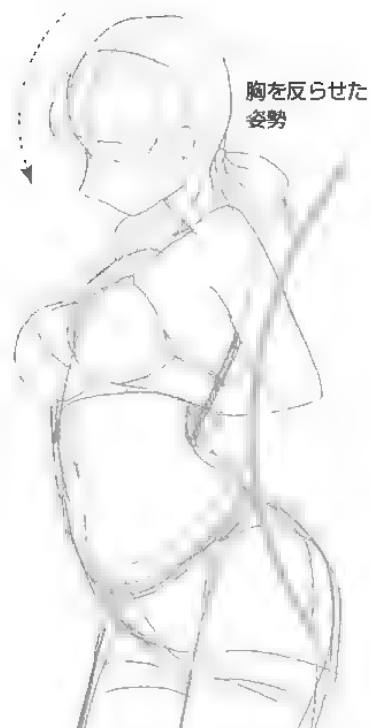


② ブラを境にしたくびれで、おっぱいの柔らかさを強調します。



腰のくびれを強調すると、色っぽいスタイルになります。

少しうつむく



胸を反らせた姿勢

少しうつむいて胸を反らせると、ブラをつけているように見えるシルエットになります。

● スカートをはく

少し前かがみでヒジを引き上げたポーズを描きます。



透視図

スカートをはく前の全体図



上半身ハダカでスカートをはく。リアリティよりも、サービスがテーマのシチュエーションです。

ラノイメーグ+デッサン

豊かなおっぱい表現は、前かがみならではの見せ場のひとつになります。



● パンストやパンツを脱ぐ

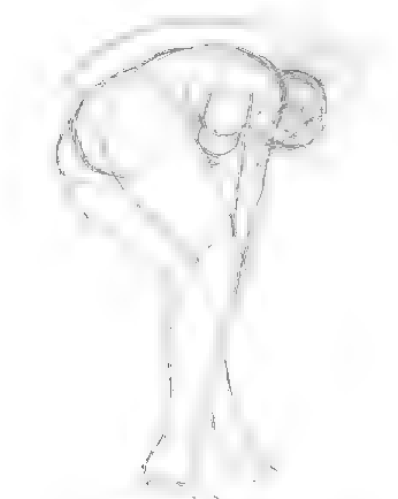


パンストを脱ぐ

パンストもパンツもくしゃくしゃによれた感じになります。布の折れ重なった、たわんだシワの固まりのようなイメージで描きましょう。

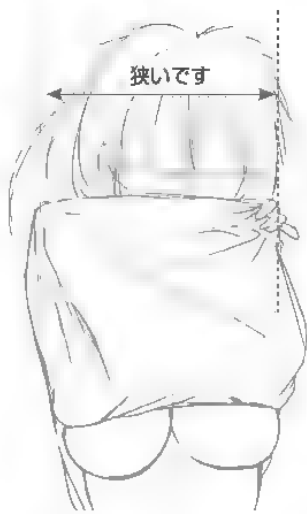


パンツを描かない場合。同じポーズでパンツを脱いでいるように見えるものになります。



デッサン。大きく前かがみの姿勢です。背中を弓なりに描きます。

脱ぐ作画のワンポイントと見せ場

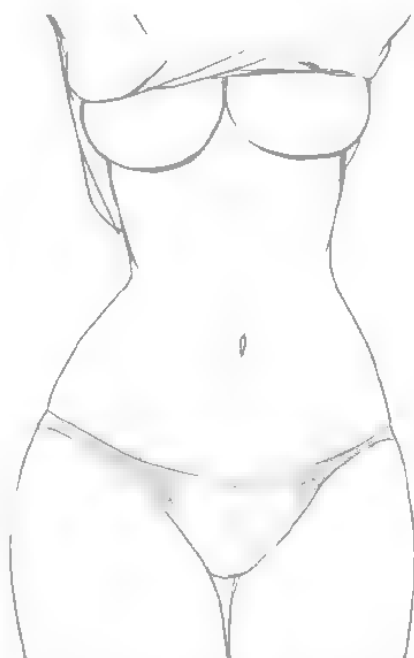
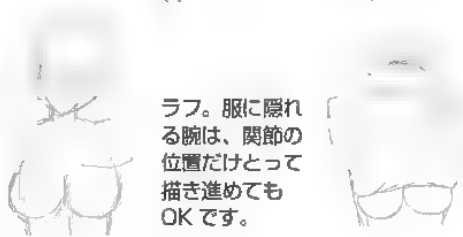


伸びないTシャツ。腕が広がりません。Tシャツによっては伸縮性が少ないものがありますが、見栄えを優先して描きましょう。

少し外に張り出して描くと、脱いでいる感じが出ます。



ラフ。服に隠れる腕は、関節の位置だけとって描き進めてもOKです。



Tシャツを脱ぐ・胸から下のショットはどっきりシチュエーションの見せ場のひとつです。

シャツやスカートのめくれ表現

Tシャツをめくる

たくし上げてできる布の重なりをとらえます。

● 下乳とおなか アピール

ゆったりタイプ



おっぱいのシルエットは同じでも、上にかかる布の曲線で「はみ出し感」の印象が変わります。

ゆったりかぶさっている感じを出す曲線

下乳が柔らかくはみ出したように見えます。

少しきつめタイプ

シワの量を増やします。



くびれ

抑えつけている感じを出す曲線

くびれ表現で、おっぱいのぷりっと感（張り出した弾力感）が出ます。

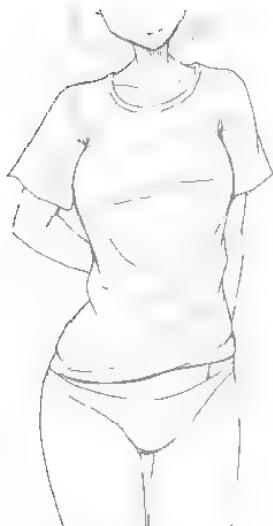


着る前のおっぱいのシルエット。

● 背中を見せる



布が重なった感じの寄りジワ表現。



めくる前のTシャツの着こなし



透視図

おっぱいのアウトラインに沿っています。

めくれるスカート

お尻を見せたいか、前を見せたいかテーマを決めましょう。風の来る方向を決めてラフを描きます。

● 下からの風にあおられる

後ろ側



① 体を描きます。前かがみの姿勢です。

② スカートのアウトラインを描きます。

スカートのアウトラインは波線を組み合わせるイメージで描き、しなやかさを出します。



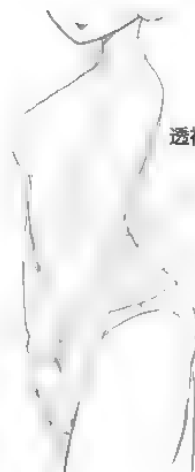
放射状にシワを入れます。

透視図

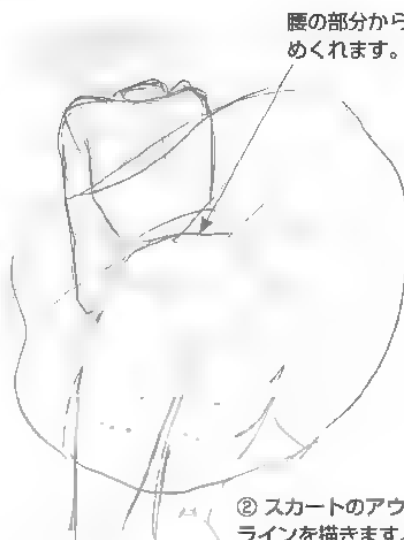


主役はお尻です。

透視図



腰の部分からめくれます。



横

髪の毛で吹き上げる強い風を演出します。



主役は脚線です。

● 何かがめくった



手や釣り針などがかった部分を想定しましょう。すそまわりのだ円の頂点としてとらえます。

驚きを表現する前かがみの姿勢です。えりやスカーフも体の動きを反映します。

とっさのことで、押さえるのが間に合わなかった手の動き。



透視図

はき忘れ演出

● 斜め下からの風にあおられる



風を受けてふくらむイメージで曲線を描きます。

風の方

透視図

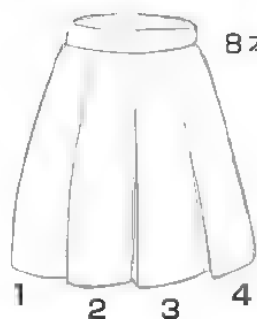


めくれる前。ヒザ丈くらいの長さがあると、ふわっと大きくひるがえります。

突風（不意打ち）+ 両手がふさがっているという演出です。

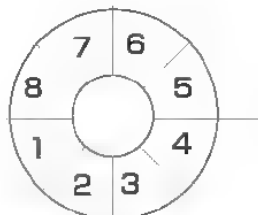
コラム プリーツスカートの描き方

ひだがあるスカートをプリーツスカートといいます。線の数でなく、ひだの数でとらえます。8本タイプと24本タイプが代表的ですが、12本タイプもデザインされます。



8本タイプ

前面から見えるヒダは4本。動きの演出（ヒダの広がり）などで、線の数を増やします。

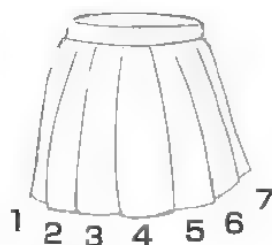


どの角度から見ても、おおよそ4本です。



24本タイプ

前面から見て12本あります。作画では多少増減することもあります。



12本タイプ

前面から見て6本あります。作画では多少増減することもあります（図版は7本）。

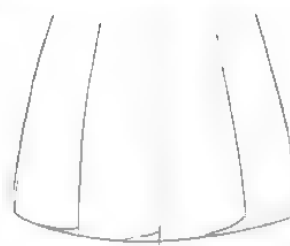
作画手順



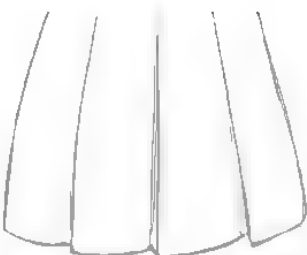
① スカートの形を描きます。



② 前面に3本線を引きます。

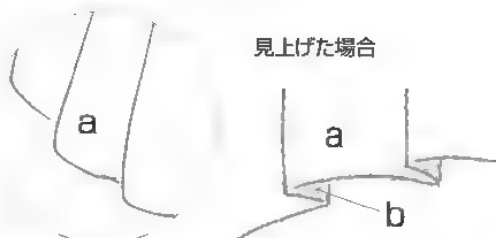


③ すそをひだ状に調整します。



④ 線を足して、ひだっぽく布が重なっている表現をして完成です。

● ヒダの重なりについて

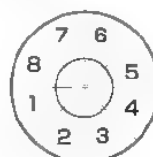
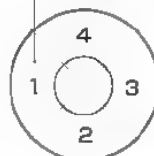


見下ろした場合



● ボックススカートの場合

4本タイプ



8本タイプ



すそ部分



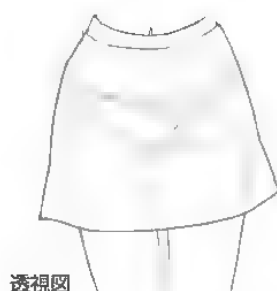
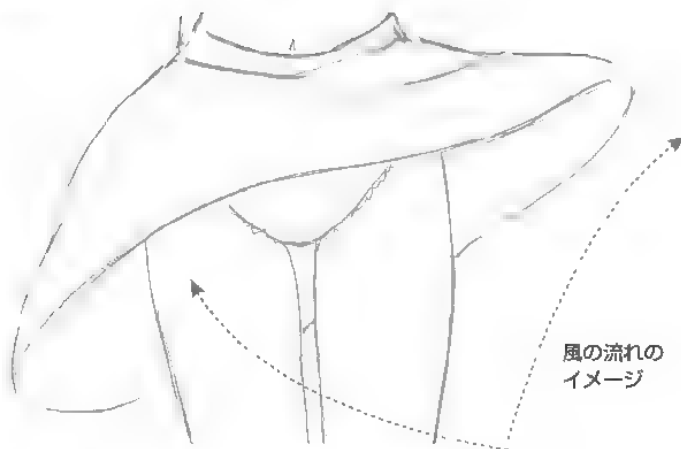
広げた場合

スカートの広がり演出

ヒダの数が多くほど、ゆったり大きく広がるように描きます。

● プレーンタイプ

短めで布に余裕がないので、あまり大きく広がりません。



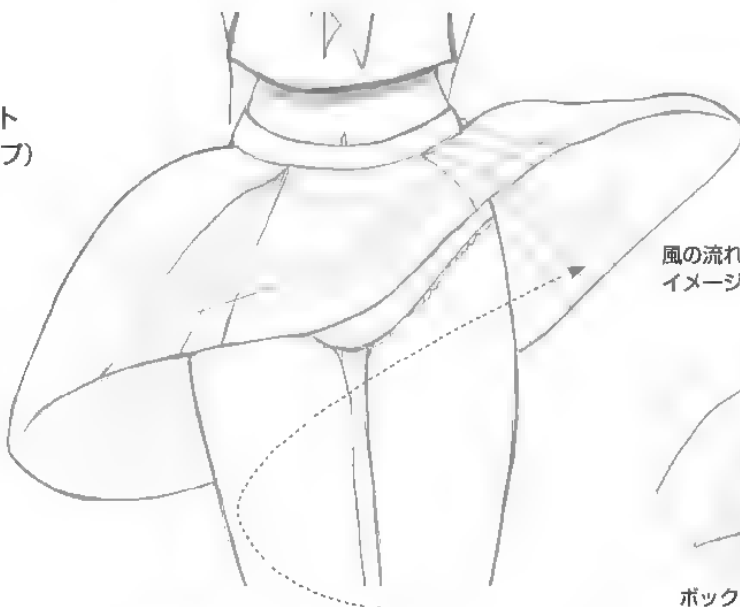
透視図



すそは大きな波線で描きます。

● ボックススカート (ヒダ数、4本タイプ)

ヒダに折り込まれている分、布面積が増えるので、ゆったり広がるイメージで描きます。



風の流れのイメージ



ボックス分が開きます。



透視図



● プリーツスカート
(8本タイプ)

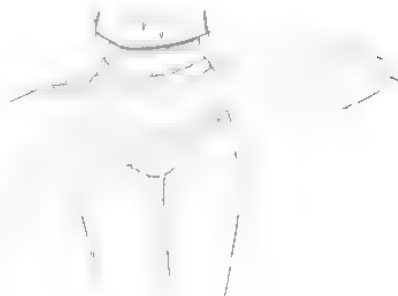
ヒダとして折り込まれて
いる分、布に余裕がで
るので、ゆったり大きく
広がらせます。



広がったとき布が折り込んで
ある分、線の数は倍近くなり
ます。正確に描くことにとら
われず、線の数やヒダの幅は、
見た目でそれっぽさが出るよ
うに描きましょう。



透視図



● プリーツスカート
(12本タイプ)

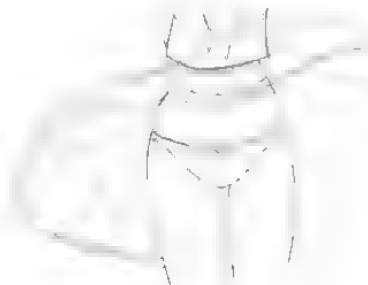
内側が大きく見える場合、
ヒダの線は傘の骨をイメー
ジして放射状に描きます。



ところどころに直線的なライン
を混ぜましょう。プリーツスカ
ートっぽい硬さを演出します。



透視図



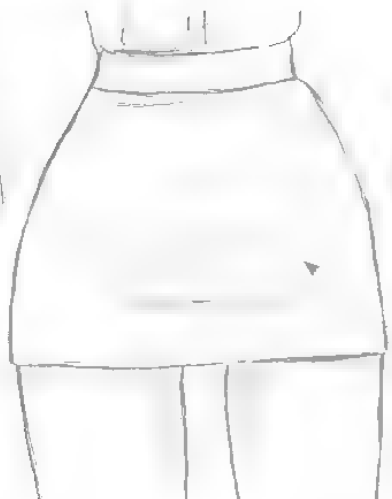
このスカートの長さでこんな
に広がることはないだろう、
というくらい、豪快なふわっ
と表現です。全身で見たとき
の雰囲気やインパクト効果を
重視して描きます。

タイトスカートのめくれ表現

タイトスカートはふわっとめくれません。たくし上げられた「めくれ表現」を見てみましょう。

めくれる前

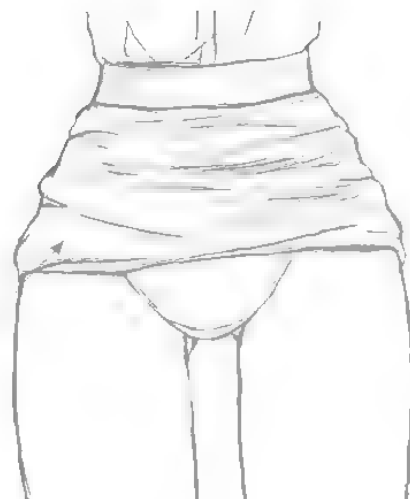
正面



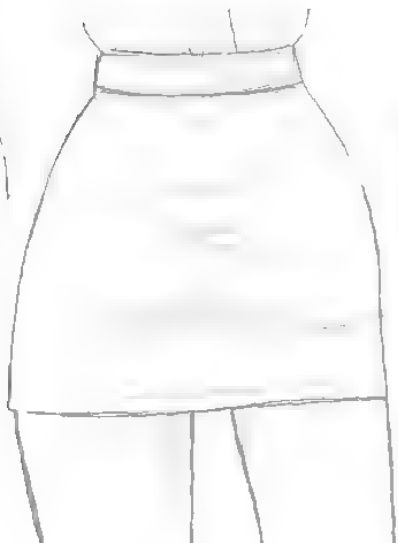
透視図

通常のシワの線は細く、たくし上げたときは、たわみの線を太く入れます。

めくれ表現



後ろ



透視図

たわみのふくらみ

布が寄り集まったシワ



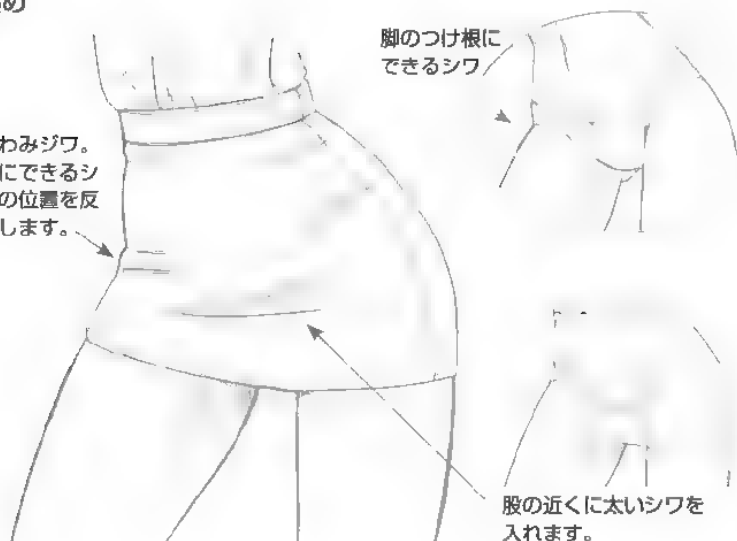
すそのラインはお尻の丸いふくらみを反映します。

斜め

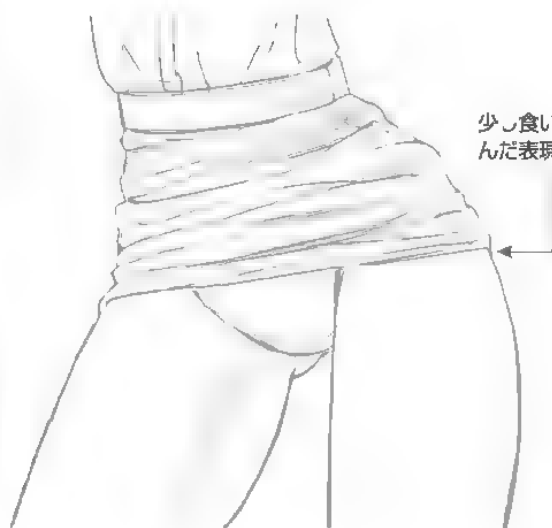
たわみジワ。体にできるシワの位置を反映します。

脚のつけ根にできるシワ

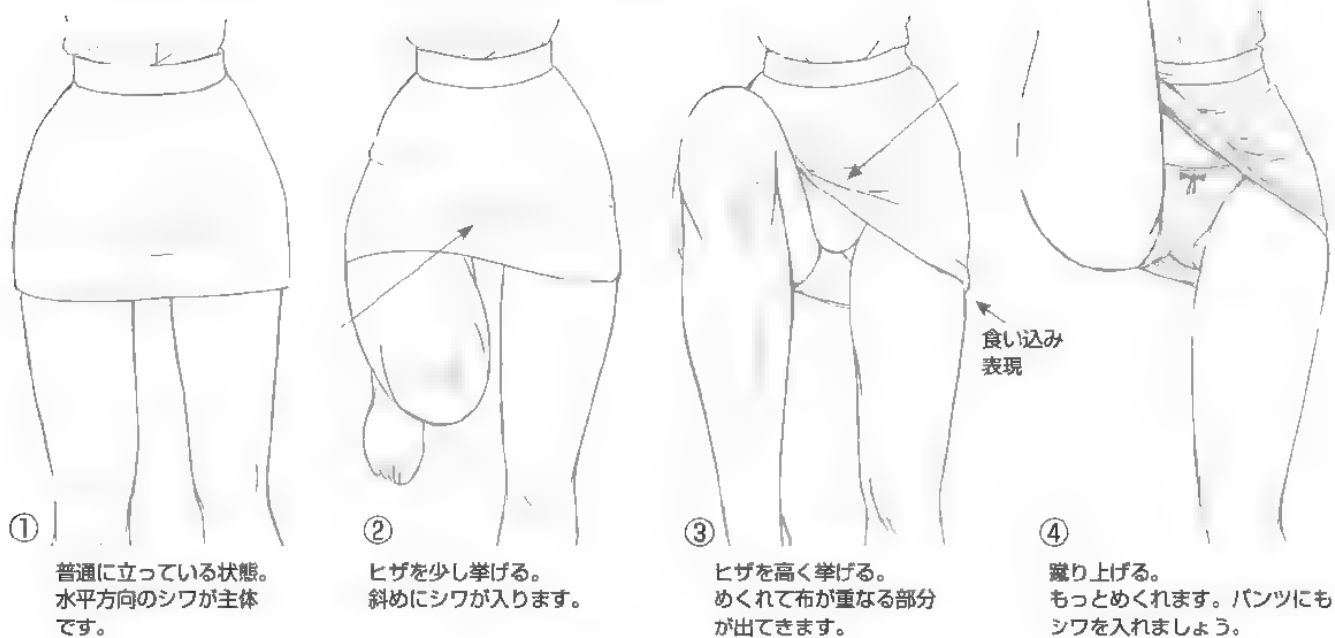
少し食い込んだ表現



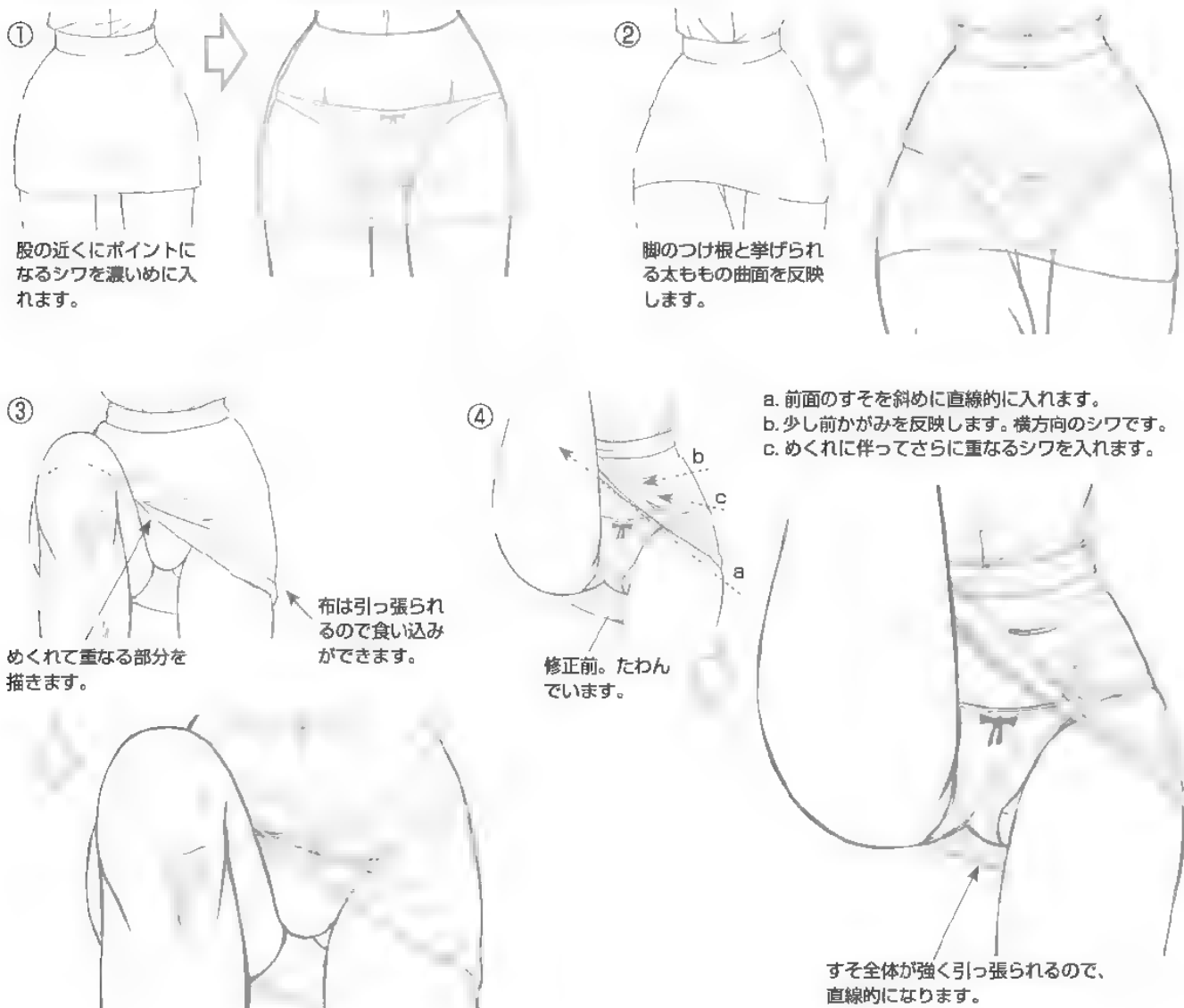
股の近くに太いシワを入れます。



● 脚を挙げる動きとスカートの表現（シワの変化）



● シワのポイント 脚の動きを意識して、最初に描き込む曲線を見てみましょう。



濡れ表現

濡れることで、服が貼り付いている感じを出します。体のラインがあらわになる部分と、貼りついてたわんだ布のシワ感を表現します。

● 濡れちゃったけど
さっそうと

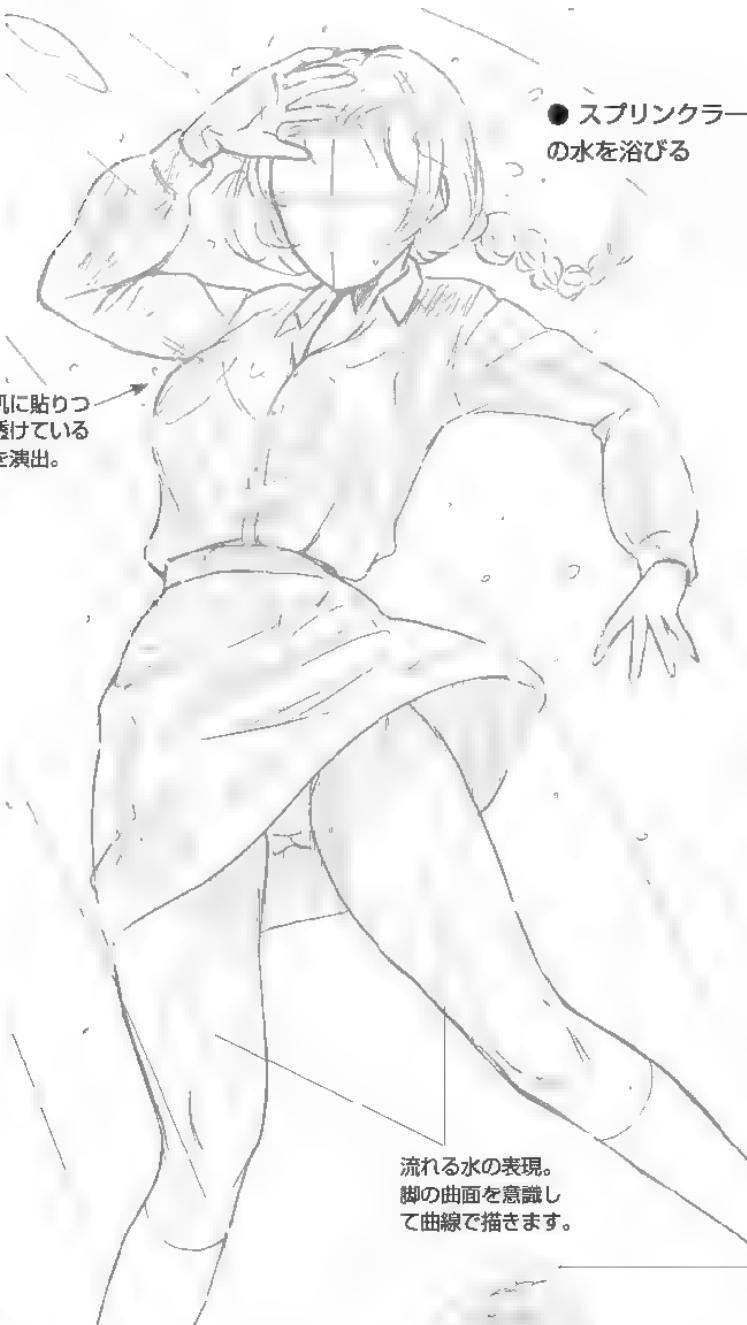


布のたわみ表現で
貼りついた感を出
します。

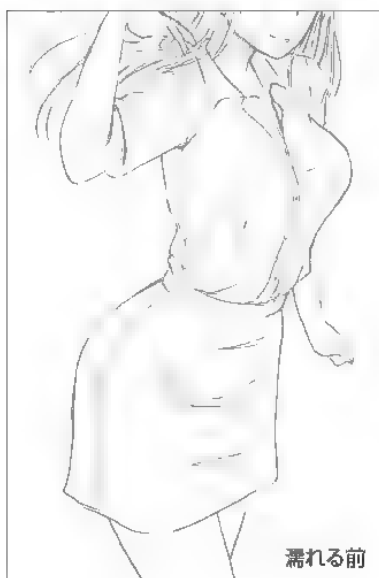
髪の毛も、水を含
んでピッタリした
感じに描きます。

● スプリンクラー
の水を浴びる

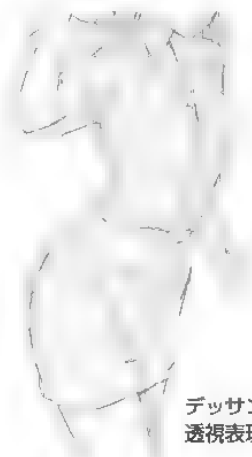
服が肌に貼りつ
いて透けている
感じを演出。



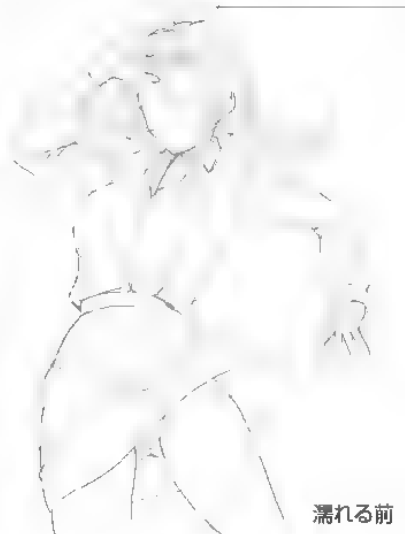
流れる水の表現。
脚の曲面を意識し
て曲線で描きます。



濡れる前

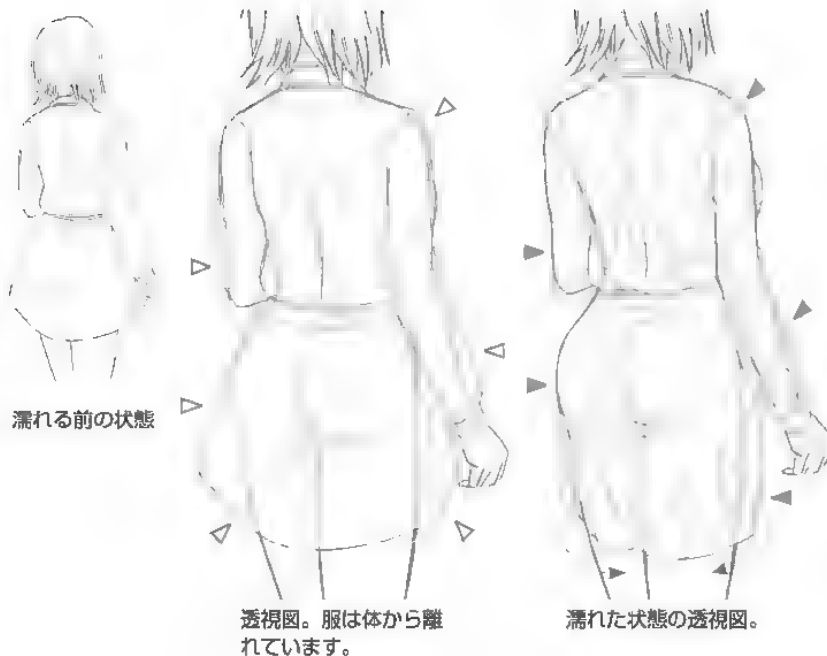


デッサン +
透視表現



濡れる前

● 背面



濡れたときの変化



布が貼りつく場所。

● ワンピース

濡れる前



濡れちゃった

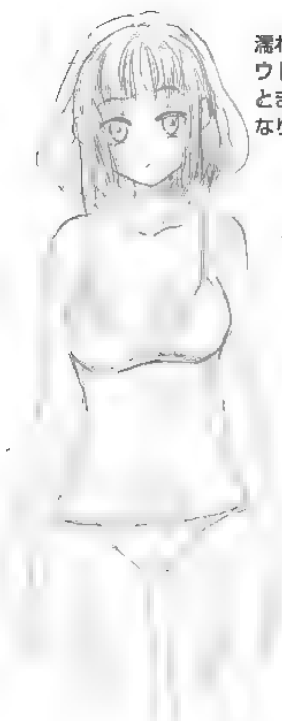
べったり貼り付いた感じ
です。

細かいシワ

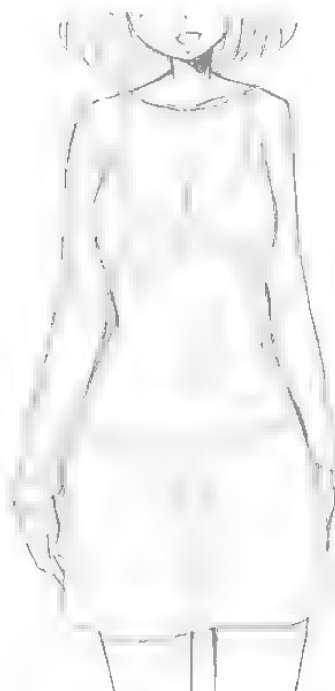
えりまわり。
波打ったライン

そで。うねう
ねのアウトラ
イン

脚を伝って垂れる
水は細い線で表現
します。



濡れると頭のア
ウトラインはひ
とまわり小さく
なります。



濡れる前。ブラとパンツの
透け表現。



ブラとパンツも透けさせた場合。

貼りつき（肌透け）表現をする
場所にタッチを入れたもの。日
焼け表現でタッチを入れる場所
とほぼ共通です。

水際の彼女

「普段は隠れている肌を見せるだけで色っぽくなる」。気になるキャラの素肌には、ドキドキするものです。キャラの水着姿やお風呂のシーンは、手軽な「色っぽいキャラ」の演出です。

色っぽい水着姿

キャラの性格や設定によって、露出度が変わります。肌を多めに隠すワンピース水着と、肌をたくさん見せるビキニ水着が基本です。

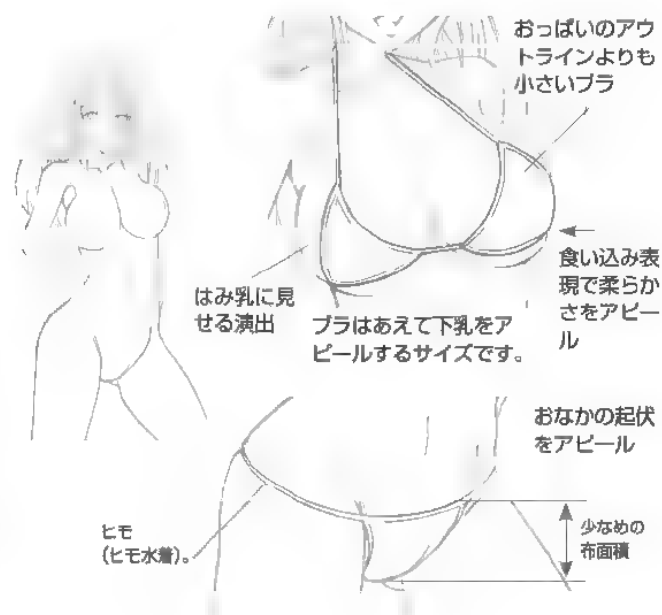
ワンピース



ビキニ



色っぽさの何気ないアピールのポイント

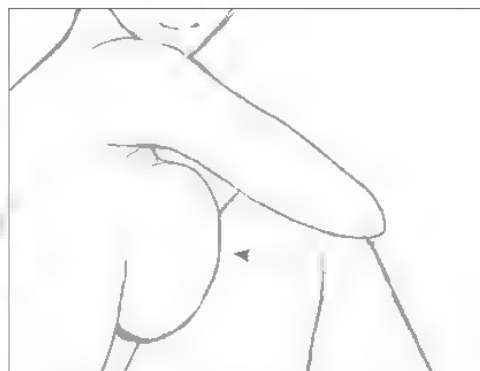


色っぽいポージング

● トップレスで立てヒザ おっぱいアピール



ブラをつけずに脚で乳首を隠す演出。
ほどよく豊かなボリュームと美しい
バストラインをアピールします。



プリン感の演出。太ももでおっぱいを押す演出で
す。丸いシルエットに変化します。

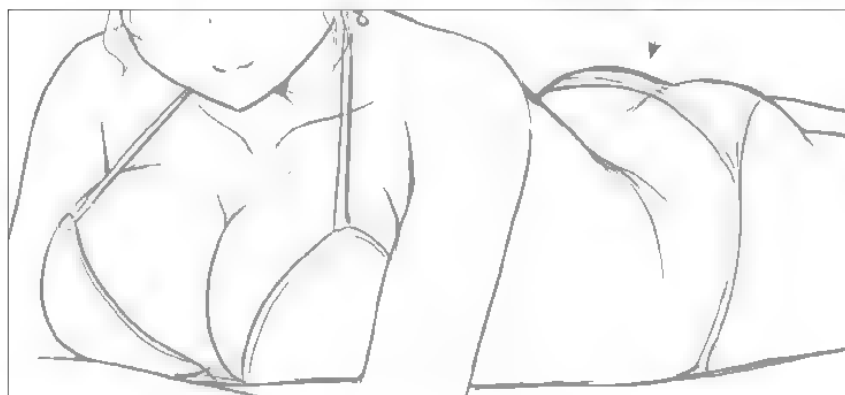


ボリューム感のアピール演出。太ももでおっぱいの
内側から外側に押し出します。つけ根のラインが変
化し、おっぱいの存在感がさらに強まります。

● 腹ばいポーズ おっぱいと同時に、お尻の形も アピールされます。



お尻の割れ目の線がちょっぴり見
える小さめパンツはオシャレやお
色気アピールの効果があります。



おっぱいは腕（左右）と下（床）から寄せ上げられます。ボリューム感を与えましょう。

● トップレス + 布幅の少ない小パンツ



お尻の形に食い込ませた表現では
なく、布感を感じさせるシワ表現
がポイントです。

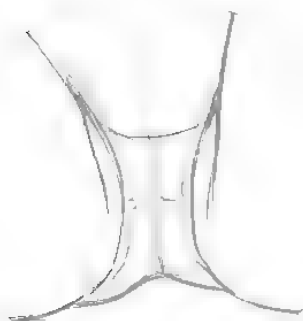
● ワンピース水着で大胆ポーズ



乳房の半分くらいが見えると、「大胆な胸もと」といわれます。



股部分の布幅もやや狭く、ワンピース水着の色っぽさはビキニ以上の効果を生むこともあります。



ラフイメージ。姿勢やデッサンと合わせて、背景のラフも描いて雰囲気をとらえながら描くのも効果的です。

● 甲羅干しポーズ

ヒモ水着タイプ。布幅はやや小さめです。

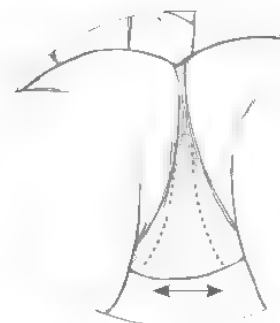


パンツのはき口ライン

脚のつけ根の線



Tバックタイプのパンツの場合



布幅がもっと狭いデザインにする場合

パンツのはき口ラインと、脚のつけ根の線の距離が広いほどパンツの布幅の狭さが強調されます。

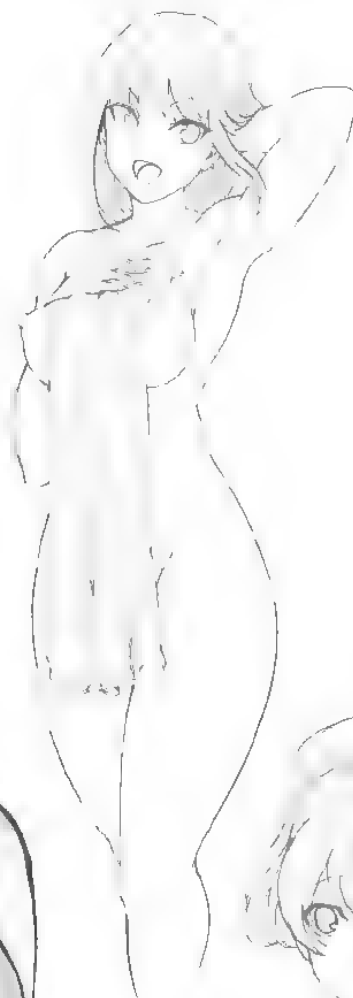
お風呂 / 色っぽい入浴シーン

タオルとキャラ

基本がハダカ状態なので、肉体の表現、肉感の演出がメインになります。




肉感ポイントは脇、胸の下、下腹部（タオルのカゲ）。




肉感ポイントは
おっぱいまわり
です。



ラフな塗りを通じて進める作画。
表情やポーズを描いて、体の影や
肉感をとらえくからアウトライン
を描く手法です。



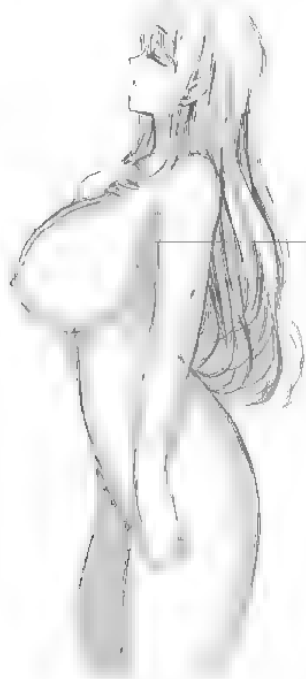
肉感ポイント
はおなかです。



肉感ポイント。
奥行き感と立体
をとらえます。

体を洗う、シャワーを浴びる

肉感ポイント。下からの光を想定しておっぱいの立体をとらえます。



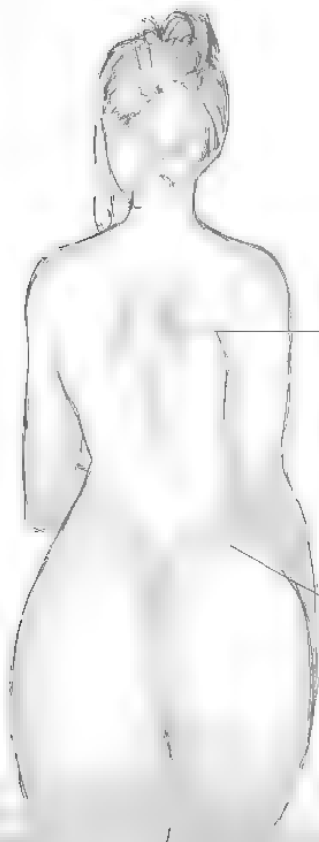
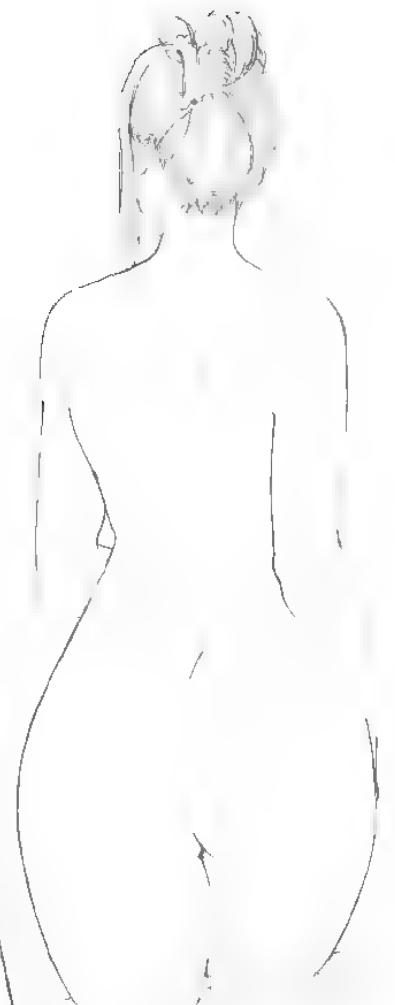
肉感ポイント。おっぱいのボリュームを際立たせるカゲで、ボリューム感をとらえます。



湯船（浴槽）に入る



肉感ポイントは太ももの
コントラストです。



肉感ポイントは肩甲骨ま
わりとお尻の上端部。背
中とお尻の存在感を確認
して描きます。

ゆっくりくつろぐ

肉感ポイントは
おっぱいの上面
と腹部です。

おなかの曲面をとらえます。



肉感ポイントは圧迫
しているおっぱいの
「むにと感」です。



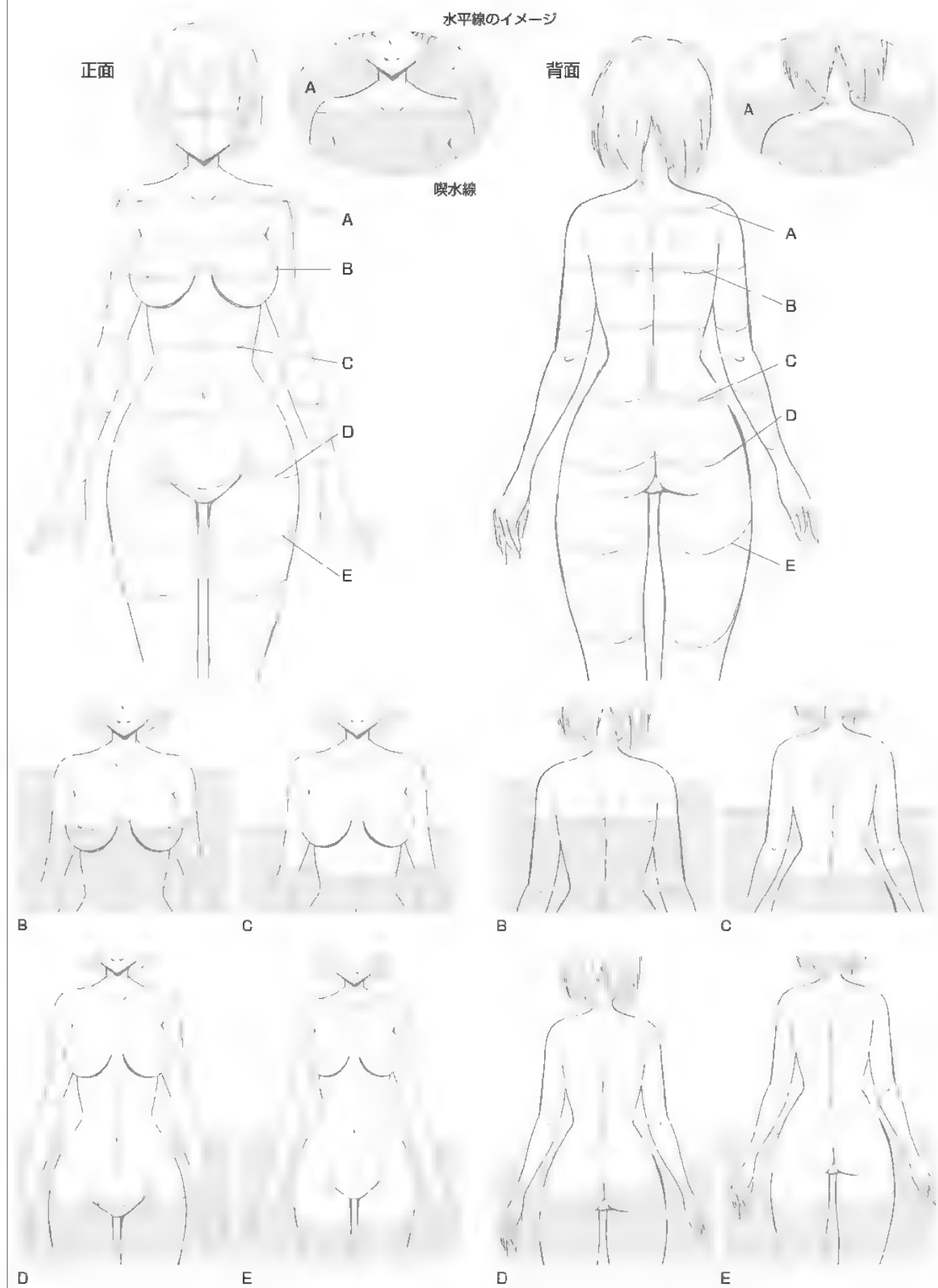


肉感ポイントは太ももです。アオリの構図で、肉感が魅力的に見えるコントラストを模索します。



コラム 喫水線で見えるカラダの曲面

水面との境界線を喫水線（きっすいせん）といいます。体の曲面に沿った曲線を描きましょう。



カバーイラストメイキング

イラストレーター おりょう

「おりょう」プロフィール
イラストレーター、原画家。
ソフトは「CLIP STUDIO
PAINT」を使用。
TwitterID : @oryo

おりょう's コメント

本書のテーマは「色っぽく見せるテクニック」ということで、胸や股に目がいくようなポーズのアイデアをいくつか用意。バストを魅力的に見せるポーズが多めでしたが、採用されたのはお尻を目立たせる構図のラフ案でした。

彩色や仕上げに当たっては、お尻まわりが一番魅力的になる表現を模索しています。細かいところですが、髪の毛などはお尻より奥にあるとわかるよう距離感を出し、きれいに見えるよう表現しました。



完成図



ラフ画



線画



1. セーラ服たくし上げ 1

- ・恥じらい気味表情
- ・胸の谷間、太ももと股のアピールチラリ



2. セーラ服たくし上げ 2

- ・ちょっぴり強気。「堂々と見て♡」キャラを演じつつちょっぴりほおを赤らめる
- ・おっぱいのボリューム、なめらかなおなか、半脱ぎスカート。斜めの構図も効果的。



3. セーラーたくしあげ 3

- ・読者サービスと割り切っているつもりでちょっぴり恥ずかしい微妙な表情。
- ・すそをくわえた口もとがかわいい。下半身ボリュームをアピール。



4. セーラー濡れ透け

- ・「ハプニング」ふう設定。驚きよりもちょっと困った表情をアピール。
- ・ブラの透けと濡れたパンツのシワ、帰宅直後を演出するカバンもドキドキ感 UP。



5. 制服濡れ透け

- ・さばさばした強気キャラ。
- ・アクティブなキャライメージで、ちょい見せセクシーサービス。



6. 制服半脱ぎ 1

- ・清楚なおっとり系美少女をイメージ。
- ・おっぱいとパンツよりも、さりげなくアピールされたおなかのシワラインに注目。審査員特別賞をあげたい。



7. 制服半脱ぎ 2

- ・少し幼く見える雰囲気です。
- ・無邪気な脱ぎっぷり表現で、爽やかなムードを演出。



8. 体操服脱ぎ 1

- ・少し挑発的なまなざしで読者にアピール。
- ・腰をちょっとひねってのモデルふう脱ぎポーズ。「色っぽいショット」の代表的ポーズで、基本としてこれはやっぱりエントリーから外せない！



9. 体操服脱ぎ 2

- ・ほんわかムード+不意打ち演出を思わせる無防備な表情。
- ・顔と上半身をメインに、かわいいブラをアピールしてみる作戦。



10. 水着 + ショートパンツ脱ぎ

- ・確信犯的強気感+明るさで勝負。
- ・アオリ+ひねり+ふり向き+脱ぎかけ+髪の毛の動きの盛りだくさん演出。さらに水着のヒモもオシャレ感と動きをサポート。躍動感とサービス精神で、この子が表紙に選ばれました。



色の仮設定

仕上げの塗りに入る前に、簡単に色を置きます。水着が白いバージョンと赤いバージョンを作って比較。「赤のほうがバツと目を引きそう」という理由で、赤い水着に決まりました。



仕上げ

陰影表現でお尻の丸みを強調。そして水滴を描くことが色っぽさの重要ポイント！ 伝い落ちる水滴によって、つややかなお尻の魅力がぐっとUPしました。

■著者紹介

林 晃（はやし・ひかる）

1961年、東京生まれ。

東京都立大学人文学部 / 哲学専攻卒業後、本格的にマンガ家活動を始め。ビジネスジャンプ奨励賞、佳作受賞。マンガ家・古川肇氏、井上紀良氏に師事する。実録マンガ「アジャ・コング物語」でプロデビューを果たした後、1997年にマンガ・デザイン制作事務所 Go office（ゴーオフィス）を設立。「マンガの基礎デッサン」シリーズ、「キャラの気持ちの描き方」（ホビージャパン刊）、「コスチューム描き方図鑑」、「スーパーマンガデッサン」、「スーパーステップデッサン」「キャラポーズ資料集」（以上グラフィック社刊）、「マンガの基本ドリル1〜3」「衣服のシワ上達ガイド1」（廣済堂出版刊）など、国内外250冊以上に及ぶ“マンガ技法書”を制作している。



女の子のカラダの描き方

色っぽく見せるテクニック

2019年9月20日 初版発行

著者 林 晃（Go office）

発行人 松下大介

発行所 株式会社ホビージャパン

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-15-8

電話 03-5354-7403（編集）

電話 03-5304-9112（営業）

印刷所 大日本印刷株式会社

乱丁・落丁（本のページの順序の間違いや抜け落ち）は購入された店舗名を明記して当社パブリッシングサービス課までお送りください。送料は当社負担でお取り替えいたします。但し、古書店で購入したものについてはお取り替え出来ません。

代行業者などの第三者に依頼して本書をスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用であっても、著作権法上、認められておりません。

禁無断転載・複製

© Hikaru Hayashi / HOBBY JAPAN

Printed in Japan

ISBN 978-4-7986-2009-1 C2371

■スタッフ

● 作画

笹木ささ（Sasa SASAKI）

愛上陸（AIUEOKA）

加藤聖（Akira KATOU）

玄高やっこ（Yakko HARUTAKA）

やぎざわ梨穂（Rio YAGIZAWA）

林 晃（Hikaru HAYASHI）

（順不同）

● カバー原画

おりょう（ORYO）

● カバーデザイン

板倉宏昌 [リトルフット]

（Hiromasa ITAKURA -Little Foot inc.-）

● 編集・レイアウトデザイン

林 晃 [Go office] （Hikaru HAYASHI -Go office-）

● 企画

川上聖子 [ホビージャパン]

（Seiko KAWAKAMI -HOBBY JAPAN-）

● 協力

日本工学院専門学校

日本工学院八王子専門学校

クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科



ISBN978-4-7986-2009-1
C2371



How To Draw MANGA